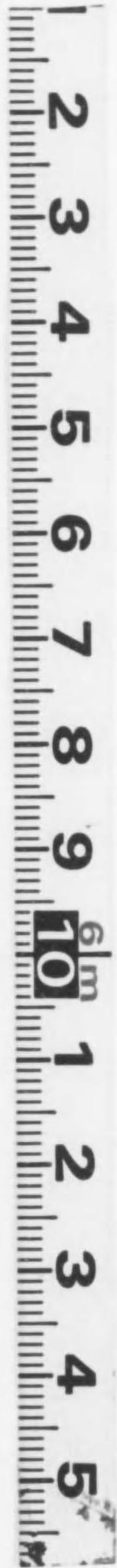


395  
52

395-252  
\*1200501463964\*



始



柔道年鑑

(昭和三年)



柔  
道  
年  
鑑

(昭和三年)





範師納嘉



郎逸像宗事幹役南指



民親田本長事幹

指南役  
八段 山下義韶



指南役  
八段 永岡秀一



八段 磯貝一



八段 飯塚國三郎



七段 佐村嘉一郎



七段 三船久藏



七段 田畑昇太郎



七段 富田常次郎



七段 宮川一貫



六段 大木圓治



六段 戸張瀧三郎





六段 小田常胤



幹事  
六段 村上邦夫



六段 天野品市



六段 岡野好太郎



末次哲朗



六段 松廣八十八



六段 半田義慶



幹事  
六段 大角桂巖



六段 高橋數貞



幹事  
六段 本田存



六段 内田作藏



六段 伊藤徳五郎



六段 尾形源治



六段 福島清三郎



六段 石田信三



六段 倉田太一



六段 山内一夫



六段 大澤保三郎



六段 徳三資



六段 小島友次郎



六段 廣岡勇司



六段 安藝清利



六段 金光彌一兵衛



六段 中野正三

昭和柔道年鑑目次

柔道の本義と修行の目的……………(一)

講道館柔道の使命……………講道館師範 嘉納治五郎(二)

講道館の沿革……………講道館指南役 山下義韶(七)

講道館の教育状況……………講道館幹事長 本田親民(三)

財団法人講道館寄附行爲……………(一五)

財団法人講道館役員……………(一八)

講道館入門規則……………(二〇)

講道館柔道修行者心得……………(二三)

講道館審議會規則……………(二五)

同 試験規則……………(二六)



六段 藤 嘉三郎



六段 江川 定夫



六段 橋本 正次郎



六段 丸尾 一二三



六段 近藤 善平



六段 櫻庭 武



|                  |                   |      |
|------------------|-------------------|------|
| 同 段級規則           | .....             | (二六) |
| 同 道場役員           | .....             | (二八) |
| 柔道試合審判規程の改正に就いて  | ..... 講道館師範 嘉納治五郎 | (三一) |
| 柔道試合審判規程         | .....             | (三七) |
| 形及業の名稱           | .....             | (四〇) |
| 講道館有段者會の成立及び其の現状 | .....             | (四三) |
| 講道館有段者會規則        | .....             | (四五) |
| 中央講道館有段者會規則      | .....             | (四七) |
| 東京講道館有段者會規則      | .....             | (四八) |
| 同 研究部規程          | .....             | (五〇) |
| 同 審議議規程          | .....             | (五一) |
| 講道館有段者會一覽表       | .....             | (五七) |

|             |       |      |
|-------------|-------|------|
| 全國各學校柔道部の概況 | ..... | (六三) |
|-------------|-------|------|

|          |       |         |
|----------|-------|---------|
| 講道館有段者名簿 | ..... | (一一—四五) |
|----------|-------|---------|



昭和参年

# 柔道年鑑

講道館文化會編

## 柔道の本義と修行の目的

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。

その修行は攻撃防禦の練習に由つて身體精神を鍛錬修養し、斯道の神髓を體得する事である。さうして是に由つて己を完成し世を補益するが柔道修行の究竟の目的である。

## 講道館柔道の使命

講道館師範 嘉納治五郎

講道館柔道は、今日は誰もが知つてゐるやうに、往時の柔術から進化した文武の道の修行である。往時の柔術は、劍、槍、弓、馬等の諸術と相對した一種の武術であつたに相違はないが劍術と槍術との區別が、一は劍を以てし、一は槍を以てするとか、弓術と馬術との區別が、一は弓を用ひ、一は馬を用ひるといふ風に、他の武術と劃然區別の出来るものでなかつた。若し劍術が劍を使用し、槍術が槍を使用して練習する術であるやうに、柔術が無手で練習する術といふことに極つて居たならば、劃然たる區別が出来たのであるが、實際柔術では無手で練習するばかりでなく、木刀袋竹刀なども用ひ、又それ等以外の武器を用ひても差支ないのであるから、種々の武術を總合したものであるといふことも出来る。殊に柔術の柔といふ字は、劍とか槍とかいふやうな一種の武器の名稱でもなく、又何等の武器も用ひないといふ意味の字でもない。それは對手の力に反抗せず、順應して勝つ術といふ意味であるから、無手の場合にも、劍や槍を持つて練習する場合にも、同じやうにその理窟が當嵌まるのである。又ただ名稱だけからいへば、柔術の理窟は、對手の力に順應して行動するだけのことに止まつて居るやうに思は

れるが、その實際を緻密に考へて見ると、對手の力に順應して行動することは、ただその一部の技に止まるのであつて、對手はぢつとして居る場合にこちらから攻撃することもあれば、對手が退く場合にその退却の速度より一層早く追撃して行くやうなこともある。要するに、柔術は、その目的を果す爲に有効であれば如何なる手段を用ひてもよいといふ譯になる。そこで、柔術を武術として見れば、攻撃防禦を目的として心身の力を最も有効に使用する術であるといふ定義が下し得らるゝことになる。この定義に依れば、劍を用ひようと、槍を用ひようと、無手でしようと、それはその時々々の便宜の問題で、攻撃防禦を目的として心身の力を最も有効に使用するといふ理窟の應用さるゝものは、悉く武術としての柔術であるといはねばならぬ。この理窟を推して論究して見れば、劍術は劍を以つて修行する柔術となり、槍術は槍を以て修行する柔術となるのである。若し柔術がかく諸般の武術を包含するものであるならば、何故に今日柔術を教へて居る道場に於て、無手術と同時に諸般の武術を教へぬのであるかと問ふものがあるかも知れぬが、それに對しては、かく答へるのが至當であると思ふ。柔術は諸般の武術を包含して居ることは勿論であるが、人は生れてから死ぬまで、常に無手で居るのだから、先づ自分の身體を自在に働かすことの練習をし、種々の攻撃に對して無手で應じ得るやうに修行することが必要であるからである。武術というても、その種類は甚だ多く、中には實用上殆ど價値のないものもある。擊劍の如きは、種々の點に於て價値のあるものと認めるが、さういふ武術は今日既に獨立して盛んに行はれて居るから、柔術の道場に於て特に急いでその施設をせね

ばならぬ程の必要を認めない。併し、擊劍の如きも追々改良を加へなければならぬから、さういふ必要から、柔術の道場の中にも設けらるゝことにならうと思ふ。さういふ譯で、擊劍などは必要とする一であるが、棒術の如きは一層必要であつて、最も早く柔術の道場の一科として採用されねばならぬ。何ぜならば、人間は無手て居る場合に次いで、杖なり蝙蝠傘なりを持つて居ることが多いから、實用上それ等を使用することを心得て居る必要があらうと思ふ。

以上は武術としての柔術のことをいうたのであるが、柔術は單に武術に限つたものではない。往時は柔術といへば、誰もが直にこれを一種の武術として了解して居たが、段々に説明した通り、攻撃防禦以外の目的にその理窟を應用した時は武術ではない。例へば、土を運搬する爲にも、家を建築する爲にも、讀書する爲にも、事務を執る爲にも、心身の力を最も有効に使用することは出来る。それ等のことを武術といふことは出来ぬ。

以上の説明で、柔術といふことは大體明になつたらうと思ふが、柔道は柔術とどういふ關係のものかといふことについて一言しなければならぬ。柔術は字の如く、心身の力を最も有効に使用する術であり、柔道はその道である。柔術は實地に行ふ方面からいひ、柔道は原理からいふので、同じものを異つた方面から見附けた名稱である。同一のものを指すのであつても、柔術といへば自らその肉體的、技術的方面のことに多く考を向けるやうになり、柔道といへば、その精神的、理論的方面のことに重きを置くやうになることは勿論である。又講道館柔道は、往時の柔術とその目的とする所も異つてゐるから、明治十五年に講道館を創始するに方つて、

慣用の柔術といふ名稱を用ひず、殊更極めて稀にしか用ひられてゐなかつた柔道といふ名稱を用ひたのである。その自然の結果として、柔道は心身の力を最も有効に使用する道であるといふことになる。それ故、嚴格にいへば、柔道は單に道の名稱である。併し實際に於ては、柔道といへばその道を應用して工夫された形や、亂取の修行がその中に包含されて居ることは勿論その道に基いて身體を強健にし、智徳を修養することも、社會生活の改善や思想の善導等のことも、直接間接にこの道から出發して成立したあらゆる事業の總稱となるのである。故に、柔道の修行者といへば、武術的柔道の修行者でもあり得、柔道を體育とか精神修養に應用することについての修行者でもあり得られる。生活の改善や思想の善導にこれを應用する修行者であり得、又一般的に廣い意味に於ける柔道の修行者であることも出来る。柔道の修行の範圍はかく廣く、又その内容は複雑を極め、奥深くもあるものであるから、一人で何もかも深く研究し、各方面のことを同時に實行することは到底不可能のことである。併し予の希望する所は、苟も柔道を修行するものである以上は、大體に於て各方面のことを理解して、各自の擇ぶ所に依て或る部分のことに精通し、それに依て世に貢獻するやうにありたいと思ふのである。さういふ譯であるから、柔道の原理は、これを體育に應用すれば、最も強健なる身體を作りこれを精神の修養に應用すれば、優れた智徳の人を作り、これを衣食住や社交の改善に應用すれば、國民の幸福を増進し、經濟を裕にし、これを各般の事業に應用すれば、その事業の成績を擧げ、各個人の力を充實せしめ、國力を振興せしむることになるのである。近來の我が國は

勞を厭ひ逸を追ふものが益々増加し、奢侈贅澤風をなし、到る所、個人も團體も、喧嘩、小競合ひて精力を消耗しつゝ、あるの現状である。これを救ふには、一面柔道の原理を社會生活に應用した主義である精力最善活用に依て各般のこゝを行ふと同時に、その自然の結果として成立する相助相讓・自他共榮主義を以て個人・團體相互の融和協調を圖るより外に有効なる道はないと信ずる。今日誰もが認めて居る道德の廢頹も、思想の混亂も、幾多の學說、種々の宗教が存するに拘らず、今尙これを救ふことが出來ず、混亂は益々甚しからんとするの狀勢をなして居る。この時に方つて、柔道の説く所の、社會生活の存續發展の原理に基いて道德を説く時は、道德は確乎たる憑據を得、思想も統一せられ、各種の宗教學說も大にその光を放つに至るのである。更に又國際關係に考へを及ぼせば、我が國は實に寒心に堪へざる境遇にあるといはねばならぬ。我が國は、歐米諸國と人種を異にして居るのみならず、言語・宗教・風俗・習慣その他多くのことについて異つて居る。随つて特別の努力を用ひなければ、それ等の諸國と眞の親善關係を維持し難いことは誠に明瞭なことである。それにも拘らず、從來我が國民は、この必要なる努力を缺いで居た爲、今尙眞の友邦を世界に得ることが出來ずに居るのである。千數百年の古い交りもあり、人種も近く、文化も近く、同様の文字を用ひて居る隣國支那との關係を見ても、如何に從來我が國民は國際關係に無頓著であつたかが分る。この國際關係を改善するにも、自他共榮の主義を徹底的に行ふより外に手段はない。

以上述べたやうに、三方面から苦められて居る我が國を救うて、内は國力を充實し、外は諸

外國と融和協調するには、柔道の普及とその主義である精力の最善活用・自他共榮の實行に待つより外に有効なる方策はないと斷言して憚らぬのである。人がこの世に生れて來た以上は、最善の力を竭して、各自の任務を盡さなければならぬやうに、柔道も、この世に生れて來た以上は、その重大にして愉快なる大使命を果さなければならぬのである。

### 講道館の沿革

講道館指南役 八段 山下 義 韶

講道館の創設されたのは、明治十五年嘉納師範が、下谷北稻荷町の永昌寺といふ寺の一部を借りて住んで居られた時であつて、その當時は、師範の借りて居られた室の一部十二疊敷の間を以て道場に充て、二三のものを對手として柔道の稽古をされたものであつた。師範は、初め天神眞楊流の柔術を福田八之助氏について修行され、福田氏の歿後、磯正智氏について修行されたのであるが、その時は、既に師範代として、磯氏の門下生を稽古されて居つたのである。磯氏の歿後は、更に起倒流の名人飯久保恒年氏について研究を重ねられたが、天神眞楊流では捕縛術に重きを置き、起倒流では、鎧組討を主とし、投げ殺すこと、即ち對手を地上に投げ倒してその自由を制することを主とするといふやうに、兩者の主眼とするところが甚だしく異つ

て居るので、先生は、更に他の諸流を比較研究するの必要あることを思ひ立たれた。そこで、當時はまだ諸流の名家が存在して居つたのであるから、先生には、禮を厚うしてそれ等の人々を招聘し、技術上のことは勿論、その奥義をも聞き、諸流の秘事傳書等も手に入れ、大に得る所があつたといふことである。かくして恰も、幾多の支流が合して、洋々たる大河を爲すが如く、昔の柔術の諸流は總合されて、ここに講道館柔道の根柢を爲すに至つたのである。

講道館柔道は、かく嘉納師範の手に依て、既に昔の柔術諸流よりは遙に優れたものになつて居たに拘らず、最初の間は、來つてその教を受くるもの甚だ少なかつた。然るに、時を経るに従つて、その眞價は次第に世人の知る所となり、館員は漸次その數を増加し、又、各地より教師を講道館に依頼して招聘するやうになり、斯道は自然各地に普及し、館員中には、進んで海外に渡航し、斯道の宣傳普及に努力するものなども生ずるに至つた。

抑も講道館が、段級の制を設けたのは、明治十六年であつて、修行者進歩の程度に應じて、これを有段者と無段者とに區別すること、したのである。無段者は更にこれを六階級に分ち、有段者は初段に初まり二段、三段と累進せしめることに定めた。最初の間は、有段者の數は實に寥寥たるものであつたが、年を経るに従つて、館員の激増すると共に、有段者の數も亦著しく増加するに至つた。

斯の如くにして、講道館は歲月と共に發展し來り、現在の盛況を見るに至つたのであるが、その間、歲月を閲すること實に四十有餘年であつて、決して短かしとしない。而して、その中

二十七年間の長日月に亘つて、斯道の研究は固より、諸經費の支辨に、教育の弘布に、教師の養成に、門生の配置に、一切の事は、擧げて嘉納師範一人の力に依て爲されたのである。

講道館の創立以來、今日に至るまでの年月を四期に分つこと、しよう。創設時代即ち永昌寺時代より明治十九年までを第一期とし、十九年より二十七年までを第二期とし、二十七年より四十二年までを第三期とし、四十二年以後を第四期とする。

創設期の間、講道館は、下谷北稻荷町より神田南神保町弘文館内に移り、更に麹町區上二番町に轉じた。その當時、師範の許に塾生十四五名あつて、孰れも柔道の修行生であつた。この時代は、即ち創業期間であつて、師範は、斯道の研究と奨励とに寢食を忘れ、所有手段を盡して門生の誘引に努め、懇切を極めて指導したにも拘らず、來つて教を乞ふもの甚だ少なく、一ヶ年間に入門したるもの、明治十五年には僅に九人、翌十六年には八人、十九年に至つて漸く九十八人に過ぎなかつた。又以て如何に斯道がその當時に於て世人に閑却せられて居つたかを窺知するに足るであらう。

明治十九年より二十七年までなる第二期時代に於て、麹町區富士見町に新道場が建設せられたが、講道館は、その頃より大に世に注目せらるゝに至つた。十九年には、警視廳に於て柔道の大會があり、講道館からも數人のものがその大會に出場した。我は皆若年の書生であるに、對手は皆多年鍛鍊したる壯年者である。然るに、試合の結果、この若年の書生が孰れも好成績を得たるが爲に、大に世人の注目を引いた。

講道館の柔道も漸次各地に普及するに至り、二十年には伊豆韮山に、二十一年には江田島に何れも分場を設けた。二十二年に、本館を本郷區眞砂町に移し、同時に麴町區上二番町の道場を分場とし、又、京都に分場を置いた。二十四年眞砂町道場を閉ぢ、麴町分場を本館とした。翌二十五年熊本に熊本講道館を設け、二十七年小石川下富坂町に道場を新築し、麴町區上二番町の道場を此處に移した。かくする中修行者は大いに増加し、十九年には、一ケ年の入門者九十八人であつたが、翌二十一年には、一躍二百九十三人となり、二十三年には、五百二十八人を數ふるに至つた。

講道館の眞價漸く世に認めらるゝに至り、各地方より、講道館に試合を申込むもの續々出づるに至つた。この時代に至つては、講道館の修行者は非常の進歩をなし、熟達之士頻りに出でて、士氣最も盛んであつた。當時は、學校に通學する青年にして、外來の大家と試合しても、殆んど敗を取ることがなかつた。而して、かくの如き老大家の中には、その後入門して講道館に業を受くるに至つたものも少なくない。講道館が、帝國大學、海軍兵學校、警視廳等に教師を出すに至つたのも、この時代である。

明治二十七年小石川區下富坂町に移つてから、四十二年組織を變更して、財團法人となすに至るまで、即ち第三期中、三十六年三月半込に、四十一年七月静岡に、それ／＼分場を設くること、なつた。

講道館の發達は、上述の如く、年を遂うて著しく、其の規模も擴大するに至つたので、師範

は、何時までも個人の經營に頼るべきものにあらざと考へ、明治四十二年に至つて、別項財團法人の案を立てられ、金一萬圓を寄附して、政府よりその認可を得られた。設立者たる師範、若槻禮次郎氏及び法學博士矢作榮藏氏を理事とし、子爵澁澤榮一氏及び柿沼谷藏氏を監事とし、二十名の評議員を置いて、その組織が成つた。而して、本部を小石川區大塚坂下町に置き、從來の道場を講道館下富坂道場、別稱講道館第一道場と改稱し、小石川大塚坂下町に、講道館開運坂道場、別稱講道館第二道場を置き、從來附屬の各道場は、總て本部の附屬として存置すること、した。その後、矢作氏理事の職を辭し、嘉納徳三郎氏これに代り、又、監事柿沼氏の歿後、和田豊治氏之に代り、和田氏の歿後其の後任として大橋新太郎氏が監事となられた。其後師範は、更に二萬四千圓を寄附し、岩崎、三井、古河、住友、久原、内田、山下、南郷の諸氏は一萬圓或は一萬圓以上を寄附し、其の他千圓以上の寄附者も少なくなく、今日は、基金の利子と收入とを以て、安全に事業を遂行し得るに至つた。講道館の創設以來既に四十餘年、其の間講道館が、國家、社會に貢獻した所は決して少なくない。併し、講道館の抱負は大にして、その事業は複雑を極むるものであるから、今後愈々基礎を鞏固にし、有力なる人士を集め、各種の研究機關を設け、大にその事業の大成に備へなければならぬ。依て、大正十五年に、郷男爵を會長として、講道館後援會が起り、基金の募集に着手することになつたのである。今後は武術的及び體育的方面の柔道に力を盡すと同時に、精神的方面及び應用的方面に力を盡し、大に國家社會に貢獻する所あらんとするものである。

財團法人組織となつてから以後を第四期とするが、この期間に於ては、一層柔道の普及は著しく、従来柔道を課さなかつた學校に於ても、新に之を設けたものも多く、現今にては、大學は固より、官公私立の専門學校及び中等學校中柔道部の設けなきものは殆んど稀であつて、小學校に於てすらも、陸續として之を課するに至つた。而して此等の諸學校に於ては、殆んど皆之を正課とする状況である。これ偏に嘉納師範の卓見と、四十有餘年來の永き苦心經營の賜と云はなければならぬ。

今日に於ては、従前の柔術なるものは、殆んど跡を絶ちたるかの感がある。今日柔道の教師と云へば、何れも皆講道館柔道の修行者であつて、獨り學校のみならず、會社、銀行、又は富豪の家庭、各種の團體等より招聘されて、講道館柔道を教授しつゝ、あるものゝ數は、實に數ふるに遑ない程である。其他遠く海外にあつて斯道の普及に努め、指導をなしつゝ、あるものも亦少なくない。朝鮮京城及び北海道札幌に分場を設けたのも亦此の期間に屬する。

### 講道館の教育狀況

講道館幹事長 本 田 親 民

講道館柔道は、文武兩道の教として、明治十五年本館創立以來、その教育不斷に行はれたの

であるが、近年激烈なる競争は、漸く我國の青年を驅つて、従來の惰眠より醒めしめ、合理的にして効果の顯著なるこの心身鍛鍊法に依て心身の發達を圖らんとし、この修行場に集まるものが會て見ざる盛況を呈するに至つた。この時に於て、幸、師範は従前の激務より離れ、屢々講道館に臨席し得ることとなり、道場の教育も、一段の進歩を見るに至つた。

かの年中行事として舉行する各種の試合の如き、毎年殆んど毎月のごとく、一回乃至四回の試合を行はざる月は稀に見る位である。就中、年頭の鏡開式、春秋の紅白試合、冬夏の寒暑稽古の開始及び終了日、並に毎年數回舉行する昇段式、その他時々行はる、講演又は講習會等の機會に於て、師範が道場に臨む機會のある毎に、必ず訓話があり、且つ時宜に依つて、師範又は指南役、指南役輔佐その他高段者の技に關する説明及び其の實演があり、その他、時々幹事長若くは幹事の告諭があり、殊に毎週日曜日新に入門するものに對しては、其の都度詳細なる訓示がある。而して其の説く所は、一として修行者の心身修養に關しないものはなく、其の言ふ所未だ會て國家社會の上に及ばないことはない。加之、有段者の主なるものに對しては、師範は機會ある毎に指導誘掖に力め、又、毎年中央講道館有段者會定期會合を開催し、各地有段者會の代表者を集合せしめて、各地の状況を聴取した上に、之に對して適切な訓諭を與へ、各會長をして、その會員を善導せしめんことを期すると共に、師範自身は、始終各地に出張して獨り講道館員に對してのみならず、國民一般に對しても、常に講道館柔道の目的及び使命を説き、其の普及に努力して居る。茲に於てか、近來講道館柔道が、單なる技術に非ずして、精神



の修養法としても、處世の法としても、大に價值あるものなることを認め、又、深奥なる妙味を有するものたることを悟り、自ら之を説くものも亦、多きを爲すに至つた。尙、豫て師範の言の如く、道場に於ける稽古は、單に亂取のみに止らず、將來各種の機關を整へて、研究進歩を圖ることが最も必要である。就中、目下形の稽古を指導すべき機會を與へられんとして居るから、それが實行さるゝやうになつたならば、又一段の効果をあげ得るであらうと期待する。

又 攻防式國民體育と云ふ名稱で、武術と體育とを結附けたやうな一種の身體鍛鍊の法が近年嘉納師範によつて創始された。現に東京府立第五中學校の水高教諭が、師範より傳授を受けて同校の生徒に教へて居るが、短時日内に相當の訓練が出来、昭和三年正月の本館鏡開式に於ては、約廿名の生徒が出揃うて之を衆覽に供した。尙ほ神戸高等工業學校、大阪の高等西華女學校、田縣の本庄高等女學校、その他諸所に於て、既に多數練習して居る。又嘉納師範は、女子に柔道學校を普及せしめんが爲、講道館に女子部を設け、將來女子の教師となり得る人を養成し、又一般の有志にも教ふる目的を以て、本館第二道場に於て師範自ら指導して居られる。

### 財團法人講道館寄附行爲

(大正六年六月十九日變更認可)

- 第一條 本財團ハ日本柔道ノ發達普及ヲ圖リ國民ノ身心鍛鍊ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本財團ハ之ヲ講道館ト稱ス
- 第三條 本財團本部ノ事務所ハ之ヲ東京市小石川區大塚坂下町百十四番地ニ置ク尙必要ニ應シ内外各地ニ支部ノ事務所ヲ置ク
- 第四條 本財團ノ資産ハ設立者ノ寄附財産設立後第三者ノ寄附ニ係ル財産及ヒ其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第五條 本財團ニ理事三人ヲ置キ其ノ一人ヲ講道館長ト稱ス
- 第六條 講道館長ハ維持員會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ七年トシ其ノ他ノ理事ハ評議員會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ三年トス但シ再選スルコトヲ得
- 第七條 本財團ノ事務ハ館長之ヲ總裁ス館長故障アルトキハ理事ノ協議ニ依リ理事中ヨリ其ノ代理者ヲ定ム
- 第八條 本財團ニ監事二人ヲ置ク
- 第九條 監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ三年トス
- 第十條 本財團ニ二十人以上四十人以上ノ評議員ヲ置ク
- 第十一條 前條ニ定メタル範圍内ニ於ケル評議員ノ員數ハ維持員會ニ於テ之ヲ定メ維持員中ヨリ之ヲ互選

シ其ノ任期ハ次ノ評議員改選期迄トス但シ再選スルコトヲ得  
前項評議員ノ任期中缺員ヲ生ジタルトキ又ハ前項所定ノ評議員ニ増員ヲ要スルトキハ館長ハ評  
議員會ノ選舉ニ依リ之ヲ維持員中ヨリ補缺シ又ハ増員スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル評議員ノ  
任期ハ次ノ評議員改選期迄トス

第十二條 講道館長ハ評議員ヲ改選スル爲メ三年毎ニ維持員會ヲ開クモノトス  
第十三條 本財團ニ維持員ヲ置キ左ニ掲ケタル者ヲ以テ之ニ充ツ但シ第三號ニ該當スル者ハ維持員ヲ辭ス  
ルコトヲ得

一 設立者  
二 設立者カ指名シタル者百人以内 但シ其ノ人員中ニ缺員ヲ生ジタルトキハ館長ノ指名ニ依  
リ之ヲ補缺ス

三 金千圓以上ノ寄附者 但シ二百人ヲ超ユルニ至リタルトキハ初ノ二百人ヲ以テ之ニ充ツ若  
シ缺員ヲ生ジタルトキハ館長ノ指名ニ依リ之ヲ補缺ス

第十四條 評議員會及ヒ維持員會ハ講道館長之ヲ招集シ且ツ其ノ議長トナル 講道館長故障アルトキハ館長  
ノ順序ニ依リ理事ノ一人之ニ代ル

第十五條 評議員會及ヒ維持員會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決ス  
ル所ニ依ル

第十六條 本財團ノ資産ヲ分チテ基本財産及ヒ普通財産ノ二トス  
寄附金ハ其ノ半額以上ヲ必ス基本財産ニ組入ルモノトス 但シ用途ヲ指定セルモノハ此ノ限  
ニアラス

第十七條 基本財産ハ其ノ元本ヲ消費スルコトヲ許サス

第十八條 本財團ノ事業ノ執行資産ノ管理處分其ノ他ノ事項ニ關スル細則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定  
ム

第十九條 本財團ノ事業年度ハ曆年ニ從フ  
本財團毎事業年度ノ經費ハ前年度末ニ於テ講道館長豫算ヲ調製シ評議員會ノ決議ヲ經テ其ノ額  
ヲ定ム

豫算外ノ支出及ヒ豫算超過ノ支出ヲ要スルトキハ臨時評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス  
但シ緊急ノ場合ニハ支出ノ後評議員會ノ承認ヲ經ヘシ

第二十條 各事業年度ノ事業概況會計決算ハ翌年度ノ初ニ於テ理事之ヲ維持員ニ報告ス  
此ノ寄附行爲ノ條項ハ講道館長ノ發議ニ因リ維持員會ノ決議ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得此ノ  
場合ニ於ケル維持員會ハ維持員ノ半數以上ヲ以テ成立シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルヲ要ス但  
シ維持員ハ文書ヲ以テ他ノ維持員ノ議決權ヲ委任スルコトヲ得

第二十一條 第三條本財團事務所所在地ニ關スル變更ハ前項ニ拘ハラズ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ爲ス事ヲ得  
本財團カ解散セサルヲ得サル場合ニ 遭遇シタルトキハ本財團ニ屬スル財産ハ維持員會ノ決議ニ  
ヨリ本財團ノ目同ト同一又ハ類似ノ事業ノ爲メ之ヲ處分スヘシ

第二十二條 此ノ寄附行爲ヲ變更スル場合ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルモノトス

第二十三條

財團法人講道館役員

(姓名いろは順)

- 館長理事維持員 嘉納治五郎  
小石川大塚坂下町一四(大塚三三)  
 理事維持員 若槻禮次郎  
本郷上富士前町二九(小石川七〇〇)  
 同 嘉納徳三郎  
小石川竹早町八二(小石川五二〇)  
 監事維持員 子爵 澁澤 榮一  
府下瀧野川四ヶ原一〇三六(小石川四六一)  
 同 大橋新太郎  
府上六番町四三(九段四二二)  
 同 飯塚國三郎  
府下瀧野川一八八六(高輪七八二)  
 評議員維持員 子爵 花房 太郎  
府上大崎町池ノ谷二九一(高輪五八)  
 同 原邦造  
府下北品川町三二五(高輪五四〇)  
 同 本田親民  
本郷市ヶ谷神町二六(本郷四三八五)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

- 本 田 存  
本郷市ヶ谷神町七〇  
 本郷房太郎  
赤坂青山北町一ノ八(青山七〇二)  
 床次竹二郎  
本郷三河臺町一四(青山四九四〇)  
 富田常次郎  
府上赤田町二ノ七(青山二八〇四)  
 鎌田 榮吉  
府下目黒五五五(高輪四六)  
 吉岡 範策  
府下千駄ヶ谷新田八三四(四谷八八〇)  
 男爵 田中 義一  
赤坂青山北町四ノ六五(青山六七五)  
 田中 銀之助  
本郷市兵衛町一ノ五(青山六五五六)  
 財部 彪  
芝白金三光町五一九(高輪三六八三)  
 竹内 平吉  
芝芝公園二五號地(青山三〇五四)  
 竹下 男  
本郷市三三五(高輪一五六五)

一八

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

- 中川末吉  
芝高輪南町四四(高輪四二二)  
 永岡 秀一  
小石川開口町二〇六  
 南郷次郎  
府下玉川村上野毛(玉川六三)  
 南郷三郎  
府下千駄ヶ谷原宿三一一(青山三八六)  
 村山龍平  
本郷駒込武蔵野町  
 内田信也  
本郷三河臺町二八(青山四九六七)  
 潮田方藏  
府下千駄ヶ谷原宿一七〇(青山一七四〇)  
 法學博士 矢作 榮藏  
府下千駄ヶ谷五六二(青山一六三〇)  
 男爵 八代 六郎  
小石川原町一三一(小石川一五三二)  
 山之内 次  
麻布富士見町三五(高輪三九九六)  
 山下 義韶  
小石川大塚坂下町一四  
 小橋 一太  
府上大崎町五三八(高輪一六六〇)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

- 有賀長文  
本郷板倉片町二(青山六二〇五)  
 有田 秀造  
府下北品川町御殿山三一八(高輪六九六)  
 荒井賢太郎  
小石川金富町五六(小石川三〇〇四)  
 醫學博士 佐藤達次郎  
四谷尾籠町七(四谷三三三〇)  
 醫學博士 男爵 阪谷 芳郎  
小石川原町一六(小石川二二〇)  
 法學博士 男爵 桐島 像一  
本郷駒込富士前町一二二(小石川七〇)  
 三土 忠造  
麻布區露尾町一六(高輪五七七)  
 正力 松太郎  
芝三田四國町二ノ一(高輪五七五九)  
 平沼 亮三  
横濱西平沼(横濱三〇八)  
 醫學博士 平山 金藏  
麻布永坂町六八(青山二九二五)  
 本山 彦一  
大塚府本北郡高石村(後寺五七)  
 法學博士 關 一  
大塚府本天王寺山一ノ四  
 此他ノ維持員ハ之レヲ略ス

一九

入門規則

- 一、入門ヲ請フ者ハ毎日曜日午前九時マテニ本館ニ出頭シ入門願書(第一號書式)ニ履歷書(第二號書式)ヲ添ヘ受付ニ差出スヘシ
- 一、入門ヲ許可スル際ニハ左ノ五ヶ條ノ誓文ニ記名調印セシム
  - 第一條 此度御門ニ入り柔道ノ御教授相願候上ハ猥ニ修行中止仕間數候事
  - 第二條 御道場ノ面目ヲ汚シ候様ノ事一切仕間數候事
  - 第三條 御許可ナクシテ秘事ヲ他言シ或ハ他見爲仕間數候事
  - 第四條 御許可ナク柔道ノ教授仕間數候事
  - 第五條 修行中諸規則堅ク相守可申ハ勿論御免許後ト雖モ教導ニ從事仕候トキハ必ス御成規ニ相背キ申間數候事
- 一、入門ノ許可ヲ得タルモノハ入門料(金參圓)及其月ノ道場費(金壹圓)ヲ納ムヘシ

- 一、入門者ハ毎月道場費(金壹圓)ヲ納ムヘシ但シ道場費ハ毎月其月ノ第二日曜日マテニ納ムヘシ
- 一、病氣又ハ事故ノ爲メ一日モ出席セサル月ノ道場費ハ納ムルニ及ハス
- 一、入門當日ハ印ヲ持參シ袴又ハ洋服着用ノコト
- 一、稽古時間ハ左ノ如シ
  - 平常 午後二時ヨリ七時マテ
  - 土曜 午後一時ヨリ六時マテ
  - 日曜 午前八時ヨリ正午マテ
  - 祭日(曆ニ記載シアル日) 休
- 一、外國其他遠隔ノ地ニアリテ入門ヲ請フモノハ講道館有段者ノ紹介ヲ以テ入門願書履歷書及五ヶ條ノ誓文ヲ書シタルモノニ記名調印シ入門料(金參圓)ヲ添ヘ送附スルトキハ證據ノ上之ヲ許可スヘシ
- 一、(姓名ニハ假名ニテ讀方ヲ附スコト)
- 一、外國其他地方ノ道場ニ於テモ特ニ本館ノ許可ヲ得テ此規則ヲ取捨スルコトヲ得

第一號書式

入門願書 (用紙半紙)

原籍 何之 誰  
 現住所 何之 誰  
 生年月日

私儀今般御門ニ入り柔道ノ御教授相願度候間此段御許可之程奉願候就テハ私一身上ニ係ハルコトハ一切保證人ニ於テ引受可申候也

年 月 日

住 所 現府下ニ一家ヲ立ツル者ニ限ル

保證人 何之 誰

講道館御中

但遠隔ノ地ニアリテ入門ヲ請フモノハ紹介人ヲ以テ保證人トス

第二號書式

履歷書 (用紙半紙)

一、生地

一、學業 (柔道ヲ修行シタルモノハ修行セシ場所及  
 其處ニ於ケル階級、年數等ヲ附記スヘシ)

一、職業

一、賞罰

其他一切ニ係ハル緊要ナル事項ヲ記載スヘシ

年 月 日

華士族平民

何之誰何男

何之 誰

年 齡

## 講道館柔道修行者心得

三三

- 一、本館ニ於テ柔道ヲ修ムル者ハ身體ヲ鍛鍊シ精神ヲ修養シ以テ國家人類ノ爲ニ裨益ヲ爲ス人タラシムル事ヲ期スヘキコト
- 一、道場ニ出席及ヒ退席ノ時ハ師範席ニ向テ敬禮スヘキコト
- 一、道場ニ出席ノ時ハ師範並ニ各役員及先進者ノ指揮ニ從フヘキコト
- 一、師範並ニ先進者ニ對シテハ勿論總テ館員相互ニ禮儀ヲ重シ先進者ハ後進ノ者ヲ懇篤ニ導キ後進ノ者ハ之ニ從順ナルヘキコト
- 一、道場ニ出席ノ時ハ直ニ出席簿ニ姓名ヲ楷書ニテ記入スヘシ
- 一、疾病其他己ムヲ得サル事故アルニアラサレハ猥ニ缺席スヘカラサルコト
- 一、但シ豫定ノ日ヲ限リ稽古ヲ乞フモノハ其旨幹事ニ申出テ豫メ許可ヲ受クヘシ
- 一、保證人又ハ自己轉宿ノ節ハ幹事ニ届ケ出ツヘキコト
- 一、服裝ハ袴着用又ハ洋服着用タルヘキコト
- 一、更衣所外ニ於テ裸體トナリ或ハ肌ヲ脱キ又ハ吸煙スヘカラサルコト
- 一、道場ニアリテハ立、坐、共ニ姿勢ヲ正シクシ決シテ立膝、横臥、懷手、又ハ足ヲ投ケ出スヘカラス
- 一、在京者ハ師範及同門ノ者ニ對シ新年ヲ賀スル爲ニ毎年一月一日ヨリ七日迄ニ鏡餅壹重ヲ呈スヘキコト但シ鏡餅ハ直徑凡五寸ノモノトス
- 一、遠隔ノ地ニアルモノ或ハ疾病等ニヨリ新年ヲ來賀スル事能ハサルモノハ書面ヲ以テ之ヲ祝シ併テ當時

ノ居所ヲ通知スヘキコト

- 一、春秋紅白勝負ハ勿論其他月次勝負ニハ務メテ出席シ試合スルカ又ハ見學スヘキコト
- 一、柔道修行ノ本旨ニ基キ平素誠實ノ心ヲ養ヒ道義ヲ尙ヒ職分ヲ勵ミ素行ヲ慎ミ衛生ヲ重シ一切ニツキテ心掛ヲ良クスヘキコト

## 講道館審議會規則

6

- 第一條 講道館道場ニ審議會ヲ置ク
- 第二條 審議會ハ講道館師範之ヲ主宰ス
- 第三條 審議會ハ師範ノ諮問ニ應ジ左ノ事項ニ就キ審議ス
  - 一、講道館有段者會ノ提出ニ係ル館員ノ段級資格認定ノ當否
  - 二、講道館有段者會ノ提出ニ係ラサル館員ノ段級資格ノ認定
  - 三、館員ノ表彰又ハ制裁ニ關スルコト
  - 四、規則ノ改正細則ノ編成其他重要ナル事項
- 第四條 審議會ハ師範ノ選任ニ係ル審議委員若干名ヲ以テ組織ス  
但第三條中第三號又ハ第四號ニ就キ審議スル場合ニ在テハ審議委員中ニ道場相談役ヲ加フルモノトス

三三

第五條 審議委員ノ任期ハ一年トス但重任ヲ妨ケス

第六條 師範ハ審議委員中ヨリ指定シテ一人ヲ主任トシ一人ヲ副主任トス  
主任ハ本會ノ議長トナリ議事ヲ整理ス  
副主任ハ主任ヲ輔佐シ主任事故アル時ハ之ヲ代理ス

第七條 本館ノ幹事ハ本會ノ事務ヲ擔任ス

第八條 審議委員ハ平素館員技術練習ノ模様修養ノ狀況ニ注意スルヲ要ス

第九條 審議委員ハ公平無私ニシテ審議ノ内容ニ就キ秘密ヲ嚴守ス可キモノトス

第十條 段級ノ審議ハ修行者ノ品性、柔道ノ形及亂捕ニ於ケル技術、柔道上ノ知識柔道ノ修行ヲ其身ニ  
應用セル實況、柔道上ノ功績等ニ照ラシ左ノ趣旨ニ據テ判斷ス  
イ、品性劣惡ナル者ハ他ノ事項ノ如何ヲ問ハス否認ス  
但其程度ニヨリ昇進ヲ後ラスニ止ム

ロ、品性優秀ノ者柔道ノ修行ヲ善ク其ノ身ニ應用セル者及柔道上ノ功績アル者ハ其程度ニ應シ他  
ノ缺點ヲ補償セシムルモノトス

ハ、柔道ノ技術ヲ評定スルニハ姿勢歩合及巧拙ヲ併セ考フルヲ要ス

ニ、柔道ノ知識ニ於テハ初段以上階級ノ進ムニ從テ技ノ理論ノ理解、柔道ノ體認如何ニ重キヲ置  
テ審議スヘキモノトス

第十一條 審議會ハ參考上必要ナル名簿記録等ヲ備フヘキモノトス

第十二條 審議會ハ左ノ手續ニ據リ事務ヲ處理ス  
イ、主任ハ會ノ開閉延期休憩等ヲ宣シ會ノ進行並整理ヲ司ル

ロ、幹事ハ審議ニ附スヘキ必要ナル材料ヲ整ヘ議事ノ要領ヲ記録ス

ハ、審議委員ハ意見ヲ開陳シ審議ノ終リニ於テ決議案ニ署名スヘキモノトス

第十三條 審議會ハ審議委員半數以上ノ出席ヲ以テ成立シ其議決ハ出席委員全部ノ同意ヲ得ルヲ原則トス  
出席委員全部ノ同意ヲ得ル能ハサル時ハ其理由ヲ師範ニ具申スヘキモノトス

第十四條 審議委員半數以上ニ達セサル時ハ更ニ日ヲ改メテ招集シ尙半數ニ達セサル場合ハ其際出席セル  
委員ニ於テ議決スルコトヲ得

第十五條 段級資格ニ關シ審議委員ノ審議ニ附スルハ當該委員ノ有スル階級ヨリ一段以下ノ階級ニ達セン  
トスル者ニ限ル審議委員ト階級又ハ其レ以上ノ階級ニ達セントスルモノニ付審議スル場合ハ  
當該委員ハ其議事中退席スヘキモノトス

但主任ニ於テ職務上列席ヲ必要ト認メタル時ハ此限リニアラス

第十六條 審議委員ハ自己ノ身上ニツキ審議セラル可キ場合ハ其議事中退席スヘキモノトス  
但主任ニ於テ其列席ヲ必要トスル時ハ此限リニアラス

第十七條 柔道ノ發達普及ノ上ニ大ナル貢獻ヲナシ又ハ妨害ヲ爲スト認メラル者アル時ハ其事實ヲ精密  
ニ調査シ師範ニ報告スヘキモノトス

第十八條 審議委員ニシテ道場ニ關スル規則ノ改正細則ノ編成其他重要ナル事項ニ就キ自ラ意見ヲ有シ又  
ハ他ノ意見ヲ聞込ミタル時ハ之ヲ師範ニ報告スルカ又ハ審議會ノ參考ニ供スヘキモノトス

### 講道館試驗規則

- 第一條 講道館師範ハ館員ノ段級資格認定ノ爲必要ニ應シテ試験ヲ行フ
- 第二條 試験ハ柔道ノ理論ト技術トヲ併セ行フテ原則トス
- 第三條 試験ハ常任試験委員及ヒ臨時試験委員ヲ置キ之ヲ行ハシム
- 第四條 常任試験委員ハ全部ノ講道館審議委員ヲ以テ之ニ充ツ  
但審議會ハ別ニ規約ヲ設ケ師範ノ承認ヲ得テ一部ノ審議委員ニ之ヲ委任スルコトヲ得
- 第五條 臨時試験委員ハ師範力必要ト認メタル時特ニ之ヲ指名ス
- 第六條 臨事試験委員ハ示サレタル方針ニ基キ實施ノ方法ヲ定メ課題ヲ選擇シ豫メ師範ノ認可ヲ得ヘキ  
モノトス
- 第七條 試験ハ試験委員三名以上ヲ行ヒ其中一人ヲ委員長トス
- 第八條 試験ノ成績ハ出席試験委員ノ合議ヲ以テ定メ委員長之ヲ審議會ニ報告スヘキモノトス
- 第九條 試験ニ要スル費用ハ講道館ノ負擔トス但場合ニ依リ受験者ニモ其幾分ヲ負擔セシムルコトアル  
ヘシ

### 講道館段級規則

- 第一條 講道館師範ハ講道館柔道修行者ニ對シ其進歩ノ程度ニ相當セル段又ハ級ヲ授與ス
- 第二條 段ハ初段ニ始マリ逐次昇進スルモノトス

第三條 級ハ段ノ下位ニ在テ五級ヨリ一級ニ及フ

第四條 段ヲ有スル者ヲ有段者、之ヲ有セサル者ヲ無段者、初メテ修行スル者ヲ初心者、新入門者ニシ  
テ段級未タ決定セサル者ヲ段級未定者ト稱ス

第五條 第二條乃至第四條ノ階級ヲ區別スル爲帶ノ色分チ左ノ通定ム

- 一、有段者
  - 二、成年組一級二級三級ノ者 茶褐色
  - 三、少年組一級二級三級ノ者 紫色
  - 四、成年組少年組ヲ通シテ四級五級及段級未定者 白色
  - 五、初心者 水色

第六條 段級ノ昇進及ヒ編入ハ講道館師範ノ認定ニ依リ之ヲ行フ

第七條 前條ノ認定ハ講道館審議會ノ審議ニ基キ之ヲ爲スチ例トス但時宜ニ依リ師範ハ直接之ヲ行フコ  
トアルヘシ

第八條 前條ノ講道館審議會ノ審議ニ附セラルヘキ者ハ左ノ知シ

- 一、講道館試験規則ニ依リ試験ノ上相當ノ成績ヲ得タル者
- 二、講道館ノ試合ニ於テ相當ノ成績ヲ得タル者
- 三、講道館有段者會ノ推薦ニ依ル者
- 四、講道館有段者會ナキ地方ニ於テハ其地方教師ノ推薦ニ依ル者
- 五、講道館又ハ柔道ノ爲顯著ナル功績アル者

第九條 段級ヲ授與セラレタル者ニハ本人ノ請求ニ應シテ其證書ヲ交付ス

講道館道場役員

幹事 長

幹事 補

相談 役

子爵

南郷次郎 吉岡範策 潮田方藏 宗像逸郎 竹内平吉 花房太郎 本田親民 居藤高季 藤生安太郎 村上邦夫 大角桂巖 本田逸存 宗像逸郎 本田親民

指南役

指南役 輔佐

審議委員

高橋數良 本田常次郎 富田常次郎 飯塚國三郎 山下義昭 山副主 任

二八

村上邦夫 內田作藏 宮川一貫 三船久藏 永岡秀一 大角桂巖 本田親民 居藤高季 藤生安太郎 橫本伊勢吉 小田常胤 德三寶藏 三船久藏 宗像逸郎 永岡秀一 山下義昭

成年組一級世話係

主任

中野正三 藤嘉三郎 小田常胤 飯塚國三郎 德三寶藏 橋本正次郎 三船久藏 宮川一貫 內田作藏 大角桂巖 村上邦夫 中野正三 德三寶藏 藤嘉三郎 橋本正次郎 小田常胤 川上忠 應崎正見 藤生安太郎 德三寶藏 前田武郷 泉山捨松

少年組世話係

主任

有段者試合係

田島鐵次郎 島野正男 前田武郷 國末幸造 山口孫作 長畑功 花桐清次郎 子安正男 橫本伊勢吉 淺川源澄 松本信彦 鈴木潔治 山本武四郎 高木喜代市 國末幸造 淺川源澄 橫本伊勢吉 田島鐵次郎 牛久孝四郎 工藤一三 森山喜代助 泉山捨松 島野正男 渥美昌純 廣瀬一 伊藤四男

二九



中央講道館有段者會

會長  
副會長  
幹事

嘉納治五郎  
山下義韶  
宮川一貫  
本田存  
大角桂巖  
村上邦夫  
櫻庭武

審議部員

主任  
副主任

中村愛作  
福永吉雄  
富田常次郎  
内田作藏  
永岡秀一  
三船久藏  
本田存  
村上邦夫  
中野正三  
藤嘉三郎  
橋本正次郎  
藤崎正見  
居藤高季  
飯塚國三郎  
宮川一貫  
大角桂巖  
高橋數良  
德三寶  
小田常胤  
櫻庭武  
山下義韶  
飯塚國三郎  
宮川一貫  
大角桂巖  
高橋數良  
德三寶  
小田常胤  
櫻庭武  
藤生安太郎

東京講道館有段者會

會長  
副會長  
幹事

嘉納治五郎  
永岡秀一  
村上邦夫  
横澤正督

大正十四年度 柔道試合審判規程の改正に就いて

講道館師範 嘉納治五郎

講道館には古くから自己の審判規程があつたが、後年京都に大日本武徳會が出来、その教師は悉く講道館門下の者がその任に當つて居たが、大會などの時に全國から集まつて来る者の中には、古來の柔術を修業して、講道館の門に入つて居らぬ人も多數あつた。そこで、それ等の人も一緒になつて試合をしようといふ場合に、純粹の講道館柔道試合の規程を用ひては、それ等の人に不便のこともあらうと思つて、大日本武徳會試合の規程を自分が起草して、諸流の柔術家の意見も參酌して、武徳會はそれを採用することにした。その規程は、講道館以外の人の便利を考慮したには相違ないが、大體講道館の規程に基いて作つたのであるし、武徳會と講道館と規程を二様にすることも面白からざること、思つて、講道館にもそれを採用することに決し、此程まで實行されて居た講道館・武徳會共通の規程が出来た譯である。然るに、其の後、その規程に最初考へた以上の缺陷のあることを認め、何とか改正をせねばならぬと自身にも考へて居た所、武徳會の會長、副會長も同一の意見であり、諸學校の校長の中にも、柔道のことを解する人々は、屢々同様の意見を予に述べるので、愈々改正の決心を固めた。併し、既に廣く行はれて居る規程を改めることであるから、慎重の上にも慎重の考慮を費さねばならぬので、

講道館に於ては、屢々重立ちたる者の研究会を開き、京都に於ても、武徳會の大會などの時、高段者が寄合ひ、或る時は東京の者が京都の會合に加はり、或る時は京都の者が東京の會合に加はるといふ風に、種々手を盡して改正案が出来上つたのである。併し尙廣く意見を聞くことを必要と認め、武徳會から、同會の教士以上の人々にその案を示して意見を徴したのである。それ等の意見を参考にし、京都に於ても、東京に於ても、更に協議を盡し、決定したのが、先般發表した改正規則である。如何に慎重なる研究の結果定めたものでも、全く缺陷のないといふことは保證し得ないけれども、かくまで手を盡して行つた改正であるから、是非その通に一般に實行されるやうにしたいと思ふ。尤、中學生とか小學生とかの試合に於ては、多少の取捨をすることは差支ないと思ふが、一般的の規程としては、まぢくにならぬやうにしたい。就ては、何故に彼の如くに改正したかといふ理由を左に説明しよう。

審判規程といへば、試合を審判する爲の規程であることは勿論であるから、第一、試合は何の爲にするかといふことを明にしなければならぬ。試合には色々の種類があつて、個人と個人との試合があれば、團體と團體との試合もあり、又、紅白勝負の如く多數の者を二組に分けて試合をする場合もある。随つて、目的も一樣ではない。併し如何なる種類の試合にも共通であつて、試合の最も大切な目的は何かといふと、試合に依つてどれ程技術が上達したか、如何に體力が増したか、精神の修養とか工夫の力がどれ程進んだかといふやうなことを各自にも知り指導者にも認めて貰ふ機會を作ることである。試合そのものは、決して柔道修行の終局の目的

でない。終局の目的は、社會に於て何事を爲すにも、平素修行に依て得た力を利用することにあるのである。それが忍耐力となつて利用されることもあり、敏速なる判斷力となつて顯はる、こともあり、工夫力となつて役に立つこともあり、攻撃を受けて自己を防禦する必要のある時その力が發揮せらるゝこともあるであらう。かく考へて見ると、試合は、各自が相手に勝たうと思つて最善の力を働かす筈のものには相違ないけれども、眞劍勝負でもなければ終局の勝負でもない。飽までも修行の一方便であつて、修行の道程に於てどれ程まで己の力が進んだかを試みることを目的とするのである。して見れば、試合に於ける優劣を判斷する原則は、修行上達の程度の優劣でなければならぬ。只實際問題としては、どれだけが生れつきの體力で勝つたか、どれだけが修行の効力に依つて勝つたかといふことを判定することが困難であるから、體力で勝つても、多くの場合に於ては、試合の規則上正當の勝と見做されて居るのである。併し原則はどこまでも原則として尊重せねばならぬ。

かく論じ來れば、柔道亂取の修行の目的は何かといふことに論及しなければならぬ。本來、柔道の亂取は、眞劍勝負を目的として修行することも出来、體育を目的とすることも、精神修養を目的とすることも出来る。併しさういふ特定の場合には別として、世間一般に柔道を修行する者は、それ等三者を兼ねて修行して居るものと見做すを適當と認める。將來は、講道館に於て特定の目的を以て修行する方法も講じたいと思つて居るが、今日の講道館に於ては、この三者を兼ねて修行することになつて居る。武徳會に於ても、各種學校に於ても、大體同様であら

うと思ふ。さうすると、柔道の修行上留意すべきは、左の各條項でなければならぬ。

一、身體の強健自在を圖り、負傷その他身體に害を及ぼさざること。

二、眞劍勝負に適用し得る攻防の實力を養ふこと。

三、あらゆる機會を利用して智徳の修養に努むること。

さうして見ると、柔道の修行上獎勵すべきことは、これ等の目的を達するに適當なる仕方で行ななければならぬ。それには、亂取に於て投技を主とし、固技を従とすることを方針とするを要する。その理由は、

(い) 身體の發育を圖るには、立つて居る姿勢を本にしなければならぬ。それは、百種の活動は立つて居つてすることが多いからである。又、亂取の目的の一つである身體の自在は、立つて居ながら種々の姿勢に適當するやうに筋肉の調和的練習をすることに依て達せられるからである。

(ろ) 投技は固技に比して變化が多いのみならず、大小種々の異つた技があるから、彼我相對的關係から生ずる種々の理論を會得し、その妙味を悟る機會が多く得られる。

(は) 眞劍勝負は、多くは立つて居る姿勢の時から始まる場合が多く、又、立つて居る姿勢で勝負することに熟練して居らぬと、一人以上の對手から攻撃された時、これに對抗することが出来ぬ。

(に) 普通の試合では、當身技や危険な投技が禁じられてあるが、眞劍勝負の時は、それ等を自

(ほ) 由に用ひることが出来る。そしてその當身技や危険な投技は、立つて居る姿勢からでなければ、十分に練習することが出来ぬ。

(は) 共々に倒れた場合とか、對手を投げてから固技に移るのならば、格別危険はないが、對手が立つて居るのに、自ら先に倒れて固技に移らんとすることは、眞劍勝負の場合なら、自ら甚だ不利の位置に陥ることになる。對手は蹴るとか、物を投げ附けるとか、種々の危険な手段を施すに便利を得るからである。

(と) 固技も熟練した者同志では面白味も生じ、相當に理窟もあるが、投技の面白味や高尚な理窟には到底及ばない。

(へ) 前に投技を深く研究したものは、後日固技に熟練することは出来易いが、前に固技を深く研究したものは、後日投技に上手になることは出来難い。それは實驗上もさうであるが、理窟上からもさうなる。その譯は、普通の試合では、幾ら自分が先に倒れても、又はぶら下つても、對手は當身をあてたり、物を投げたりする氣遣はないから、平氣でさういふ様なことをする。さうされると、立つて居る方は、それを引き立て、投げることは、數段優れた實力を有する者でなければ出来ぬから、勢ひ、固技に引き込まれて、投技を施す機會を失つて仕舞ふ。固技が上手で投技の下手なものは、何時でもさういふ手段を用ひて投技を避ける。かくなると、幾ら投技が上手でも、その技は封じられて仕舞ふことになる。さういふ事情から、亂取に於て、投技の發達は止まり、固技ばかりが行はれるやうになる。これに

反して、幾ら投技の上手なもので、全く固技に應ぜぬといふ譯には行かぬから、投技を先に練習して置きさへすれば、投技と固技と両方の出来る人になることは決して困難でない。以上の理由に依り、柔道の段取に於ては、投技を主とし固技を従としなければならぬ。併しこれは、敢て固技を軽んずるといふ意味ではないといふことは、誤解のないやうにして置きたい。唯雙方を比較して、何時も投技の方が主位に居るやうになつて居ればよいのである。この度の改正審判規程は、種々の點に於て改まつて居るが、最も重きを置いたのは、固技に流る、弊を防ぎ、投技の發達を促すこと、出来得る限り危険なる技を制限しようとしたことと、この二つにあるのである。他日改正規程の解説を公にする積りであるから、詳細のことはその時に譲り、茲に改正規程を掲載するに當つて、かく改正の大趣旨を述べて置く次第である。危険なる技の制限については、或はこの規程に制限したやうに、窮窟にする必要はないといふ論もあるかも知れぬ。併しそれは、自身に練習を積んで、かく來ればかう避ける、かうするにハかくの用心をしてかゝると、危険を避ける方法を心得て居る者の意見であつて、それ等の人の爲には制限の必要はあるまいが、審判規程はそれ等特殊の技に未熟の人にも應用しなければならぬのであるから、各地に於ける久しい間の實驗に基いて定めたのであるといふことを明にしておきたい。

大正十四年 審判規程  
八月改正

- 第一條 柔道亂取ノ試合ハ投技又ハ固技ヲ以テ勝敗ヲ決セシム  
投技ハ立技、捨身技ヲ包含シ固技ハ抑技、絞技、關節技ヲ包含ス
- 第二條 試合ハ立勝負ニテ始ムヘキモノニシテ寢勝負ハ左ノ場合ニ限リ行フコトヲ得  
(イ) 技力半以上掛リタルモ未タ一本トナラス引續キ寢技ニ轉シテ攻撃スル場合  
但シ技ノ繼續セザル場合ハ審判員ノ見込ヲ以テ更ニ立タシム  
(ロ) 一方カ技ヲ掛ケントシテ倒レルカカカリシ場合
- 第三條 勝負ハ一本ニテ之ヲ決ス
- 第四條 試合者ノ一方カ投技又ハ固技ニテ勝ヲ得タルトキハ審判員ハ一本ト掛聲シテ其試合ヲ止メシム
- 第五條 投技ニシテ完全ナル一本ト見做シ難キモ今一步ニテ一本トナシ得ヘキ技アルトキ又ハ固技ニシテ始ト一本ト認メ得ヘキモノヲ辛ウシテ逃レタル時ハ審判員ハ「技アリ」ト掛聲シ其後更ニ同様ノコトアル時ハ審判員ハ「合セテ一本」ト掛聲シ投技ト投技、投技ト固技又ハ固技ト固技トノ二回ノ「技アリ」ヲ合セテ一本ノ勝トスルコトヲ得
- 第六條 相當ノ時間内ニ勝負決セサルトキハ審判員ハ「引分」ト掛聲シテ其試合ヲ止メシム
- 第七條 技ヲ掛クル目的ヲ有スルト否トテ問ハス效果ナク己ノ體ヲ地ニ着クルコト三回以上ニ及ブトキハ審判員ノ見込ヲ以テ之ヲ負ト見做スコトヲ得

第八條 投技ニシテ一本ト認ムヘキモノハ左ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

(イ) 故意又ハ過チテ倒レルニアラスシテ一方ヨリ技ヲ仕掛ケ又ハ對手ノ技ヲ外シタルカ爲メニ倒レルコト

(ロ) 技ノ種類ニヨリ必スシモ然リトノミ定メ難キモ大體ニ於テ仰向ニ倒レルコト

(ハ) 相當ノ「はすみ」又ハ勢ヲ以テ倒レルコト

第九條 投技掛リタルモ掛ケラレタル者カ地ニ落ツル前、體ヲ轉ハシテ免レタルトキハ之ヲ負ト認メス

第十條 技ニ掛リタル者何程早ク體ヲ轉ハシ自己ノ便宜ノ位置ニ復スルモ一度其技ニ掛リテ倒サレタルコト明ナルトキハ之ヲ負ト認ム

第十一條 固技ハ「まゐり」ト發聲シテ合圖スルカ手又ハ足ニテ二度以上疊成ハ對手ノ身體ノ孰レカノ部分ヲ打ツトキハ勝負決シタルモノトス、但シ審判員ノ見込ヲ以テ合圖ヲ待マス勝負ヲ決スルコトヲ得

第十二條 試合中負傷シテ試合ヲ繼續スルコト能ハサルトキハ審判員ハ左ノ各項ニ基キ決定スヘキモノトス

(イ) 負傷カ全ク負傷者自身ノ動作又ハ不注意ニ原因シ對手カ之ニ與ラサルトキハ負傷シタル者ヲ負トス

(ロ) 負傷カ對手ノ動作又ハ不注意ニ原因シ負傷シタル者ニ過失ナシト認メルトキハ負傷セシメタル者ヲ負トス

(ハ) 負傷ノ原因カ雙方ノ動作又ハ不注意ニアルカ又ハ明瞭ナラサルトキハ之ヲ引分トス

(ニ) 審判員試合ヲ止メシムル程度ノ負傷ニアラスト認ムルモ負傷者カ試合ヲ辭スルトキハ審判員ノ見込ヲ以テ負傷者ノ負トシ又ハ引分トス

第十三條 負傷ニアラサルモ試合者カ其場ニ臨ミテ後心身ニ異狀ヲ呈シ試合ヲ辭スルトキハ審判員ハ試合ヲ止メ第十二條(ニ)ニ準シテ取扱フモノトス

第十四條 縦ヨリニテモ横ヨリニテモ試合者ノ一方カ對手ノ體ヲ大體水平ニ相當ノ高サニ巧ニ抱キ上ケタルトキハ審判員ノ見込ヲ以テ抱キ上ケタル者ヲ勝トス

但シ投ケ落スコトヲ得ス之ニ違反シタルトキハ第十六條ヲ適用スルコトアルヘシ

第十五條 試合者ハ左ノ各項ヲ守ルコトヲ要スコレニ違反シタル者ハ審判員ノ見込ヲ以テ負トスルコトヲ得

(イ) 頸關節及ヒ脊柱ニ故障ヲ及ボスヘキ技ハ之ヲ用フルコトヲ許サス

(ロ) 絞技中腕絞並ニ關節技中肘關節以外ノ關節技ハ之ヲ用フルコトヲ許サス

(ハ) 體ヲ地ニ着ケ居ル對手ヲ引キ上ケ又ハ釣上ケタル場合急ニ之ヲ突當テ又ハ落スコトヲ許サス

(ニ) 一方カ立チ又ハ跪キ居テ仰向キ居ル對手ヲ釣上ケ得ル姿勢ニアル場合下ニ居ル者ハ脚ニテ頸ヲ挟ミ又ハ頸ト脇下ヲ袈袈ニ挟ミ肘關節技ヲ掛クルコトヲ許サス

(ホ) 上衣ノ袖口及ヒ下穿ノ裾口ニ指ヲ入レテ握ルコトヲ許サス

第十六條 審判員ハ試合中不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ其ノ試合ヲ止メシムヘシ且又行爲ノ如何ニヨリテハ負ト見做スコトヲ得

形及業の名稱

投の形

(手業)

浮落 うきおとし

背負投 せおひなげ

肩車 かたぐるま

(腰業)

浮腰 うきこし

拂腰 はらひこし

釣込腰 つりこみこし

(足業)

送足拂 かくりあしはらひ

支釣込足 さ・へつりこみあし

内股 うちまた

(真捨身業)

巴投 さもあなげ

裏投 うらなげ

隅返 すみがへし

(横捨身業)

横掛 よこがけ

横車 よこぐるま

浮業 うきわざ

固の形

(抑業)

袈裟固 けさがため

肩固 かたがため

上四方固 かみしほりがため

(絞業)

片十字絞 かたじゅうじめ

裸絞 はだかじめ

送襟絞 おくりえりじめ

(關節業)

腕絨 うでがらみ

腕挫十字固 うでひしじうじがため

腕挫腕固 うでひしうでがため

極の形

(居捕)

両手捕 りやうてきり

突掛 つきかけ

摺上 すりあひ

横打 よこうち

後捕 うしろきり

(立合)

突込 つきこみ  
両手捕 りやうてきり

切込 きりこみ  
袖捕 そでとり  
蹴上 けあひ

横突 よこつ  
突掛 つきかけ  
後捕 うしろきり

突上 つきあひ  
突込 つきこみ

摺上 すりあひ  
切込 きりこみ

柔の形

(第一敷)

突出 つきだし

肩押 かたおし

両手捕 りやうてきり

肩廻 かたまわし

腕押 あしおし

(第二敷)

切下 きりおろし

両肩押 りやうかたおし

斜打 ななうち

片手取 かたてきり

片手舉 かたてあひ

(第三敷)

帯取 おびとり

胸押 むねおし

突上 つきあひ

打下 うちおろし

两眼突 りやうがんつき

古式の形

一、二、三、四、五、

名稱ナシ

(表)

體 たい  
曳落 ひきおとし  
鍬取 しころとり

夢中 ゆめのうち  
虚倒 こたふれ  
鍬返 しころがへし

力避 りやくひ  
打碎 うちくだき  
夕立 ゆりだち

水車 みづぐるま  
谷落 たにおとし  
瀧落 たきおとし

水流 みづながれ  
車倒 くるまだよし

| ○投業名稱 |   |
|-------|---|
| (裏)   | 身碎 <small>みくだき</small><br>雪折 <small>ゆきおれ</small>          |
| (第一教) | 出足拂 <small>であしはらひ</small><br>大腰 <small>おほこし</small>       |
| (第二教) | 小外刈 <small>こそごかり</small><br>體落 <small>たいおとし</small>       |
| (第三教) | 小外掛 <small>こそごがり</small><br>拂釣込足 <small>はらつりこみあし</small>  |
| (第四教) | 隅返 <small>すみかへし</small><br>大車 <small>おほくるま</small>        |
| (第五教) | 大外車 <small>おほそごくるま</small><br>裏投 <small>うらなげ</small>      |
|       | 車返 <small>くるまがへし</small><br>岩波 <small>いはなげ</small>        |
|       | 膝車 <small>ひざぐるま</small><br>大内刈 <small>おほうちかり</small>      |
|       | 小内刈 <small>こうちかり</small><br>拂腰 <small>はらひこし</small>       |
|       | 釣腰 <small>つりこし</small><br>巴投 <small>どちひなげ</small>         |
|       | 谷落 <small>たにおとし</small><br>外巻込 <small>そとまきこみ</small>      |
|       | 浮業 <small>うきわざ</small><br>隅落 <small>すみおとし</small>         |
|       | 水入 <small>みづいり</small>                                    |
|       | 支釣込足 <small>さしひつりこみあし</small><br>背負投 <small>せおひなげ</small> |
|       | 腰車 <small>こしぐるま</small><br>内股 <small>うちまた</small>         |
|       | 横落 <small>よこおとし</small><br>肩車 <small>かたぐるま</small>        |
|       | 跳巻込 <small>はねまきこみ</small><br>浮落 <small>うきおとし</small>      |
|       | 横分 <small>よこわけ</small><br>横掛 <small>よこがけ</small>          |
|       | 柳雪 <small>りゅうせつ</small>                                   |
|       | 浮腰 <small>うきこし</small>                                    |
|       | 釣込腰 <small>つりこみあし</small>                                 |
|       | 足車 <small>あしぐるま</small>                                   |
|       | 掬投 <small>すくひなげ</small>                                   |
|       | 坂落 <small>さかおとし</small>                                   |
|       | 大外刈 <small>おほそごかり</small>                                 |
|       | 送足拂 <small>おくりあつうは</small>                                |
|       | 跳腰 <small>はねこし</small>                                    |
|       | 移腰 <small>うつりこし</small>                                   |
|       | 後腰 <small>うしろこし</small>                                   |
|       | 横車 <small>よこぐるま</small>                                   |
|       | 後腰 <small>うしろこし</small>                                   |

### 講道館有段者會の成立及び其の現状

講道館柔道の修行者は、國の内外に亘つて益々多數となり、現に誓文して本館に直接入門せる者は約三萬に達した。随つて、直接講道館に入門せざるも、講道館柔道を修行する人員に至つては百萬を以て概算し得べきである。而して、本館有段者の數は今や既に二萬に垂んとし、毎年入門するもの、數は、約三千乃至四千に達し、年に新に有段者となり、又は昇段する者も亦略ぼ之と同數である。

有段者は斯の如き勢を以て、縦にも横にも増加しつゝあるが故に、これを組織的に統一し、本館との聯絡を圖ることは、講道館柔道の普及發達の上に、必要なることである。依て、大正十一年に、講道館有段者會なるものが組織せられ、其の規則に基いて、各地に成立した講道館有段者會は、昭和二年十一月に至る迄の五年間に、東京、島根、埼玉、宮城等を始めとして、左表に示すが如く、殆んど全國に亘つて、五十七の多數となり、尙ほ近く成立を見んとするものも少なからぬ状況である。

有段者會の目的は、本館門下の同志が、柔道の精神に基いて、相互の融和親睦を圖り、斯道を研究練習して、益々之を向上發達せしむると共に、廣く世に普及せしめることであるが、又會員及び所屬本館員のため、本館師範に對して、段級の昇進、編入等に關する推薦をも爲すの

である。故に、有段者會の仕事としては、第一親睦、第二柔道の發達普及、第三推薦の三件が主眼である。而かも此等の仕事を爲す方法は、各自思ふがまゝに勝手に爲すのではなくして、皆、最初中央より示されたる趣旨に従ひ、一樣の方法を以て施行せらるべきものである。例へば、或る地に有段者會を作らんとする場合には、講道館有段者會規則を基本としてその規則を作り、中央講道館有段者會長たる、本館師範の承認を得、然る後始めてその會が成立することとなるのである。

斯くの如くにして、現在各地の講道館有段者會に於ては、時々種々の會合を催うして、柔道の向上發達を圖り、同時に、相互親睦の目的は必然的に達せられつゝある譯であるが、獨り研究部の仕事のみは未だ容易に進歩の跡を認め得られぬといふ憾がないではない。之に反して審議部の仕事に至つては、人をして、恰も之れが有段者會唯一の仕事であるかの如き感を懐かしむる程、活潑に行はれて居る。

抑も審議部員會の任務は、當該有段者會所屬の講道館員中より、人物技倆共に優秀なる者を選抜して、之を審議したる結果、その優秀なる所以を審かに記録して、本館師範の参考に供するにある。之れを推薦といふのである。然るに、此の推薦の意義が、動もすれば誤解され易く或は審議部自身が昇段を決定する権能を有するものと思ひ、或は昇段を師範に要求し得るものと考へるもの無きにも非ずと思はれる。併しながら、要するに推薦とは、實狀を具申して師範の参考に供することであつて、その成行に關しては、敢て要求がましきことを陳述すべき筈

のものではないのである。故に、推薦は先づ具體的に、詳細に報告すべきものであるといふことを忘れてはならぬ。

茲に於て、右の如き事情を克く徹底せしめ、若しくは相互の事情を聴取して、意志を疏通せしめ、又は將來の計畫を立て、柔道の普及發達を圖る爲に、毎年本館に中央講道館有段者會が開かれ、遠近各地の有段者會長、副會長、又は代表者が會合して、意見の交換をなし、種々の協議を爲すのである。去る大正十四年度よりは、此の機會に、各地有段者會の選手を中央に集めて對會試合を行ひ、以て何れの有段者會が果して其の名に背かざる程の實力を有し居るかを實際に表示せしめつゝあるが、尙ほ今後、時勢の進歩に隨て、より良き方法等が案出されることであらうと思ふ。

### 講道館有段者會規則

第一條 講道館有段者相互ノ親睦ト柔道ノ普及發達トヲ圖ル爲内外各地ニ講道館有段者會ヲ設ケ所在地

ノ地名ヲ附シ何々講道館有段者會ト稱ス

有段者會ト講道館文化會トハ共通ノ目的ヲ有スルヲ以テ相互ニ提携スヘキモノトス

第二條 有段者會ハ左記ノ者ヲ以テ組織ス

一、講道館有段者



- 一、有段者會カ適當ト認メテ推薦シ講道館師範カ之ヲ承認シタル講道館員
- 第三條 有段者會相互ノ連絡ヲ圖リ活動ノ統一ヲ期スル爲東京市ニ中央講道館有段者會ヲ設ク  
中央講道館有段者會ハ會長ノ外特ニ會長ノ選任ニ係ル役員及各地有段者會ノ代表者ヲ以テ組織ス其規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 中央講道館有段者會ノ會長ハ講道館師範トス  
各地有段者會ニハ該會カ選舉シタル會長ヲ置クヲ原則トス  
但地方ノ事情ニ依リ若干名ノ理事又ハ委員ヲ置キテ會務ヲ取扱ハシムルコトヲ得
- 第五條 各地講道館有段者會ハ此規則ノ精神ニ基ツキ其會ニ關スル規則ヲ設ケ中央講道館有段者會長ノ承認ヲ經ヘキモノトス
- 第六條 各地講道館有段者會ハ研究部及審議部ヲ設ク  
研究部ニ於テハ柔道ヲ研究シ其結果又ハ意見ヲ本部ニ報告スヘキモノトス  
審議部ニ於テハ其會ニ屬スル館員ニツキ審査シ段級ノ昇進編入表彰又ハ制裁ニツキ會長ヲ經テ其意見ヲ講道館師範ニ提出スヘキモノトス
- 第七條 各地講道館有段者會ニシテ講道館柔道ノ發達普及ニ關シ意見アルトキハ中央講道館有段者會長ニ申出ツヘシ
- 第八條 各地講道館有段者會ハ毎年一回以上必ス其會ノ事業經過ヲ中央講道館有段者會長ニ報告スヘシ

### 中央講道館有段者會規則

- 第一條 本規則ハ講道館有段者會規則ニ基ツキ中央講道館有段者會ノ開設、組織並ニ活動ノ方法ヲ規定ス本規則ニ規定セサルモノハ講道館有段者會規則ニ據ル
- 第二條 本會ノ事務所ヲ東京市小石川區大塚坂下町百拾四番地講道館本部内ニ置ク
- 第三條 本會ノ會合ヲ定期會合及臨時會合ノ二種ニ別ツ  
定期會合ハ毎年七月ニ臨時會合ハ必要ニ應シ臨時之ヲ開ク  
會場時日代表者數及必要ナル事項ハ定期ニ在テハ約二ケ月前ニ臨時ニ在テハ適宜ノ時期ニ豫告ス
- 第四條 本會ハ會長及會長ノ選任セル副會長一名幹事若干名並ニ各地有段者會ノ代表者ヲ以テ組織ス
- 第五條 會長ハ講道館有段者會規則ニ據リ講道館師範之ニ當リ中央講道館有段者會ヲ統轄ス
- 第六條 副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス
- 第七條 幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ處理ス  
本會ニ出席スヘキ有段者會ノ代表者ハ左ノ方法ニ據リ選出ス  
一、會長ハ各地講道館有段者會ノ情況ヲ察シ其出スヘキ代表者數ノ最大限ヲ定ム  
二、各地講道館有段者會ハ前號ノ指示ニ應シ其代表者ヲ選定シ其階級姓名ヲ指定ノ期日マテニ中央講道館有段者會會長ニ報告スヘシ
- 三、本會代表者ノ任期ハ一年間トス但重任ヲ妨ケス  
本條ノ代表者ハ其會ヲ代表シ本會ノ議事ニ參與ス

第九條

本會ハ其會合ノ際左記ノ中一項又ハ數項ニツキ評議シ又ハ舉行ス

一、各地方柔道ノ統一ヲ圖リ共同ノ利益ヲ進ムルコト

二、全國ニ互レル講道館柔道講習會

三、全國ニ互レル講道館柔道大試合

四、社會ノ爲ニスル講道館柔道大演習會

五、社會ノ爲ニスル大講演會

本條各號ニ關スル規約ハ必要ニ應シ之ヲ定メ關係ノ向ヘ通知スヘキモノトス

第十條

本會ノ經費ハ左ノ如ク支辨ス

一、會場設備及通信ニ要スル費用其他雜費ハ講道館之ヲ負擔ス

二、各地代表者ノ往復並ニ滞在ニ要スル費用ハ各自若クハ所屬有段者會ニ於テ之ヲ負擔ス

但臨時會ニ在テハ講道館之ヲ補助スルコトアルヘシ

東京講道館有段者會規則

第一條

本會ハ講道館有段者會規則ニ基ツキ東京講道館有段者會ト稱ス

第二條

本會ハ東京府下ニ在住スル講道館有段者及本會カ適當ト認メテ推薦シ講道館師範カ承認シタル講道館員ヲ以テ會員トス

第三條

本會ノ事務所チ東京市小石川區下富坂町十八番地講道館下富坂道場内ニ置ク

第四條

本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 一名

幹事 若干名

審議部員 若干名

委員 若干名

研究部員 若干名

審議部員 若干名

若干名

第五條

會長ハ中央講道館有段者會會長之ヲ兼ヌ  
會長ハ本會ヲ統轄ス

副會長ハ會員ノ選舉セル三人ノ候補者中ヨリ會長之ヲ指名シ爾餘ノ役員ハ會長之ヲ選任ス副會長ノ任期ハ三年トス但重任ヲ妨ケス

第六條

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第七條

幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第八條

研究部員ハ本會所定ノ研究部規程ニ從ヒ講道館有段者會規則第六條第二項ノ事ヲ行フ

第九條

會長ハ研究部員中ノ一名ヲ指定シテ當該部主任トシ尙一名ヲ其副主任トス  
主任ハ研究部ノ業務ヲ統理ス

副主任ハ主任ヲ輔佐シ主任事故アルトキハ其業務ヲ代理ス

第十條

審議部員ハ本會所定ノ審議部規程ニ從ヒ講道館有段者會規則第六條第三項ノ事ヲ行フ

第十一條

會長ハ審議部員中ノ一名ヲ指定シテ當該部主任トシ尙一名ヲ其副主任トス  
主任ハ審議部ノ業務ヲ統理ス

副主任ハ主任ヲ輔佐シ主任事故アルトキハ其業務ヲ代理ス

第十二條

會長ハ本會幹事ノ一名又ハ二名ニ研究部幹事ヲ其他ノ一名又ハ二名ニ審議部幹事ヲ兼ネシム  
本條ノ幹事ハ各自擔當部ノ主任ヲ輔佐ス

第十三條

本會ノ會合ハ左ノ三種トシ定期會ノ外臨時會ヲ開クコトアル可シ

一、總會 總會ハ會員全部ノ會合トス但場合ニヨリ在京全講道館員ノ會合ヲ催スコトアルヘシ  
定期總會ハ講道館鏡開式ノ當日式後同式場ニ於テ之ヲ開クヲ例トス 臨時總會ハ本館ニ於ケル紅白試合當日又ハ其前後ニ講道館道場ニ於テ之ヲ開クヲ例トス

定期又ハ臨時總會ニ有段者以外ノ館員ヲ加フルコトヲ得

二、研究部員會 研究部員會ハ研究部員ヨリ成ル但必要ニ應シ會長ノ許可ヲ得テ部外ノ者ヲ加フルコトヲ得

會合ノ期日ハ主任之ヲ定ム

三、審議部員會 審議部員會ハ審議部員ヨリ成ル、但必要ニ應シ會長ノ許可ヲ得テ部外ノ者ヲ加フルコトヲ得

定期審議部員會ハ本館ニ於ケル各試合後ニ開クヲ例トス

臨時審議部員會ハ必要ニ應シ臨時之ヲ開ク

各種會合ノ時日場所其他詳細ノ事ハ其部度諒告ス

第十四條

本會ニ必要ナル經費ハ會員之ヲ負擔ス但講道館又ハ有志者之ヲ補助スルコトアルヘシ

東京講道館有段者會研究部規程

第一條 本研究部ハ講道館柔道ヲ各部門ニ互ツテ研究シ其進歩ヲ圖リ之ニ依リ世ヲ補益スルヲ以テ目的トス

第二條 研究事項ハ當分ノ中左ノ四部門ニ分ツ

一、勝負ノ理論及技術

之ヲ細別シテ

イ、形

ロ、亂捕

ノ二種トス

二、體育トシテノ理論及實際

之ヲ細別シテ

イ、個人的方法

ロ、團體的方法

ノ二種トス

三、精神修養法

之ヲ細別シテ

イ、智育

ロ、德育

ノ二種トス

四、應用

之ヲ細別シテ

イ、個人生活ニ應用スル場合

ロ、社會生活ニ應用スル場合

ノ二種トス

第三條

講道館員ニシテ柔道ニ關シ意見質問又ハ研究資料ヲ有スル者アル時ハ主任ニ提出スヘシ主任ハ其緩急ヲ考ヘ隨時研究ノ議題トスヘシ

第四條

各部門ノ會合ハ毎月一回之ヲ開クヲ例トス但其時日場所議題等ハ適當ナル方法ヲ以テ會員ニ豫

告スヘシ  
 第五條 主任ハ會議ノ經過並ニ研究ノ結果ニ自己ノ意見ヲ附シ講道館師範ニ報告スヘシ 講道館師範之ヲ  
 審査シ其適當ト認ムルモノニツキテハ直ニ之ヲ實行シ又ハ雜誌其他ノ機關ニヨリ之ヲ發表スヘ  
 シ

### 東京講道館有段者會審議部規程

- 第一條 本審議部ハ左ノ事項ニ就キ審議ス  
 一、東京講道館有段者會ニ屬スル館員ヲ或階級ニ編入又ハ昇進セシメントスルニ際シ其資格ノ  
 査定  
 二、東京講道館有段者會ニ屬スル館員ノ表彰又ハ制裁  
 第二條 審議部員ハ平素自己ノ修養ト共ニ會員修養ノ狀況ニ注意スルヲ要ス  
 第三條 審議部員ハ講道館員ノ柔道試合ヲ見ル機會アル時ハ能フ限り精密ニ其狀況及成績ヲ記錄シ置ク  
 ヲ要ス  
 第四條 審議ハ公平無私ナルヲ要ス  
 第五條 審議ノ方針ハ講道館審議會ノ趣旨ニ準據スヘキモノトス  
 第六條 審議ハ其修行者ノ品性柔道ノ形及亂捕ニ於ケル技術柔道上ノ知識柔道ノ修行ヲ其身ニ應用セル

實況柔道上ノ功績等ニ照ラシ左ノ趣旨ニ據テ判斷ス

- (イ) 品性劣悪ナル者ハ他ノ事項ノ如何ヲ問ハス否認ス  
 但其程度ニヨリ昇進ヲ後ラスニ止ム
- (ロ) 品性優秀ノ者柔道ノ修行ヲ善ク其身ニ應用セル者及柔道上功績アル者ハ其程度ニ應シ他  
 ノ缺點ヲ幾分補償セシムルモノトス
- (ハ) 柔道ノ技術ヲ評定スルニハ姿勢歩合及技術ノ巧拙ヲ合ハセ考フルヲ要ス
- (ニ) 柔道ノ知識ニ於テハ初段以上階級ノ進ムニ從テ技ノ理論ノ理解柔道ノ體認如何ニ重キヲ  
 置テ審議スヘキモノトス

第七條 審議部員會ハ左ノ材料ヲ備フヘキモノトス

- 一、審議名簿 審議名簿ハ審議セラルヘキ人名及審議上必要ナル事項ヲ掲載セル議案トス  
 (第一様式)
- 二、試合成績表 試合成績表ハ柔道試合組合セ表ニ其成績ヲ記入シタルモノトス
- 三、審議録 審議録ハ審議上必要ナル事項ヲ記入シ現在及將來ノ參考ニ供スルモノトス
- 四、候補名簿 候補名簿ハ審議ノ結果ヲ明カニシ候補者ヲ其順序ニ從テ列舉セルモノトス  
 (第二様式)

但時宜ニ依リ必要ナル記載ヲ了タル審議名簿ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 審議部員會ノ手續ハ左ノ如シ

- (イ) 主任ハ會ノ開閉延期休憩等ヲ宣シ會ノ進行並ニ整理ヲ司ル
- (ロ) 幹事ハ審議ニ附スヘキ材料ヲ備ヘ議事ノ要點ヲ記錄シ審議名簿ヲ整理シ尙必要アルトキ

ハ候補名簿ヲ調製ス

第九條 審議部員會ノ議決ハ左ノ三種トス  
(ハ) 部員ハ意見ヲ開陳シ審議ノ終ニ於テ候補名簿ニ署名ス

第十條 一、全會一致ニテ是認セラレタルモノ之ヲ「全可」トス  
二、出席部員ノ過半數ニ是認セラレタルモノ之ヲ「多可」トス  
三、出席部員ノ過半數ニ否認セラレタルモノ之ヲ「不可」トス

第十一條 缺席ノ審議部員ハ書面ヲ以テ自己ノ意見ヲ披瀝スルコトヲ得但決議ノ數ニ加ハルヲ得ス

第十二條 審議部員ノ審議ニ附スルハ議員ノ有スル階級ヨリ一段以下ノ階級ニ達セントスル者ニ限ル審議部員ト同階級又ハ其以上ニ達セントスル者有ル時ハ當該部員ハ一時退座スルヲ要ス但職務上列席ヲ必要トスル者ハ此限ニアラス

第十三條 主任ハ審議部員會ノ經過ヲ會長ニ報告スヘシ  
審議部員會ハ講道館有段者會規則第六條第三項ニ據リ審議名簿試合成績表及候補名簿ヲ講道館師範ニ提出スヘシ

第十四條 柔道ノ精神並發達普及ノ上ニ多大ノ貢獻又ハ妨害ヲ爲スト認メラルル者アルトキハ其事實及審議ノ結果ヲ詳細ニ講道館師範ニ報告スヘシ

(第一様式) 備考 (此様式ヲ人員ノ多少ニ應シ綴合シタルモノヲ審議名簿トス)

|             |          |            |             |             |     |   |    |    |    |    |              |                    |                      |     |                 |          |              |
|-------------|----------|------------|-------------|-------------|-----|---|----|----|----|----|--------------|--------------------|----------------------|-----|-----------------|----------|--------------|
| 印決議<br>番順補侯 | 階級<br>現在 | 功上柔<br>績ノ道 | 度ノ體柔<br>程認道 | 度ノ理柔<br>程解道 | 性 品 | 形 | 步合 | 巧拙 | 態度 | 姿勢 | 入 門<br>年 月 日 | 現 在<br>階級<br>年 月 日 | 推薦シタ<br>ル團體若<br>クハ人名 | 所 屬 | 職 業<br>又ハ身<br>分 | 現 住<br>所 | 績 成<br>ノ 合 試 |
|             |          |            |             |             |     |   |    |    |    |    |              |                    |                      |     |                 |          |              |

(第二様式)

何段候補者名簿

何々何年何月

何々何年何月

、、、、、

、、、、、

、、、、、

年 月 日

何段

何段

、、

、、

、、

何某

何某

、、

、、

、、

何々講道館有段者會會長印

(會長ノ次ニ審議部員各自氏名ヲ列記シ捺印スルモノトス)

講道館師範嘉納治五郎殿

講道館有段者會一覽表 (昭和二年十一月末現在)

| 順番 | 承認地名 | 承認年月日      | 推薦シ得ル段 | 會長    | 副會長又ハ主ナル幹部員 | 事務所所在地            |
|----|------|------------|--------|-------|-------------|-------------------|
| 1  | 東京   | 大正十一年五月廿八日 | 五段迄    | 嘉納治五郎 | 永岡秀一        | 東京市小石川區下宮坂町一八講道館内 |
| 2  | 島根縣  | 同十四年八月十四日  | 貳段迄    |       | 澤田義男        | 松江市西茶町 澤田義男方      |
| 3  | 埼玉   | 同十三年九月十三日  | 參段迄    | 鯨井寅松  | 笠原武雄        | 埼玉縣浦和町浦和師範學校内 笠原方 |
| 4  | 宮城縣  | 同十一年九月廿五日  | 參段迄    | 鈴木重兵衛 |             | 仙臺市荒町一〇八          |
| 5  | 大連   | 同十一年九月廿五日  | 四段迄    | 岡虎太郎  | 原田光太郎       | 大連北大山通滿鐵道場内       |
| 6  | 長野縣  | 同十一年九月廿五日  | 參段迄    | 針塚長太郎 | 廣岡喜三郎       | 長野縣上田蠶絲專門學校内      |
| 7  | 旅順   | 同十一年九月廿八日  | 參段迄    |       | 吉田弟彦        | 旅順市新市街振武館内        |
| 8  | 山梨縣  | 同十一年九月三十日  | 初段迄    | 金邊八三郎 | 加々美一平       | 甲府市櫻町一丁目文武館内      |
| 9  | 朝鮮   | 同十一年十一月十一日 | 參段迄    | 篠田治策  | 小田省吾        | 京城黃金町二ノ一九三講道館支部   |
| 10 | 札幌   | 同十一年十一月三十日 | 參段迄    |       | 新理事 庄 纈     | 札幌市五番館裏講道館分場      |
| 11 | 兵庫縣  | 同十一年十二月十一日 | 參段迄    |       | 理事代理 幸左衛門   | 神戸市仲町四五内田汽船株式會社内  |

|       |              |              |            |       |          |             |                 |           |           |           |               |              |                 |
|-------|--------------|--------------|------------|-------|----------|-------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|---------------|--------------|-----------------|
| 25    | 24           | 23           | 22         | 21    | 20       | 19          | 18              | 17        | 16        | 15        | 14            | 13           | 12              |
| 德島縣   | 廣島縣          | 臺灣           | 栃木縣<br>南部  | 三重縣   | 和歌山      | 名古屋         | 富山縣             | 宇都宮       | 秋田        | 神奈川縣      | 群馬            | 新潟縣          | 岡山              |
| 七、十八年 | 七、十七年        | 七、十七年        | 六、廿一年      | 六、廿一年 | 五、十九年    | 五、十八年       | 四、三十一年          | 三、三十一年    | 三、三十一年    | 三、三十一年    | 三、三十一年        | 十二、三十一年      | 十二、三十一年         |
| 初段迄   | 參段迄          | 參段迄          | 初段迄        | 參段迄   | 參段迄      | 參段迄         | 初段迄             | 初段迄       | 初段迄       | 參段迄       | 參段迄           | 參段迄          | 參段迄             |
|       |              |              | 中島重次郎      | 濱地文平  |          |             | 矢板玄蕃            | 安倍仲雄      | 平沼亮三      | 篠原秀吉      | 山田又司          |              |                 |
| 近藤重夫  | 倉田太一         | 草野重一         | 山中榮吉       | 伊藤顯德  | 松廣八十八    | 理事<br>水野市三郎 | 今井兼吉            | 鈴木要吉      | 足立厚實      | 石橋皋一      | 橫山巖           | 代表<br>金光彌一兵衛 | 代表<br>岡山市上石井一〇八 |
| 中國田中方 | 廣島市廣島高等師範學校內 | 臺北市明石町一丁目三番地 | 栃木町木町山中榮吉方 | 雙井鐵雄方 | 宇治山田一ノ木町 | 和歌山市新堀八丁目一五 | 名古屋市東區東川端町武德會支部 | 富山市武德會支部內 | 宇都宮市旭町舊城跡 | 秋田市秋田中學校內 | 橫濱市西戸部二九六柔道館內 | 新潟市寄居町武德殿    | 金光彌一兵衛方         |

|                |             |             |                    |            |      |                    |       |              |                |           |                      |              |             |             |
|----------------|-------------|-------------|--------------------|------------|------|--------------------|-------|--------------|----------------|-----------|----------------------|--------------|-------------|-------------|
| 39             | 33          | 37          | 35                 | 35         | 31   | 33                 | 32    | 31           | 30             | 29        | 28                   | 27           | 26          |             |
| 香川縣            | 福島縣<br>會津   | 香川縣<br>西    | 山口縣                | 巖手縣        | (缺號) | 栃木縣<br>四部          | 石川縣   | 熊本           | 小樽             | 沖繩縣       | 山形縣                  | 大阪           | 福島縣         |             |
| 五、十五年          | 四、十三年       | 四、十三年       | 四、十三年              | 三、十三年      |      | 一、廿八年              | 十、廿四年 | 十、廿八年        | 十、廿八年          | 十、廿五年     | 十、廿五年                | 八、十五年        | 八、十四年       |             |
| 貳段迄            | 初段迄         | 貳段迄         | 參段迄                | 初段迄        |      | 初段迄                | 貳段迄   | 參段迄          | 貳段迄            | 初段迄       | 貳段迄                  | 四段迄          | 參段迄         |             |
|                | 鈴木龜一郎       | 久野廉         | 毛利元雄               | 小野崎篤造      |      | 清水邦雄               | 吉田宗一  | 濱淵進馬         | 苦米地英俊          | 木村義雄      |                      | 嘉納治五郎        | 熊田子之四郎      |             |
| 宮武京一           | 幹事主任<br>千葉繁 | 都崎發太郎       | 代表幹事<br>末次哲朗       | 林市五郎       |      | 長谷川三郎              | 高島義直  | 池田京治         |                | 尾形源治      | 日高驥三郎                | 松村松次郎        |             |             |
| 香川縣高松市內町武德會支部內 | 福島縣立會津中學校內  | 香川縣丸龜市六番町三〇 | 山口縣山口町字田町<br>末次哲朗方 | 岩手縣立盛岡中學校內 |      | 栃木縣安蘇郡長生町<br>清水耕作方 | 高島義直方 | 金澤市高岡町上敷ノ内二八 | 熊本市千反町武德會熊本支部內 | 小樽高等商業學校內 | 沖繩縣那覇市久米町二ノ三<br>七尙道館 | 山形縣山形市外工業學校內 | 大阪市堂島ビルヂング內 | 福島市早稻町二四安道館 |

|    |       |       |     |           |              |              |
|----|-------|-------|-----|-----------|--------------|--------------|
| 40 | 福岡    | 同、十三年 | 四段迄 | 嘉納治五郎     | 佐村嘉一         | 福岡市大名町上ノ橋    |
|    | 福岡有段會 | 同、十四年 |     | 支部長 中野禮次郎 | 副支部長 原支部長 廣  | 九州人事相談所内     |
|    | 久留米支會 | 同、十四年 |     | 支部長 井上庄三  | 副支部長 庄三      | 久留米市莊島町      |
|    | 福岡有段會 | 同、十四年 |     | 支部長 井上庄三  | 副支部長 庄三      | 八幡市八幡警察署内    |
|    | 北九州支會 | 同、十四年 |     | 支部長 井上庄三  | 副支部長 庄三      | 福岡市八女郡串毛村土窪  |
|    | 福岡有段會 | 同、十四年 |     | 支部長 井上庄三  | 副支部長 庄三      | 福岡市八女郡串毛村土窪  |
|    | 八女支會  | 同、十四年 |     | 支部長 井上庄三  | 副支部長 庄三      | 福岡市八女郡串毛村土窪  |
| 41 | 唐津    | 同、十三年 | 初段迄 | 古川甚一      | 佐賀縣東松浦郡唐津町城内 |              |
| 42 | 千葉    | 同、十三年 | 參段迄 | 山本昇       | 千葉市院内練心館皆川武方 |              |
| 43 | 高知    | 同、十三年 | 貳段迄 | 幹事長 鈴江吉重  | 高知市本町下二丁目講神館 |              |
| 44 | 愛媛    | 同、十四年 | 貳段迄 | 山中義貞      | 河東藩太郎        | 愛媛縣松山市出淵町武徳殿 |
| 45 | 佐賀    | 同、十四年 | 貳段迄 | 内田清一      | 關川源一         | 佐賀市武徳會支部内    |
| 46 | 東三    | 同、十四年 | 初段迄 | 五味爲吉      | 關川源一         | 佐賀市與賀町内田方    |
| 47 | 青森縣   | 同、十四年 | 貳段迄 | 和田喜太郎     | 原子武麿         | 豐橋市中世古一心館内   |
| 48 | 福井縣   | 同、十四年 | 貳段迄 | 大島英助      | 丸尾一二三        | 青森市米町五八 啓明社内 |
| 49 | 宮崎縣   | 同、十五年 | 貳段迄 | 由比賀       | 日高三郎         | 福井市城町武徳會福井支部 |
| 50 | 鹿兒島   | 同、十五年 | 參段迄 | 由比賀       | 永谷義雄         | 宮崎市南旭通 徳地清次方 |

|    |     |       |     |       |          |             |
|----|-----|-------|-----|-------|----------|-------------|
| 51 | 佐世保 | 同、十五年 | 貳段迄 | 相賀照郷  | 服部峯太郎    | 佐世保市比良町八八   |
| 52 | 樟太  | 同、十五年 | 初段迄 |       | 小山知一     | 樟太豊原町柔道俱樂部  |
| 53 | 京津  | 同、十二年 | 貳段迄 | 遠藤盛彌  | 川原次郎     | 天津法界二號路卅五號  |
| 54 | 静岡  | 同、十二年 | 貳段迄 | 青木恭太郎 | 雪竹峽      | 静岡市笠匠町二丁目三  |
| 55 | 長崎  | 同、十二年 | 貳段迄 | 澤山福彌太 |          | 長崎縣社會教育課内   |
| 56 | 磐城  | 同、十二年 | 貳段迄 | 諸橋守次  | 橋本芳太郎    | 福島縣石城郡平町高月臺 |
| 57 | 大分  | 同、十二年 | 參段迄 | 横井真興  | 幹事長 田口淺吉 | 大分市武徳會支部内   |
| 58 | 鳥取  | 同、十二年 |     | 山村英太郎 |          | 鳥取縣師範學校内    |
| 59 | 栃木縣 | 同、十二年 |     | 金子永十郎 | 西村啓造     | 栃木縣足尾町      |



### 講道館有段者心得

- 第一、有段者ハ常ニ講道館柔道ノ精神ヲ發揮センコトヲ期スヘシ
- 第二、有段者ハ柔道ノ真髓ヲ體得センガ爲メ常ニ精力ヲ盡シ品性ヲ磨キ後進者ノ模範タラシムコトヲ期スヘシ
- 第三、有段者ハ率先シテ修行者心得ヲ遵守シ後進者ヲ指導スルニ親切懇篤ナルヲ要ス
- 第四、有段者ハ協力一致シテ柔道ノ發達普及ニ力ヲ盡スベシ
- 第五、有段者ハ柔道ニ關シ意見アラバ講道館幹事部ヲ經テ師範ニ申出ヅベシ

以上

### 講道館

### 全國各學校柔道部概況

| 學 校     | 校 長    | 柔道部長   | 柔道教師                          | 部員數<br><small>在校學生<br/>有段者</small> |
|---------|--------|--------|-------------------------------|------------------------------------|
| 東京帝國大學  | 古在由直   | 矢作榮藏   | 八段 永岡秀一<br>七段 三船久藏<br>五段 子安正男 | 一〇〇<br>五〇                          |
| 東京帝大農學部 | 町田咲吉   | 春日井新一郎 | 六段 德三實                        | 七〇<br>一五                           |
| 京都帝國大學  | 荒木寅三郎  | 伊藤弘    | 八段 磯貝一                        | 一〇〇<br>一〇〇                         |
| 九州帝國大學  | 大工原銀太郎 | 小野寺直助  | 五段 西文雄                        | 六三                                 |
| 北海道帝國大學 | 佐藤昌介   | 缺員     | 五段 兼元藤兵衛                      |                                    |
| 岡山醫科大學  | 田中文男   | 柿沼教授   | 六段 金光彌一兵衛                     |                                    |
| 千葉醫科大學  | 松本高三郎  | 石橋教授   |                               |                                    |
| 金澤醫科大學  | 須藤憲三   | 久保護躬   | 缺員                            | 三〇<br>一四                           |
| 大阪醫科大學  | 楠本長三郎  | 池口武夫   | 六段 安藝清利                       | 三五<br>二八                           |
| 愛知醫科大學  | 小林秀穗   | 間矢力    | 五段 米田松三                       | 三〇<br>一二                           |

|          |       |       |    |       |     |     |    |
|----------|-------|-------|----|-------|-----|-----|----|
| 京都府立醫科大學 | 佐々木宗要 | 榎本安三郎 | 四段 | 山澤準三郎 |     |     |    |
| 滿洲醫科大學   | 稻葉逸好  | 十川彌市  | 五段 | 平田仲次郎 | 八〇  |     | 一一 |
| 東京慈惠醫科大學 | 金杉英五郎 | 加藤義夫  | 七段 | 伊藤久藏  | 八〇  |     | 一一 |
| 東京商科大學   | 佐野善作  | 奈佐忠行  | 六段 | 內田嘉三郎 | 一一〇 |     | 二〇 |
| 東京商科大學   | 井上禱之助 | 小峰信吉  | 六段 | 藤安正男  | 一一〇 |     | 二〇 |
| 早稻田大學    | 高田早苗  | 長谷川熊彦 | 五段 | 白土昌一郎 | 二五  |     | 八  |
| 慶應義塾大學   | 林毅陸   | 氏家謙曹  | 六段 | 宮川三一實 | 四〇〇 | 一六二 |    |
| 明治大學     | 橫田秀雄  | 柴田一能  | 八段 | 飯塚國三郎 | 二〇〇 | 七〇  |    |
| 中央大學     | 馬場愿治  | 松村定二郎 | 七段 | 三船久藏  | 一五二 | 二五二 |    |
| 日本大學     | 平沼麒一郎 | 馬場鏝一  | 八段 | 永岡秀一  | 四〇〇 | 四四  |    |
| 法政大學     | 松室致   | 野口保市郎 | 六段 | 中野正三  | 一五〇 |     |    |
| 同志社大學    | 海老名彈正 | 藤田義彦  | 七段 | 橋本正次郎 | 二〇〇 |     |    |
| 國學院大學    | 上田萬年  | 山崎麓   | 七段 | 田畑昇太郎 | 三〇  | 一六  |    |
|          |       |       | 五段 | 花桐清二郎 |     | 二三  |    |

|        |       |       |      |       |     |  |    |
|--------|-------|-------|------|-------|-----|--|----|
| 立教大學   | 杉浦貞次郎 | 坂口武之助 | 六段   | 小田常胤  | 一一〇 |  | 四〇 |
| 關西大學   | 松本蒸治  | 松崎義盛  |      |       | 五〇  |  | 一三 |
| 拓殖大學   | 後藤新平  | 大川周明  | 五段   | 藤生安太郎 | 一〇〇 |  | 三七 |
| 龍谷大學   | 前田慧雲  | 龜川教信  | 六段   | 福島清三郎 | 二二  |  | 九  |
| 大谷大學   | 村上專精  | 稻葉圓成  | 清水教士 |       | 二八  |  | 六  |
| 東洋大學   | 中島德藏  | 廣井辰太郎 | 七段   | 三船久藏  | 八〇  |  | 一五 |
| 東京農業大學 | 橫井時敬  | 池田元   | 五段   | 飯塚國三郎 | 六五  |  | 二四 |
| 大正大學   | 柳澤政太郎 | 葉上照澄  | 八段   | 松田秀五郎 | 三八  |  | 五  |
| 立正大學   | 風間隨學  | 小林是恭  | 八段   | 飯塚國三郎 | 一六〇 |  | 五  |
| 駒澤大學   | 忽滑谷快天 | 祇樹朴翁  | 五段   | 鈴木潔治  | 六七  |  | 一四 |
| 學習院    | 福原錄二郎 | 馬場徹   | 六段   | 鈴木潔治  | 四二  |  | 五  |
| 第一高等學校 | 杉敏介   | 菅虎雄   | 八段   | 櫻岡秀武  |     |  | 一〇 |

|        |       |       |                     |    |    |
|--------|-------|-------|---------------------|----|----|
| 第二高等學校 | 岡野義三郎 | 木村維夫  | 五段 久我均光             | 三五 | 一〇 |
| 第三高等學校 | 森 外三郎 | 吉川泰三  | 五段 栗原民雄             | 三五 | 一二 |
| 第四高等學校 | 武藤虎太  | 清野耕治  | 四段 淺水成吉郎            |    |    |
| 第五高等學校 | 溝淵進馬  | 白壁傑次郎 | 五段 小谷澄之             |    |    |
| 第六高等學校 | 小松信一  | 松尾哲太郎 | 六段 金光彌一兵衛           | 六〇 | 一一 |
| 第七高等學校 | 由比 實  | 淺山於菟  | 六段 山内一夫             | 三〇 | 六  |
| 第八高等學校 | 小松原隆二 | 中川芳太郎 | 六段 岡野好太郎            | 四〇 | 七  |
| 新潟高等學校 | 八田三喜  | 片江秀雄  | 五段 佐藤喜久治            | 三〇 | 一〇 |
| 松本高等學校 | 森 卷吉  | 柚利淳一  | 四段 大新田勝海            |    |    |
| 山口高等學校 | 新保寅次  | 末次哲朗  | 六段 末次哲朗             | 三三 | 六  |
| 松山高等學校 | 金子幹太  | 尾崎卓郎  | 二段 赤川壽太郎            | 四〇 | 九  |
| 水戸高等學校 | 松村 傳  | 中村巳喜夫 | 四段 岡野源次郎            |    |    |
| 山形高等學校 | 葉山萬次郎 | 北山字八  | 六段 尾形源治             | 七〇 | 一〇 |
| 佐賀高等學校 | 生駒萬治  | 菊池行藏  | 五段 伊崎貞之進<br>五段 馬場壽吉 | 六〇 |    |

|           |       |       |          |     |    |
|-----------|-------|-------|----------|-----|----|
| 弘前高等學校    | 鈴木信太郎 | 長谷川誠治 | 四段 永澤誠藏  | 三二  | 一〇 |
| 松江高等學校    | 乘杉嘉壽  | 山口銳次  | 五段 松澤田義弘 | 三五  | 一〇 |
| 東京高等學校    | 塚原政次  | 森本杉雄  | 五段 藤生安太郎 | 五〇  | 三  |
| 浦和高等學校    | 茨木清次郎 | 服部 實  | 六段 橋本正次郎 | 五〇  | 一〇 |
| 大阪高等學校    | 隈本繁吉  | 壹岐桃治  | 四段 越川助三郎 | 二五  | 二  |
| 福岡高等學校    | 秋吉音治  | 山崎教授  | 七段 佐村嘉一郎 | 三〇  | 八  |
| 静岡高等學校    | 堀 重里  | 辻 善定  | 四段 雪竹 峽  | 三〇  | 二  |
| 高知高等學校    | 西川順之  | 中山節郎  | 四段 浮田壽男  | 三〇  |    |
| 姫路高等學校    | 山内雄太郎 | 湯淺 温  | 四段 南浦要次  |     |    |
| 廣島高等學校    | 十時 彌  | 濱本勝次郎 | 四段 佐々木 茂 | 五三  | 一一 |
| 北海道帝國大學豫科 | 青葉萬六  | 成田秀三  | 五段 兼元藤兵衛 |     |    |
| 成蹊高等學校    | 淺野孝之  | 岡田藤吉  | 四段 片野四郎  | 四七  | 一  |
| 早稲田第一高等學院 | 野々村成三 | 吉川秀雄  | 七段 三船久藏  | 一五〇 | 三八 |
| 早稲田第二高等學院 | 野々村成三 | 山口一誠  | 五段 花桐清二郎 |     |    |

|           |       |        |                    |     |    |
|-----------|-------|--------|--------------------|-----|----|
| 東京高等師範學校  | 三宅米吉  | 乙竹岩造   | 八段永岡秀一<br>六段櫻庭正次郎  | 一五〇 | 六二 |
| 廣島高等師範學校  | 吉田賢龍  | 武藤長平   | 六段倉田太一             | 一三〇 | 一五 |
| 鹿兒高等農林學校  | 吉村清尙  | 草野嶽男   | 四段坂元治平             | 一四〇 | 一五 |
| 千葉高等園藝學校  | 赤星朝輝  | 田中寅三   | 四段渥美昌純             | 二五  | 二  |
| 上田蠶糸專門學校  | 針塚長太郎 | 佐藤春太郎  | 八段飯塚國三郎<br>五段岩崎喜三郎 | 六七  | 六  |
| 東京高等蠶糸學校  | 本多岩次郎 | 三戸森確郎  | 七段三船久藏             | 二五  | 四  |
| 神戸高等商業學校  | 田崎慎治  | 丸谷喜市   | 五段安國幸左衛門           | 一八  | 六  |
| 長崎高等商業學校  | 木村重治  | 阿部三四   | 四段水村巴              | 三〇  | 七  |
| 山口高等商業學校  | 鷺尾健治  | 北島常晴   | 六段半田義麿             | 二八  | 一一 |
| 小樽高等商業學校  | 伴房次郎  | 田ノ上市之丞 | 六段江川定夫<br>五段岩崎敏夫   | 三五  | 一二 |
| 名古屋高等商業學校 | 渡邊龍聖  | 源馬治郎   | 初段岡野好太郎<br>六段長谷川泰一 | 三〇  | 九  |
| 福島高等商業學校  | 伊藤仁吉  | 江藤誠之   | 缺                  | 三二  | 一九 |
| 和歌山高等商業學校 | 岡本一郎  | 土岐政藏   | 六段松廣八十八            | 三〇  | 四  |

|           |       |        |                              |     |    |
|-----------|-------|--------|------------------------------|-----|----|
| 橫濱高等商業學校  | 田尻常雄  | 大竹綠    | 五段長畑功                        | 二五  | 六  |
| 高松高等商業學校  | 澤田源一  | 宇喜多晋太郎 | 五段伊藤正良                       | 三三  | 八  |
| 東京高等工業學校  | 中村幸之助 | 小林政一   | 八段飯塚國三郎<br>六段戶張瀧三郎<br>五段中西元雄 | 三五  | 一一 |
| 大阪高等工業學校  | 堤正義   | 木村源三郎  | 六段安藤權太郎                      | 三二  | 九  |
| 名古屋高等工業學校 | 森彦三   | 三浦幸平   | 四段安藤權太郎                      | 五八  | 五  |
| 熊本高等工業學校  | 三浦鍋太郎 | 又井盛治   | 五段宇土虎雄                       | 五〇  | 二  |
| 米澤高等工業學校  | 大場成實  | 吉田土佐次郎 | 六段尾形源治                       | 一八  | 九  |
| 桐生高等工業學校  | 西田博太郎 | 淺香信太郎  | 七段三船久藏<br>四段武藤清一<br>四段白井清一   | 二三〇 | 五  |
| 橫濱高等工業學校  | 鈴木達治  | 橫山盛彰   | 五段矢部正作                       | 三八  | 七  |
| 廣島高等工業學校  | 川口虎雄  | 久保進    | 五段松田榮太郎                      | 三〇  |    |
| 金澤高等工業學校  | 青戸信賢  | 廣瀬光家   |                              | 三〇  |    |
| 仙臺高等工業學校  | 新保德壽  | 内田恭郎   | 五段高橋喜三郎                      | 二六  | 一〇 |
| 神戸高等工業學校  | 廣田精一  | 清家正    | 五段田邊輝夫                       | 一一九 | 六  |

|            |       |       |         |     |    |
|------------|-------|-------|---------|-----|----|
| 福井高等工業學校   | 關 盛治  | 佐々木三夫 | 六段丸尾一二三 | 四〇  | 六  |
| 長岡高等工業學校   | 福田爲造  | 岡部欽二  | 四段吉田田寬  | 四〇  | 六  |
| 京城高等工業學校   | 三山喜三郎 | 福島儀太次 | 四段山口植吉郎 | 三一  | 四  |
| 東京外國語學校    | 長屋順耳  | 松田 衛  | 四段長野 實  | 八〇  | 六  |
| 大阪外國語學校    | 中目 覺  | 井上 翠  | 六段高橋數真  | 五〇  | 四  |
| 東京美術學校     | 正木直彦  | 鈴木信一郎 | 五段井上健太郎 | 四八  | 七  |
| 東京水産講習所    | 岡村金太郎 | 小石安一  | 八段飯塚國三郎 | 八〇  | 二  |
| 富山藥學專門學校   | 高橋隆造  | 若杉勇治  | 五段舟崎清藏  | 一四一 | 一八 |
| 明治專門學校     | 友田 鑛三 | 安川第五郎 | 七段佐村嘉一雄 | 二〇  | 三  |
| 秋田嶺山專門學校   | 平岡通也  | 志村清次郎 | 四段和田繁雄  | 三〇  | 四  |
| 東京齒科醫學專門學校 | 血脇守之助 | 矢崎正方  | 五段伊達義行  | 九五  | 四  |
| 明治藥學專門學校   | 恩田重信  | 福田好輔  | 七段三船久藏  | 一六〇 | 八  |
| 東京藥學專門學校   | 丹波敬三  | 伊藤辰治  | 五段井上健太郎 | 四九  | 七  |

|            |                 |       |                                      |     |    |
|------------|-----------------|-------|--------------------------------------|-----|----|
| 大倉高等商業學校   | 川口西三            | 染村龜鶴  | 四段岡崎繁介                               | 八五  | 八  |
| 日體育會體操學校   | 稻垣三郎            | 土橋順之助 | 七段三船久藏                               | 三〇〇 | 四五 |
| 東北學院專門部    | アノ・ビー・シユ<br>ネグー | 角田桂嶽  | 欠                                    | 三〇  | 一四 |
| 海軍兵學校      | 鳥巢玉樹            | 庄司芳吉  | 四段佐々木 茂                              | 二〇〇 | 八  |
| 海軍機關學校     | 清水得一            | 高岡羊吾  | 八段山下大義<br>四段高橋三郎<br>四段白揚三郎<br>三段白石嘉三 | 一〇〇 | 六  |
| 海軍經理學校     | 刑 部 齊           | 丹羽榮一  | 七段三船久藏                               | 五三  | 二  |
| 東京高等商船學校   | 島谷敏郎            | 來島茂雄  | 七段三船久藏                               | 三〇〇 | 二二 |
| 神戸高等商船學校   | 小關三平            | 松岡知行  | 五段田邊輝夫                               | 二〇〇 | 九  |
| 東京府豊島師範學校  | 櫻井賢三            | 室岡孝治  | 六段高橋庭武<br>六段山田憲明<br>三段山田憲明           | 三一  | 四  |
| 東京高等師範附屬中學 | 三宅米藏            | 水野國太郎 | 四段島村正邦夫                              | 二九一 |    |
| 東京府立第一中學校  | 川田正徵            | 渡邊 正  | 四段高根澤光正                              | 七〇〇 | 一  |
| 全 第三中學校    | 廣瀬 雄            | 平尾東策  | 四段寺本杉藏                               | 二二〇 |    |

|          |        |       |        |         |
|----------|--------|-------|--------|---------|
| 全 第四中學校  | 深井鑑一郎  | 佐々木安治 | 佐々木安治  | 三年以上    |
| 全 第五中學校  | 伊藤長七   | 水高靜憲  | 古田武太郎  | 一五〇     |
| 全 第六中學校  | 阿部宗孝   | 佐々木孝吾 | 佐々木孝吾  | 全校柔劍道三分 |
| 京市立第一中學校 | 成田千里   | 長畑功   | 大塚三郎   | 五〇七     |
| 海城中學校    | 吉見乾海   | 品田聖平  | 藤崎嘉三郎  | 五〇〇     |
| 大成中學校    | 小永井解太郎 | 小畑專壽  | 大坂木圭一角 | 二〇〇     |
| 錦城中學校    | 土屋員安   | 吉田勝三郎 | 大江雄五   | 五三四     |
| 正則中學校    | 今岡信一頁  | 江口勇吾  | 山口係作   | 一〇〇     |
| 高輪中學校    | 田淵友彦   | 村岡豐   | 永井尙知   | 二五〇     |
| 慶應義塾普通部  | 小林澄兄   | 香下玄人  | 飯塚國三郎  | 一五〇     |
| 赤坂中學校    | 平江正夫   | 小西榮一  | 小笠原計三  | 一一四     |
| 早稻田中學校   | 中野禮四郎  | 森田四郎  | 三白井清久  | 一三〇     |
| 成城中學校    | 澤柳政太郎  | 中西正   | 高畑吉太郎  | 一三〇     |

|          |       |       |       |     |
|----------|-------|-------|-------|-----|
| 獨逸協會中學   | 金杉英五郎 | 田島鐵次郎 | 田島鐵次郎 | 二〇〇 |
| 京北中學校    | 笹川種郎  | 齋田仙太郎 | 高橋濱吉  | 三〇〇 |
| 豐山中學校    | 永見聖光  | 上野新四郎 | 佐藤運吉  | 一五〇 |
| 郁文館中學校   | 山本宜喚  | 高瀨貞之丞 | 國末幸造  | 一二〇 |
| 立正中學校    | 風間隨學  | 大森教一  | 飯塚國三郎 | 七〇  |
| 世田ヶ谷中學校  | 安藤文英  | 佐藤英雄  | 丹生忠雄  | 一八〇 |
| 青山學院中學校  | 阿部義宗  | 澁谷清之助 | 田中鶴治郎 | 一八〇 |
| 聖學院中學校   | 石川角次郎 | 鹽田松次郎 | 中井隼三郎 | 六七  |
| 東京府立農林學校 | 鈴木武太郎 | 井芹武   | 小野二郎  | 一七〇 |
| 東洋商業學校   | 秋元春朝  | 鬼澤    | 坂本一角  | 九五  |
| 專修商業學校   | 近藤久吉  | 井上正直  | 廣瀨廣吉  | 一五八 |
| 高輪商業學校   | 瀧口了信  | 高橋留七  | 永井尙知  | 一七〇 |
| 早稻田實業學校  | 天野爲之  | 藤嘉三郎  | 藤嘉三郎  | 三〇〇 |
| 京北實業學校   | 笹川種郎  | 齋田仙太郎 | 高橋濱吉  | 三〇〇 |

|            |       |       |     |        |     |   |
|------------|-------|-------|-----|--------|-----|---|
| 大阪府天王寺師範學校 | 江口昭造  | 南野寅治  | 五段  | 佐々木庄三郎 | 五〇  |   |
| 池田師範學校     | 石畑眞一  | 小林好太郎 | 六段  | 安藝清利   | 五〇  | 四 |
| 北野中學校      | 江崎誠   | 安藤清二  | 四段  | 中見喜三郎  | 七〇〇 | 一 |
| 天王寺中學校     | 岩崎繁雄  | 越川助三郎 | 四段  | 川端正三郎  | 六二〇 |   |
| 市岡中學校      | 石原定孝  | 足立喜三郎 | 三段  | 木村安喜郎  | 四〇  | 一 |
| 住吉中學校      | 元田龍位  | 檜原三郎  | 五段  | 下川三郎   | 六〇〇 |   |
| 堺中學校       | 長坂五郎  |       | 初四段 | 奥本新次郎  | 四〇〇 |   |
| 八尾中學校      | 重藤利一  | 安岡俊一  | 初四段 | 細鈴木久勝郎 | 四〇〇 |   |
| 茨木中學校      | 長沼亨   | 野尻太   | 二六段 | 吉澤一喜   | 六〇〇 |   |
| 岸和田中學校     | 落合保   | 伊藤定躬  | 四段  | 藤川良一   | 六〇  |   |
| 富田林中學校     | 阪野昇一郎 | 河田新吉  | 四段  | 河田保治   | 四〇〇 |   |

|           |        |                |     |             |      |   |
|-----------|--------|----------------|-----|-------------|------|---|
| 都文館商業學校   | 山本宜喚   | 長峰紀之           | 四段  | 中山光博        | 一〇〇  | 一 |
| 京都府師範學校   | 川面松衛   | 北村金三郎<br>佐藤太氣美 | 初四段 | 奈其輪隆三<br>橋忠 | 三五   |   |
| 京都府立第一中學校 | 山本安之助  | 竹中馬吉           | 三段  | 石井辰巳郎       | 二五   | 一 |
| 全 第二中學校   | 中山再次郎  | 林達心            | 六段  | 大澤保三郎       | 二〇   |   |
| 全 第三中學校   | 藤森勝郎   | 小針徳治           | 初五段 | 小泉重太郎       | 四九八  |   |
| 福知山中學校    | 田中常憲   | 下泉英哲           | 二段  | 多田英哲        | 五〇   | 二 |
| 宮津中學校     | 森田新三   | 鳥越壽            | 四段  | 茶谷六治        | 三〇〇  |   |
| 舞鶴中學校     | 鴨志田磯五郎 |                | 五段  | 松谷輝一        | 三〇   | 三 |
| 花園中學校     | 奥戸順徳   | 山尾政治           | 七段  | 中尾健太郎       | 八五   | 一 |
| 大谷中學校     | 森西洲    | 鷲野順            | 七段  | 緒方昇太郎       | 四〇   |   |
| 同志社中學校    | 末光信三   | 野村仁作           | 七段  | 田畑昇太郎       | 三五   |   |
| 京都第一工業學校  | 岩森彌助   | 平井清            | 六段  | 大澤保三郎       | 正二年迄 |   |
| 京都第一商業學校  | 竹谷辰郎   | 福本由太郎          | 五三段 | 上吉澤卓雄       | 九〇〇  | 六 |

|          |  |         |          |          |         |          |         |          |          |
|----------|--|---------|----------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 四條囃中學校   | 生野中學校                                  | 桃山中學校   | 上宮中學校    | 都島工業學校   | 天王寺商業學校 | 關西甲種商業學校 | 大阪商業學校  | 神奈川縣師範學校 | 橫濱第一中學校  |
| 松岡萬次郎    | 生田鹿之丞<br><small>ジョーダブルユー・ロリーング</small> | 岡田立穎    | 杉田稔      | 下河内 十二藏  | 山岡順太郎   | 清水大樹     | 渡邊周太郎   | 生田 宏     | 神 義 邦    |
| 平賀春二     | 片岡憲輔                                   | 樋口藤一    | 伊倉 高     | 廣瀬勘次郎    | 石川 登    | 高橋佳十郎    | 夕川 清    | 神 義 邦    | 神 義 邦    |
| 四段 須野正愛平 | 五段 山口高吉                                | 三段 竹垣富藏 | 三段 田中幾三郎 | 三段 藤木崎壽四 | 四段 村方敬三 | 四段 酒井清   | 四段 加藤六藏 | 四段 高橋隆正  | 四段 神 義 邦 |
| 三六〇      | 五九一                                    | 六〇      | 四〇〇      | 四〇       | 二二      | 二〇〇      | 九五      | 八〇       | 八〇       |
| 三        | 一                                      | 二       | 二        | 二        | 一       | 一        | 四       | 二        | 二        |

|          |         |         |         |          |         |          |          |         |         |          |          |          |
|----------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 小田原中學校   | 橫須賀中學校  | 湘南中學校   | 逕子開成中學校 | 鎌倉中學校    | 藤澤中學校   | 縣立工業學校   | 兵庫縣師範學校  | 姫路師範學校  | 姫路中學校   | 第二神戸中學校  | 明石中學校    | 龍野中學校    |
| 守永東京江    | 大野芳麿    | 赤木愛太郎   | 奥宮 衛    | 菅原東丘     | 林 義善    | 秋山岩吉     | 安井清雄     | 山本 昇    | 横田宗直    | 上野可然     | 山内佐太郎    | 酒井榮太郎    |
| 讓原嘉市     | 浦田久義    | 小泉義光    | 江川正二    | 石田脩倫     | 木村 茂    | 中山秀道     | 山平米藏     | 南都要次    | 名村源治郎   | 光在哲三     | 池田条次郎    | 中島岩三     |
| 五段 大加藤喜夫 | 二段 浦田久義 | 五段 泉山捨松 | 二段 江川正二 | 二段 小川内種一 | 五段 大石節夫 | 四段 小西新七郎 | 四段 佐本市治藏 | 四段 南都要次 | 五段 長岡正雄 | 五段 柴田善兵衛 | 四段 植田三四彦 | 三段 丸今山淨雄 |
| 五三〇      | 四〇〇     | 三七四     | 五五〇     | 二五〇      | 三五〇     | 六〇〇      | 六五       | 四三      | 六五〇     | 六〇〇      | 六五〇      | 一三〇      |
| 一        | 二       | 六       | 四       | 三        | 九       | 五        | 三        | 二       | 三       | 二        | 二        | 二        |



|       |        |       |       |       |       |       |        |       |        |        |         |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|-------|
| 新鴻中學校 | 新發田中學校 | 柏崎中學校 | 村上中學校 | 三條中學校 | 佐渡中學校 | 卷中學校  | 糸魚川中學校 | 村松中學校 | 加茂農林學校 | 長岡商業學校 | 埼玉縣師範學校 | 熊谷中學校 |
| 小林吉人  | 佐々木哲郎  | 高橋林吉  | 岩下雄三  | 森山善雄  | 中川與吉  | 内山靜一  | 清水曉昇   | 鈴木諒   | 澤誠太郎   | 杉田善次   | 東尙胤     | 若月岩吉  |
| 古館徹郎  | 高橋秀山   | 田野健兒  | 大森惠吉  | 高橋元吉  | 尾崎章   | 高橋朝之助 | 山本利一   | 杵淵政光  | 齋藤金一   | 佐藤正次郎  | 笠原義平    | 小沼直雄  |
| 古館徹郎  | 高橋文十郎  | 杉浦秀山  | 水卷武治  | 大森惠吉  | 尾崎章   | 高橋朝之助 | 山本利一   | 杵淵政光  | 佐藤喜久治  | 産江植吉   | 森山喜代助   | 小沼直雄  |
| 三五九   | 六三〇    | 四二〇   | 三〇〇   | 五六〇   | 四五二   | 一二〇   | 二一〇    | 三七二   | 二〇〇    | 七〇     | 三六〇     | 五〇八   |
| 四     |        |       | 二     | 一     | 三     | 二     | 三      | 一     | 五      | 三      | 四       |       |

|          |           |        |       |         |          |        |        |       |       |       |         |       |
|----------|-----------|--------|-------|---------|----------|--------|--------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 新鴻高田師範學校 | 海星中學校     | 佐世保中學校 | 島原中學校 | 長崎縣師範學校 | 第二神港商業學校 | 神戸商業學校 | 三田農林學校 | 縣立農學校 | 甲陽中學校 | 瀧川中學校 | 關西學院中學部 | 小野中學校 |
| 中山正心     | アルベール・グアイ | 西崎憲英   | 船引眞造  | 上山道造    | 羽賀鶴松     | 齋藤繁八   | 山口篤藏   | 柘植六郎  | 伊賀駒吉郎 | 岡元輔   | 田中義弘    | 岩村寅之助 |
| 藤田節也     | 内木場覺次     | 松園武雄   | 大原三郎  | 時津二郎    | 門田快三     | 安藤榮    | 吉植末吉   | 横山朝則  | 富岡茂義  | 鈴木    | 田村郡四郎   | 堀輝雄   |
| 藤田節也     | 松本寅太      | 永服部太昇  | 大原三郎  | 吉尾長吉    | 山田安治郎    | 竹内藤一榮  | 安藤末吉   | 横山朝則  | 倉下永慶  | 山角敏次  | 太田敏次    | 藤谷重三郎 |
| 二四五      | 三一五       | 四〇〇    | 四五〇   | 二五〇     | 一〇〇      | 二〇〇    | 一四〇    | 六〇    | 三〇    | 一五〇   | 三〇九     | 三五〇   |
| 一三       |           |        |       |         |          | 三      |        |       | 三     | 四     | 三       |       |

|           |       |        |        |           |   |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|---|
| 大更津中學校    | 栗野信一  | 田中賢一郎  | 田中賢一郎  | 二六七       | 四 |
| 成田中學校     | 小林力彌  | 榎田正己   | 榎田正己   | 三二一       | 一 |
| 長生中學校     | 澤渡鏡太郎 | 三枝清    | 河野熊造   | 三五〇       | 一 |
| 茨城縣師範學校   | 磯貝泰助  | 小野左恭   | 小野左恭   | 二〇〇       |   |
| 太田中學校     | 宗光李太郎 | 宮坂三重   | 遠谷勝雄   | 三年迄<br>正科 |   |
| 土浦中學校     | 櫻井信郎  | 高山塚中衛常 | 島野正寬   | 二二〇       |   |
| 北海道中學校    | 山崎進   | 芳野四郎   | 富山賢四正藏 | 三〇〇       | 二 |
| 鉾田中學校     | 佐藤修一  | 大川榮次   | 岡本善藏   | 三〇        | 一 |
| 縣立工業學校    | 今井仙太郎 | 小澤德壽   | 沼尻廣    | 一九〇       | 一 |
| 小瀬農業學校    | 久濱基一  | 川又雄四郎  | 米川一郎   | 八七        |   |
| 縣立商業學校    | 大石勝夫  | 永岡三男   | 沼尻源次郎  | 三〇〇       |   |
| 栃木縣立栃木中學校 | 梅田三郎  | 橋本健一郎  | 鈴木七郎   | 四五〇       |   |
| 眞岡中學校     | 佐伯正夫  | 北精一郎   | 原田卯三殿  | 三二八       | 二 |

|         |        |       |                       |     |   |
|---------|--------|-------|-----------------------|-----|---|
| 川越中學校   | 岩泉善太郎  | 松岡末吉  | 前田潔                   | 三〇〇 | 二 |
| 柏壁中學校   | 小林伊三郎  | 關山勉   | 戸田義夫                  | 四二八 |   |
| 本庄中學校   | 内藤武彦   | 伊藤榮一  | 鯉井寅八松                 | 四四一 | 三 |
| 群馬縣師範學校 | 奥平覺治   | 磯貝信太郎 | 磯貝信太郎                 | 九九  | 四 |
| 前橋中學校   | 松下雅雄   | 小島松壽  | 小島松壽                  | 四〇八 | 一 |
| 高崎中學校   | 上岡市太郎  | 土橋佐多吉 | 田中真三                  | 三七八 |   |
| 富岡中學校   | 中曾根都太郎 | 中田公平  | 佐藤信作                  | 二五〇 | 一 |
| 澁川中學校   | 樋口安一郎  | 米波民治  | 石坂哲藏                  | 二三五 | 一 |
| 館林中學校   | 佐藤宗次   | 福井正秀  | 高橋行一<br>熊澤太郎<br>竹森徳次郎 | 二三〇 |   |
| 小泉農業學校  | 田中慎    | 栗原一夫  | 栗原一夫<br>金子外之助         | 六一  |   |
| 前橋商業學校  | 中西秀雄   | 芦田五郎  | 富澤傳八                  | 二〇〇 |   |
| 千葉縣師範學校 | 根岸福彌   | 永野重夫  | 山本昇                   | 一五〇 | 三 |
| 大多喜中學校  | 高橋善四郎  | 小高艶三  | 小高艶三                  | 一八〇 |   |

|           |       |        |          |      |   |
|-----------|-------|--------|----------|------|---|
| 大田原中學校    | 土田長助  | 植竹鐵雄   | 四段 吉澤芳雄  | 三五〇  |   |
| 宇都宮工業學校   | 安美賀   | 關啓吉    | 四段 鈴木孝之  | 二〇〇  |   |
| 宇都宮市商業學校  | 清水久彦  | 川島峯作   | 四段 大岡信一  | 一三五  |   |
| 奈良縣立郡山中學校 | 増戸鶴吉  | 高石秀男   | 中村榮三郎    | 四五〇  | 三 |
| 五條中學校     | 須貝太郎  | 倉西泰次郎  | 二段 倉西泰次郎 | 二〇〇  |   |
| 天理中學校     | 諸井慶五郎 | 森川滋    | 三段 森川光必  | 六〇〇  | 一 |
| 御所工業學校    | 下山又次郎 | 犬塚悌士   | 幸田萬喜三    | 一一〇  |   |
| 磯城農學校     | 中村由太郎 | 壹岐滿志   | 川口義正     | 二二〇  | 二 |
| 縣立商業學校    | 西三善藏  | 辻澤鐵彦   | 初段 舟木道敏  | 二三〇  | 一 |
| 三重縣立津中學校  | 有堀市三郎 | 笹尾半三郎  | 四段 公文盛義  | 四五〇  | 二 |
| 富田中學校     | 成田和郎  | 中原鋼作   | 五段 荒木政一  | 八九   |   |
| 神戶中學校     | 前田七之丞 | 田中爲治   | 五段 伊藤重明  | 全校生徒 | 二 |
| 勵精中學校     | 尾鍋秀雄  | 多羅尾浩三郎 | 五段 山中真一  | 五〇   | 一 |
| 縣立工業學校    | 甘利祐作  | 笠井鐵雄   | 五段 笠井鐵雄  | 二三二  |   |

|           |       |       |          |     |   |
|-----------|-------|-------|----------|-----|---|
| 松坂商業學校    | 福井李一  | 西村慶三  | 五段 豊島信   | 三五〇 |   |
| 宇治山田商業學校  | 亀井勝太郎 | 全     | 五段 羽鳥光四郎 | 四三五 | 一 |
| 愛知縣立岡崎中學校 | 長谷川敬榮 | 高田丈   | 四段 鈴木利作  | 四四〇 | 一 |
| 津島中學校     | 河上和一  | 青木三郎  | 二段 重原千秋  | 三五二 |   |
| 熱田中學校     | 田代慎思郎 | 有田甚藏  | 六段 岡野好太郎 | 五〇  |   |
| 一宮中學校     | 北野喜祥  | 影山稔   | 三段 小原辰吉  | 一〇〇 |   |
| 明倫中學校     | 安達貞太  | 古市哲   | 四段 大嶋耐二  | 二一〇 |   |
| 名古屋中學校    | 木村克己  | 青木半吉  | 四段 後藤忠四郎 | 二二三 |   |
| 尾張中學校     | 河邊慶縁  | 長谷川泰一 | 五段 中神藤一  | 三〇〇 |   |
| 安城農林學校    | 大森謹平  | 菊沼源一  | 二段 柴田真次郎 | 一七〇 | 一 |
| 縣立工業學校    | 齋藤吉廣  | 春日井清  | 三段 兵藤瀧三郎 | 二五〇 |   |
| 名古屋市立商業學校 | 森秀意   | 酒井貞藏  | 四段 大島善一  | 一一一 |   |
| 豊橋商業學校    | 伊藤駿一  | 鈴木惣治郎 | 三段 太田幸治  | 二三〇 |   |

|         |       |       |       |       |     |   |
|---------|-------|-------|-------|-------|-----|---|
| 靜岡師範學校  | 西山 綾  | 山浦新治  | 三段    | 山浦新治  | 六〇  | 一 |
| 濱松師範學校  | 佐々木松藏 | 山口靜逸  | 三段    | 山口靜逸  | 七〇  | 三 |
| 靜岡中學校   | 伊藤保三郎 | 梅原冀志郎 | 五段    | 青木恭太郎 | 六〇〇 |   |
| 濱松第一中學校 | 佐藤禮云  | 富田一夫  | 五段    | 高橋末吉藏 | 二〇五 | 一 |
| 掛川中學校   | 高林俤二  | 清 保彦  | 伊達森藏  | 伊達森藏  | 三二〇 | 二 |
| 沼津中學校   | 村上義孝  | 前田千寸  | 四段    | 杉浦五郎  | 四五〇 | 一 |
| 豆陽中學校   | 三輪笹市  | 越石保好  | 越石保好  | 越石保好  | 一三〇 | 一 |
| 見付中學校   | 尾崎楠馬  | 木村雄六  | 四段    | 西 文 靜 | 三五〇 | 一 |
| 靜岡工業學校  | 山本又六  | 矢田德太郎 | 久保田貫一 | 久保田貫一 | 二一八 |   |
| 中泉農學校   | 細田多次郎 | 戸田順吉  | 四段    | 戸田順吉  | 一三六 |   |
| 濱松商業學校  | 田島 雄  | 山本藤太郎 | 五段    | 新山吉藏  | 一八〇 | 二 |
| 沼津商業學校  | 小谷太治  | 加藤 一郎 | 四段    | 高橋 堯秀 | 三五〇 |   |
| 三島商業學校  | 根岸近仁  | 亥角 峰吉 | 三段    | 澤山崎 清 | 三〇〇 | 三 |
| 清見湯商業學校 | 高島嘉勝  | 神谷憲治  | 三段    | 大長九郎  | 一五〇 |   |

|         |       |         |       |       |     |   |
|---------|-------|---------|-------|-------|-----|---|
| 山梨縣師範學校 | 鈴木利平  | 森 勝禮    | 五段    | 金邊八三郎 | 二五六 | 一 |
| 甲府中學校   | 江口俊博  | 加々美一 巖平 | 五段    | 金邊八三郎 | 七五〇 |   |
| 日川中學校   | 晴吹 明  | 佐藤權一    | 三段    | 佐藤權一  | 二五〇 | 一 |
| 都留中學校   | 石塚末吉  | 菊池久治    | 二段    | 菊池久治  | 二六五 |   |
| 葦崎中學校   | 堀内文吉  | 花輪四郎    | 二段    | 花輪四郎  | 二一六 |   |
| 身延中學校   | 内田與八  | 深澤龍一    | 三段    | 深澤龍一  | 一九四 |   |
| 縣立工商學校  | 河口 孝  | 沼野敬之助   | 初段    | 川口兵治  | 一一二 |   |
| 全 農林學校  | 佐藤陽太郎 | 武井安長    | 五段    | 金邊八三郎 | 二二一 |   |
| 甲府商業學校  | 小澤義正  | 桑原時重    | 五段    | 金邊八三郎 | 四二五 | 二 |
| 滋賀縣師範學校 | 矢島喜源次 | 西澤捨藏    | 西澤捨藏  | 西澤捨藏  | 三六  | 六 |
| 彦根中學校   | 内田 寧  | 佐藤國彦    | 二段    | 木田秀治  | 二九二 |   |
| 膳所中學校   | 中山文雄  | 岡本 啓二   | 岡本 啓二 | 岡本 啓二 | 三〇〇 |   |
| 八日市中學校  | 松原兼助  | 森川文雄    | 四段    | 森川文雄  | 二五〇 |   |
| 彦根工業學校  | 歌崎雄治  |         | 紺田 清  | 紺田 清  | 九一  |   |

|             |            |           |            |            |             |            |            |            |             |            |           |            |           |            |
|-------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 松本中學校       | 飯田中學校      | 大町中學校     | 須坂中學校      | 丸子農商學校     | 長野商業學校      | 小諸商業學校     | 松本商業學校     | 宮城縣師範學校    | 仙臺第一中學校     | 角田中學校      | 築館中學校     | 石卷中學校      | 栴檀中學校     |            |
| 羽石重雄        | 春日賢一       | 佐藤貞治      | 岩崎長思       | 牧島福松       | 中島東一        | 澤田稻衛       | 米澤武平       | 小山光彦       | 小平高明        | 高日義海       | 井上國太郎     | 野口秀敏       | 棟方唯一      |            |
| 西川幸次郎       | 田村修爾       | 鈴木忍       | 田中喜雄       | 浦野一次       | 清水清八郎       | 橫關辰雄       | 篠原孝義       | 渡部茂        | 熊谷鐵五郎       | 野田誠之       | 片寄政直      | 泉重信        | 淺野良開      |            |
| 四段<br>西川幸次郎 | 三段<br>田村修爾 | 二段<br>鈴木忍 | 四段<br>田中喜雄 | 二段<br>浦野一次 | 四段<br>大塚富之輔 | 二段<br>萩原正己 | 二段<br>益田辰雄 | 四段<br>篠原孝義 | 三段<br>古平原三郎 | 五段<br>桐原知讓 | 四段<br>佐藤力 | 四段<br>片寄政直 | 二段<br>泉重信 | 五段<br>桐原知讓 |
| 五五〇         | 四五〇        | 二三〇       | 二五〇        | 三五六        | 二四一         | 二三〇        | 四〇〇        | 二一〇        | 八三〇         | 二五八        | 二五〇       | 二五〇        | 三六        |            |
| 三           |            | 一         |            | 二          | 一           |            | 三          |            | 五           |            | 三         |            |           |            |

|            |            |        |            |            |              |             |            |            |             |            |        |            |
|------------|------------|--------|------------|------------|--------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|--------|------------|
| 長野縣立長野中學校  | 大垣商業學校     | 岐阜農學校  | 惠那中學校      | 海津中學校      | 本巢中學校        | 斐太中學校       | 東濃中學校      | 大垣中學校      | 岐阜中學校       | 神崎商業學校     | 八幡商業學校 | 長濱農學校      |
| 秋田實        | 大村信一       | 武知悦三郎  | 阿部榮之助      | 梶原直記       | 篠崎敏治         | 星野政吉        | 野口正志       | 天笠義人       | 雨宮新七        | 内田德彦       | 北川勝次郎  | 藤田豊        |
| 内堀純一       | 阿部寛二       | 神谷精一   | 川尻茂索       | 水口清雄       | 佐藤孫治         | 大坪末藏        | 水野眞一       | 星川寛一       | 加藤清         | 本庄義人       | 三芳保郎   | 瀧本愛藏       |
| 六段<br>内堀純一 | 二段<br>阿部寛二 | 西堀本伊太郎 | 三段<br>川尻茂索 | 四段<br>大島保造 | 初段<br>清水橋水信三 | 二段<br>大越智末藏 | 三段<br>居相民吉 | 三段<br>早川合長 | 四段<br>西林本賢二 | 四段<br>本庄義人 | 三芳保郎   | 四段<br>瀧本愛藏 |
| 五五二        | 三〇〇        | 一五六    | 二九八        | 二五〇        | 一〇〇          | 二二〇         | 二五〇        | 四五〇        | 六〇          | 一二〇        | 三〇     | 一九〇        |
| 二          |            |        |            |            |              |             |            | 四          |             | 二          | 一      |            |

|           |       |       |    |       |     |   |
|-----------|-------|-------|----|-------|-----|---|
| 仙臺工業學校    | 橫澤多利吉 | 松枝丈太夫 | 四段 | 高平久之助 | 一七八 |   |
| 石巻商業學校    | 金野榮   | 小林長太郎 | 二段 | 小林長太郎 | 二一八 |   |
| 福島縣立福島中學校 | 波岡茂輝  | 早川敬藏  | 四段 | 佐貫行   | 三五六 | 二 |
| 安積中學校     | 一谷源八郎 | 濱崎五郎  | 五段 | 濱崎五郎  | 四四四 | 一 |
| 磐城中學校     | 唐土齊治  | 橋本芳太郎 | 四段 | 橋本芳太郎 | 一五六 |   |
| 會津中學校     | 小笠原敬三 | 佐藤長吉  | 四段 | 佐藤長吉  | 六五〇 | 四 |
| 喜多方中學校    | 木村寅三  | 伊藤修爾  | 四段 | 生江義雄  | 二四〇 |   |
| 白河中學校     | 工藤正勝  | 宮崎秀美  | 四段 | 宮崎秀美  | 三一二 | 四 |
| 保原中學校     | 今村武男  | 市川二郎  | 四段 | 管野宇太治 | 三〇〇 |   |
| 縣立蠟業學校    | 原澄次   | 岸田繁雄  | 四段 | 渡邊峰松  | 一五〇 | 四 |
| 福島商業學校    | 石川彦策  | 小宅乙次郎 | 四段 | 渡邊峰松  | 一八七 | 四 |
| 平商業學校     | 吉田利吉  | 武川信夫  | 初段 | 武川信夫  | 一四二 |   |
| 岩手縣師範學校   | 古市利三郎 | 千田善之八 | 四段 | 大友佐武郎 | 二八三 |   |
| 盛岡農學校     | 藤根吉春  | 佐藤源八  | 四段 | 奧田松五郎 | 八三  | 一 |

|         |       |        |    |        |     |   |
|---------|-------|--------|----|--------|-----|---|
| 盛岡商業學校  | 稻村要八  | 赤澤長五郎  | 初段 | 赤澤長五郎  | 一一〇 |   |
| 青森縣師範學校 | 森山長之助 | 泉明     | 四段 | 川島藤太郎  | 三〇〇 |   |
| 青森中學校   | 五十嵐一郎 | 後藤自由郎  | 四段 | 川島藤太郎  | 三二五 |   |
| 弘前中學校   | 葛原運次郎 | 南淵興光   | 五段 | 工藤幸一   | 五〇〇 | 二 |
| 八戸中學校   | 鈴木安言  | 大和田真彦  | 四段 | 大野經平   | 四二五 |   |
| 三本木農學校  | 工藤祐直  | 木幡清風   | 三段 | 小原平右門  | 一一〇 |   |
| 縣立工業學校  | 大竹巽   | 大宮榮    | 五段 | 景山幸一   | 二〇〇 | 一 |
| 山形縣師範學校 | 和田兼三郎 | 景山庸    | 五段 | 細川善盛   | 三三〇 | 三 |
| 新庄中學校   | 神長權   | 板垣巖    | 四段 | 中島正義   | 三〇〇 |   |
| 米澤中學校   | 江口親明  | 中島正義   | 四段 | 中島正義   | 三八四 |   |
| 山形工業學校  | 福野清太郎 | 奥山善七   | 三段 | 福原猛    | 五〇  | 四 |
| 鶴岡工業學校  | 川上爲正  | 佐々木源太郎 | 三段 | 佐々木源太郎 | 二〇〇 |   |
| 米澤商業學校  | 櫻井吉雄  | 一志祐義   | 三段 | 一志祐義   | 二〇三 |   |
| 秋田縣師範學校 | 和田喜八郎 | 天谷庸三郎  | 五段 | 西宮伊三郎  | 三三六 | 一 |

|         |        |        |                           |     |   |
|---------|--------|--------|---------------------------|-----|---|
| 秋田中學校   | 西居 靈證  | 伊達 竺郎  | 伊達 達義<br>伊達 六郎<br>伊達 義行   | 五八〇 | 三 |
| 大館中學校   | 小松 重造  | 石澤 源五郎 | 小坂 太郎治                    | 三七五 |   |
| 横手中學校   | 澤 清五郎  | 高橋 一郎  | 掛 札仲治<br>高 清水勇助           | 四〇〇 |   |
| 本莊中學校   | 小野 襄   | 小貫 周吉  | 伊達 周義<br>伊達 周吉<br>阿部 敏則   | 二二〇 | 一 |
| 秋田工業學校  | 鈴木 定一  | 長谷川 德治 | 西宮 伊三郎<br>貝塚 龜尾<br>長谷川 德治 | 二五〇 |   |
| 秋田市商業學校 | 黒沼 義介  | 江見 貢   | 江見 貢                      | 二四八 |   |
| 土崎商業學校  | 益子 定三郎 | 貝塚 龜尾  | 貝塚 龜尾                     | 一〇〇 |   |
| 福井縣師範學校 | 佐々木 金久 | 佐藤 哲   | 東野 谷俊二                    | 一七四 | 一 |
| 武生中學校   | 三本 武次  | 金粕 今治郎 | 住々 仙八                     | 五〇〇 |   |
| 小濱中學校   | 靈田 壽雄  | 稻田 留五郎 | 稻田 留五郎                    | 三五〇 |   |
| 三國中學校   | 江坂 廣雄  | 金崎 岩雄  | 金崎 岩雄                     | 二四〇 |   |

|             |        |        |   |     |   |
|-------------|--------|--------|---|-----|---|
| 北陸中學校       | 楠 法龍   | 青柳 德雲  | 丸尾 一二三<br>吉田 勇吉<br>森岡 梅吉                              | 四〇〇 |   |
| 福井農林學校      | 加藤 竹雄  | 大竹 所之進 | 前川 豐次郎<br>大竹 所之進<br>丸尾 一二三<br>乘竹 信三<br>千代 清治<br>内田 清治 | 一五〇 |   |
| 福井商業學校      | 田 卷政憲  | 乘竹 信治  | 松田 清德   | 二二〇 |   |
| 石川縣立金澤第二中學校 | 林 端    | 松田 清德  | 福家 東四郎  | 三三〇 |   |
| 七尾中學校       | 増田 準次  | 福家 東四郎 | 松田 清德   | 三七〇 | 一 |
| 縣立工業學校      | 青木 外吉  | 松沼 謹太郎 | 松田 清德   | 二四  |   |
| 金澤商業學校      | 高橋 澄造  | 大塚 憲和  | 村 伊之吉   | 二六  | 一 |
| 七尾商業學校      | 福島 新藏  | 白尾 正七  | 福家 東四郎  | 二〇  |   |
| 富山縣立富山中學校   | 福井 政一  | 中久木 信義 | 舟崎 清藏   | 五五〇 | 一 |
| 魚津中學校       | 井上 專敬  | 鍋谷 啓造  | 福島 幸次郎  | 三七二 |   |
| 縣立工藝學校      | 國井 喜太郎 | 山田 清一  | 小谷 平作   | 二五〇 |   |

|         |        |       |    |       |     |   |
|---------|--------|-------|----|-------|-----|---|
| 富山工業學校  | 久保田熊次郎 | 蒲田義重  | 三段 | 岡田梅男  | 七七  |   |
| 福野農學校   | 小野保之   | 菊田恭一  |    | 飯山榮作  | 一六五 |   |
| 富山商業學校  | 小倉 鎬   | 宮田磯治  | 四段 | 佐野安太郎 | 三四〇 | 一 |
| 高岡商業學校  | 越前貞二   | 佐野鹿五郎 | 四段 | 長澤光太郎 | 二五〇 | 一 |
| 鳥取縣師範學校 | 井田竹治   | 岡田 潔  | 二段 | 若松本勝  | 二三二 | 八 |
| 米子中學校   | 三木順治   | 中曾義明  | 五段 | 門脇誠一郎 | 八〇  | 四 |
| 倉吉中學校   | 都田忠次郎  | 岡 俊雄  |    | 岡 俊雄  | 二八〇 | 四 |
| 縣立農學校   | 大森政重   | 錦織正夫  |    | 錦織正夫  | 二三〇 | 一 |
| 縣立商業學校  | 永井真吉   | 金田鐵雄  | 三段 | 金田鐵雄  | 二三〇 |   |
| 鳥根縣師範學校 | 山口泰平   |       | 二段 | 富田純太郎 | 二三八 | 八 |
| 松江中學校   | 田中一元   | 岡崎勝美  | 四段 | 落合幾造  | 六〇〇 |   |
| 濱田中學校   | 杉本榮一郎  | 小酒 薫  | 四段 | 小酒 薫  | 五〇〇 |   |
| 大社中學校   | 小倉十藏   | 藤村正三  | 四段 | 藤山村正三 | 四〇〇 |   |

|         |       |        |    |       |     |   |
|---------|-------|--------|----|-------|-----|---|
| 大田中學校   | 岡 虎次郎 | 山下 繁   |    | 山下 繁  | 三三九 | 二 |
| 縣立工業學校  | 橋元喜藏  | 松下 弘   | 五段 | 松下 弘  | 一三六 | 一 |
| 縣立商業學校  | 大竹善雄  | 大深安治   | 五段 | 松下 弘  | 三一  | 一 |
| 岡山縣師範學校 | 能勢頼俊  | 大内千秋   | 四段 | 松本 權  | 二五〇 |   |
| 第一岡山中學校 | 柳井道民  | 高難山波勝太 | 四段 | 橋本十一  | 二五〇 |   |
| 第二岡山中學校 | 武居魁助  | 物部 鼎   | 四段 | 堀野正夫  | 六五〇 | 二 |
| 高梁中學校   | 石原健二  | 土井初次郎  |    | 土井初次郎 | 二五  |   |
| 矢掛中學校   | 和氣昌郎  | 中村英三郎  | 五段 | 中村英三郎 | 一〇〇 |   |
| 閉谷中學校   | 上住 葆  | 津本勇哲   |    | 坂井真市  | 二〇〇 |   |
| 高松農學校   | 吉田秀臣  | 堀田萬義   | 四段 | 武南喜三太 | 一八〇 |   |
| 天城中學校   | 大賀矢太郎 | 二部野鏡雄  | 四段 | 難波 徹  | 四〇〇 |   |
| 關西中學校   | 佐藤富三郎 | 山田喜照   | 三段 | 三宅 一  | 七三三 | 五 |
| 興讓館中學校  | 山下政吉  | 次田佐馬次  | 四段 | 矢吹是秀  | 四五〇 | 二 |
| 岡山縣商業學校 | 野田 一  | 引地傳次郎  | 三段 | 引地傳次郎 | 三〇〇 | 一 |



|           |             |            |             |            |            |            |           |           |           |            |             |            |
|-----------|-------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|
| 日高中學校     | 新宮商業學校      | 紀南農林學校     | 高野山中學校      | 海南中學校      | 和歌山縣立田邊中學校 | 小郡農業學校     | 宇部工業學校    | 鴻城中學校     | 宇部中學校     | 下關中學校      | 德山中學校       | 長府中學校      |
| 山下與三吉     | 關谷善雄        | 牧野環        | 穗月聖憲        | 立石亮        | 八卷嘉作       | 出田新        | 丹澤武茂      | 大谷三郎      | 吉富治一      | 津守馨        | 田中巖         | 香川靜爾       |
| 星愛喜       | 二河真英        | 泉八十彦       | 比嘉秀平        | 久世正富       | 緒方幹雄       | 近藤清        | 平川常彦      | 新谷滿治      | 船勢直       | 永松新治       | 惠真雄吉        | 時任義晴       |
| 三段<br>池星上 | 四段<br>坪二河安男 | 四段<br>猪野一彌 | 初段<br>加登田哲英 | 三段<br>辻政之助 | 三段<br>西村正雄 | 三段<br>岡村壽芳 | 三段<br>草野城 | 五段<br>齋藤前 | 三段<br>草野城 | 四段<br>蓮尾貞規 | 四段<br>山本鈴太郎 | 三段<br>時任義晴 |
| 四九三       | 一〇〇         | 六六         |             | 四〇         | 三〇三        | 一四二        | 三〇〇       | 二七八       | 二七〇       | 三五〇        | 四〇〇         | 四〇〇        |
|           |             | 二          |             |            |            |            | 一         |           |           | 三          | 四           | 一          |

|              |             |            |           |       |            |              |             |            |             |              |             |            |             |
|--------------|-------------|------------|-----------|-------|------------|--------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|------------|-------------|
| 山口縣立萩中學校     | 福山盈進商業學校    | 縣立尾道商業學校   | 廣島市立商業學校  | 大正中學校 | 廣陵中學校      | 崇德中學校        | 修道中學校       | 誠之館中學校     | 忠海中學校       | 廣島第二中學校      | 三次中學校       | 廣島高師附屬中學校  | 廣島縣師範學校     |
| 岩田博藏         | 石井貞之介       | 前田清        | 永井忠       | 武田甲斐人 | 久保清彦       | 觀山覺道         | 古賀圓太        | 長岡恒喜       | 福岡典海        | 泉英七          | 橫田泰邦        | 津山三郎       | 片山昇         |
| 青野芳三郎        | 藤井衛         | 藤田懋        | 井上顯夫      | 竹田淺次郎 | 細越温造       | 土谷八郎         | 田中久雄        | 藤原茂        | 渡邊三郎        | 佐田秀人         | 岡田佐六        | 倉田太一       | 林茂樹         |
| 四段<br>青山野芳三郎 | 五段<br>大野木秀道 | 三段<br>廣瀬鐵造 | 五段<br>古城屯 | 竹田淺次郎 | 四段<br>中西文三 | 三段<br>花兒本五務吉 | 四段<br>田中久六雄 | 四段<br>藤崎義知 | 二段<br>寺田豐次郎 | 四段<br>佐倉田秀太人 | 四段<br>阿田永權吉 | 六段<br>猪野太一 | 三段<br>黒坂愛次郎 |
| 三〇七          | 二七五         | 二五八        | 五〇〇       | 二〇〇   | 六〇〇        | 四五〇          | 四四〇         | 五〇〇        | 三五〇         | 七〇〇          | 二九五         | 二五〇        | 二〇六         |
| 一            | 一           | 二          |           |       | 三          | 三            |             | 一          |             | 二            | 一           |            |             |

|          |       |       |    |       |     |   |
|----------|-------|-------|----|-------|-----|---|
| 德島中學校    | 田上倉平  | 太田盛美  | 五段 | 近藤重美  | 五八四 | 一 |
| 富岡中學校    | 原重太郎  | 笹川多八  | 三段 | 中川竹藏  | 三〇〇 | 一 |
| 池田中學校    | 小檜山久作 |       | 三段 | 中川竹藏  | 二〇〇 |   |
| 德島縣立商業學校 | 秋篠藤馬  | 原甚助   | 四段 | 田中英太郎 | 三五〇 | 二 |
| 香川縣師範學校  | 小林武三  | 伊藤正良  | 五段 | 伊藤正良  | 三八〇 | 五 |
| 高松中學校    | 今井精一  | 宮武京一  | 三段 | 山野義明  | 六〇〇 |   |
| 丸龜中學校    | 大河内秀夫 | 白川高太郎 | 四段 | 雨宮正男  | 四〇〇 |   |
| 三豐中學校    | 生井純太郎 | 中井虎男  | 四段 | 石井鷹三郎 | 三三〇 |   |
| 鷓鳴學館     | 渡邊豊   | 同     | 四段 | 渡邊豊   | 五〇  |   |
| 縣立工藝學校   | 山本正三郎 | 入谷甫   | 四段 | 島利吉   | 二五〇 | 一 |
| 木田農業學校   | 大塚静   | 熊野規矩郎 | 三段 | 熊野規矩郎 | 一二七 |   |
| 高松商業學校   | 澤村秀雄  | 大熊光次郎 | 五段 | 大野慶三郎 | 一〇〇 |   |
| 坂出商業學校   | 矢野晋   | 吉本官次  | 四段 | 吉本官次  | 三五〇 |   |
| 愛媛縣師範學校  | 佐伯千尋  | 岩本惠   | 四段 | 岩本惠   | 四二一 | 八 |

|           |       |       |    |       |     |   |
|-----------|-------|-------|----|-------|-----|---|
| 宇和島中學校    | 菊池紋平  | 丹下傳   | 二段 | 河野下倉吉 | 三五〇 |   |
| 大洲中學校     | 和田宣一郎 | 谷崎幸之助 | 三段 | 山本富一  | 二五〇 |   |
| 西條中學校     | 向井新五郎 | 那須幸二  | 四段 | 那須幸二  | 四二六 |   |
| 三島中學校     | 北郷二郎  | 大坪高次  | 二段 | 大坪高次  |     | 一 |
| 松山商業學校    | 服部寛一  | 西島正夫  | 五段 | 白形安通  | 四八〇 | 一 |
| 高知縣師範學校   | 中島正勝  | 橋本寛重  | 四段 | 森吉重吉  | 二二七 | 一 |
| 高知城北中學校   | 村上俊江  | 守月明比古 | 三段 | 井上寛重  | 四〇〇 |   |
| 安藝中學校     | 太田章一  | 長崎勝   | 四段 | 長崎勝   | 三〇〇 | 二 |
| 中村中學校     | 長池淨   | 西田祐馬  | 二段 | 中屋藤一郎 | 二〇〇 | 一 |
| 中學海南學校    | 川上大記  | 大和田能吉 | 三段 | 森吉熊吉  | 二〇〇 | 一 |
| 縣立農業學校    | 小川重雄  | 利光彌七  | 三段 | 和田源太郎 | 二〇〇 | 一 |
| 城東商業學校    | 信清權馬  | 島田信盛  | 三段 | 和田源太郎 | 一四八 | 一 |
| 福岡縣小倉師範學校 | 島田民治  | 阿部勇五郎 | 二段 | 阿部勇五郎 | 二二一 |   |

|       |       |       |          |     |   |
|-------|-------|-------|----------|-----|---|
| 中學修猷館 | 白坂榮彦  | 岩見兩市  | 五段 豐田俊章  | 八九〇 | 三 |
| 豐津中學校 | 井上庄次  | 原廣    | 二段 岩見兩市  | 五三二 | 四 |
| 中學明善校 | 川口孫治郎 | 田中武次郎 | 三段 大黒淺太郎 | 六〇〇 |   |
| 中學傳習館 | 合屋武城  | 北原昌幸  | 四段 田中武次郎 | 四五〇 |   |
| 東築中學校 | 安河内健兒 | 麻生重直  | 三段 荒原一昌  | 一五〇 |   |
| 嘉穗中學校 | 有吉牛祐  | 江本幸七  | 四段 榎本本吉  | 七九〇 | 二 |
| 小倉中學校 | 波多野俊夫 | 石飛明一  | 三段 江本幸七  | 五〇〇 |   |
| 福岡中學校 | 高宮乾一  | 田中瑞穂  | 四段 坂田忠二  | 六一七 | 五 |
| 三池中學校 | 檜崎廣之助 | 西弘一   | 四段 工藤多與三 | 二五三 | 三 |
| 築上中學校 | 植木殖   | 下村哲男  | 三段 久保新吉  | 四五七 |   |
| 田川中學校 | 馬場節藏  | 金丸英吉郎 | 三段 下村哲男  | 五一四 |   |
| 八幡中學校 | 井上正信  | 小松政廣  | 五段 金丸英吉郎 | 五〇〇 |   |
| 宗像中學校 | 清原正郡  |       | 初段 大石俊平  | 二五〇 |   |

|           |      |          |          |     |   |
|-----------|------|----------|----------|-----|---|
| 小倉工業學校    | 池田龍太 | 和田繁雄     | 四段 和田繁雄  | 二三二 | 一 |
| 福岡工業學校    | 藤川勝丸 | 荒木榮一郎    | 四段 吉田淺次郎 | 二〇〇 |   |
| 福岡商業學校    | 菊池武幹 | 久下芳馬     | 五段 井上舜一  | 五〇〇 |   |
| 久留米商業學校   | 岡部進  | 厨茂太郎     | 五段 森崎一   | 二五〇 |   |
| 門司商業學校    | 谷川忠直 | 井上幹三     | 初段 清島幸七  | 三五〇 | 二 |
| 舞鶴商業學校    | 高橋正一 | 三木德三郎    | 四段 本塚瓦平  | 六〇〇 |   |
| 大分縣立中津中學校 | 有光一  | 自覺幸道     | 四段 黒田卓淨  | 六三七 | 二 |
| 大分中學校     | 津田清三 | 村上圭峯     | 三段 上田登平  | 五〇八 | 一 |
| 宇佐中學校     | 川崎武親 | 室岡金藏     | 四段 除田長次郎 | 四三九 | 一 |
| 杵築中學校     | 井上歌郎 | 田中省吾     | 二段 田中省吾  | 二五〇 |   |
| 佐伯中學校     | 今村孝次 | 生徒ヨリ選出一名 | 四段 矢野公   | 二七〇 | 一 |
| 日田中學校     | 河野寅藏 | 弓削令吉     | 四段 弓削令吉  | 二三〇 |   |
| 長濱商業學校    | 坂本克磨 | 佐藤司喜造    | 四段 佐藤司喜造 | 二一〇 | 二 |

|           |        |       |          |     |   |
|-----------|--------|-------|----------|-----|---|
| 鹿本中學校     | 高尾文八   | 立山昌   | 四段三石昇八   | 四二四 | 一 |
| 熊本中學校     | 福田源藏   | 平田信彦  | 初段田山根忠臣  | 三〇〇 |   |
| 中學濟々費     | 武田雄三   | 五藤正明  | 四段上篠野田一勉 | 四〇〇 |   |
| 全第二師範學校   | 長谷川藤太郎 | 井上光次  | 五段宇關土彦次郎 | 二二〇 | 一 |
| 熊本縣第一師範學校 | 永島意之助  | 木庭源三  | 三段福大賀三喜  | 二五四 |   |
| 唐津商業學校    | 山縣又郎   | 工藤九郎  | 三段友成久敏   | 三五〇 |   |
| 小城中學校     | 藤谷深勵   |       | 三段大塚芳一   | 八三五 | 一 |
| 三養基中學校    | 森田勝平   | 戸田爲四郎 | 四段戸田爲四郎  | 七〇〇 |   |
| 鹿島中學校     | 菅澤吉太郎  | 鈴木要一  | 二段鈴木要一   | 四八九 |   |
| 佐賀中學校     | 青木勘    | 栗山儀八  | 四段栗山儀八   | 四八〇 |   |
| 中津商業學校    | 和田重義   | 橋本靜夫  | 四段橋本靜夫   | 一四八 | 一 |
| 白杵商業學校    | 高橋真一   | 原田富三郎 | 三段牧三平    | 六〇  | 二 |

|            |       |       |             |     |   |
|------------|-------|-------|-------------|-----|---|
| 鹿兒島縣第一師範學校 | 萱場今朝治 | 中富正   | 四段重永正太郎     | 二五〇 | 二 |
| 延岡商業學校     | 富山龜次郎 | 溝淵正章  | 四段溝淵正章      | 一一〇 |   |
| 都城商業學校     | 林隆久   | 寺本次郎  | 初段西大福寺本松榮次郎 | 三八五 | 一 |
| 宮崎商業學校     | 菊池榮治  | 日高貞實  | 五段日高貞實      | 二四六 |   |
| 飯肥農學校      | 齋藤常實  | 日高陽   | 日高陽         | 六〇  |   |
| 小林中學校      | 妹尾良彦  | 小島留吉  | 四段小島留吉      | 二五〇 | 一 |
| 延岡中學校      | 黒木究   | 溝淵正章  | 四段溝淵正章      | 二七五 | 五 |
| 都城中學校      | 岡島誘   | 尾崎伊祐  | 五段尾崎伊祐      | 六二〇 | 六 |
| 宮崎中學校      | 裏川寅藏  | 野津原正雄 | 五段野津原正雄     | 五九八 | 二 |
| 宮崎縣師範學校    | 平賀吉治  | 日高堅助  | 四段鮫島壯熊      | 二一八 | 三 |
| 縣立商業學校     | 今川直人  | 大賀三喜  | 五段大賀三喜      | 三九七 |   |
| 宇土中學校      | 甲斐重五  | 寺田敏治  | 三段寺田敏治      | 五五〇 |   |
| 玉名中學校      | 池田京治  | 清田安喜  | 五段清田安喜      | 二五九 |   |

|           |       |       |          |     |   |
|-----------|-------|-------|----------|-----|---|
| 同 第二師範學校  | 飯幸禮實義 | 遠藤力雄  | 四段 遠藤元治  | 一三四 |   |
| 縣立第一中學校   | 石田悟雄  | 本間芳太郎 | 四段 赤崎喜八郎 | 五〇〇 | 一 |
| 川内中學校     | 大谷德馬  | 今村直禧  | 四段 今村直禧  | 五四五 |   |
| 川邊中學校     | 中島豊之  | 安樂正行  | 四段 安樂正行  | 三三〇 | 一 |
| 志布志中學校    | 隈部以忠  | 船津萬六  | 初段 里江九二夫 | 三〇〇 |   |
| 大島中學校     | 龍野定一  | 山畑安則  | 山畑安則     |     |   |
| 出水中學校     | 吉本直二  | 伊藤信夫  | 四段 伊藤信夫  | 一三八 |   |
| 大口中學校     | 進藤澄治  | 川畑時義  | 三段 川畑時義  | 二〇一 | 一 |
| 鹿屋農學校     | 粟屋春太郎 | 猪瀬誠   | 八ヶ代 實    | 一三〇 |   |
| 鹿兒島商業學校   | 島本港次郎 | 林岩三   | 初段 肥後重岩三 | 八〇三 | 四 |
| 沖繩縣立第一中學校 | 本莊光敬  | 糸數昌功  | 三段 糸數昌功  | 五〇〇 | 一 |
| 同 第二中學校   | 志喜屋孝信 | 今井藤次郎 | 三段 今井藤次郎 | 四二〇 |   |
| 縣立水産學校    | 栗屋協二  | 牧正爾   | 四段 松崎太平  | 五〇  | 一 |
| 北海 札幌師範學校 | 柴垣則義  | 河田馨   | 四段 松崎太平  | 四五五 |   |

|           |       |        |          |     |   |
|-----------|-------|--------|----------|-----|---|
| 岩見澤中學校    | 岡部貞三郎 | 大野新六   | 二四段 龍野新六 | 五〇〇 |   |
| 旭川中學校     | 千葉精一  | 小林與作   | 三段 鈴木與俊  | 三三一 |   |
| 釧路中學校     | 平澤虎一  | 菊池正人   | 五段 遠藤恒乙夫 |     |   |
| 室蘭中學校     | 神澤唯治  | 三井直助   | 三段 板垣直助  | 四二六 |   |
| 俱知安中學校    | 鈴木正雄  | 遊佐肅夫   | 四段 本間與松  | 二一八 | 二 |
| 名寄中學校     | 福山惟吉  | 鈴木秀吉   | 三段 岸田利雄  | 三五〇 |   |
| 野付牛中學校    | 佐藤猪之助 | 阿部忠次郎  | 二段 阿部忠次郎 | 二二五 |   |
| 瀧川中學校     | 佐々木種彦 | 村上善彦   | 二段 内堀上善彦 | 二五〇 | 一 |
| 帶廣中學校     | 三島桂五郎 | 萩原實    | 萩原實      | 三〇〇 | 一 |
| 札幌工業學校    | 橋本竹之助 | 若松彌之助  | 三段 猪飼雍也  | 二〇〇 |   |
| 函館工業學校    | 瀧澤一馬  | 成田六郎   | 三段 上野眞道  | 二〇〇 |   |
| 臺灣臺北第一中學校 | 濱武元次  | 板垣四十九郎 | 四段 加藤時國幸 | 五九〇 | 二 |
| 臺南第一中學校   | 高橋隆   | 廣吉寅雄   | 四段 小岩淵博信 | 三五三 |   |

|           |       |       |          |     |
|-----------|-------|-------|----------|-----|
| 朝鮮京城師範學校  | 赤木萬二郎 | 長野 實  | 五段 佐藤宗三  | 三七五 |
| 京城公立中學校   | 加藤常次郎 | 倉田健之助 | 四段 倉田健之助 | 七〇〇 |
| 大田中學校     | 津田 信  | 西田邦吉  | 四段 西田邦吉  | 三八〇 |
| 元山公立中學校   | 小林致哲  | 肥田精一  | 肥田精一     | 二七五 |
| 釜山第一商業學校  | 宇都宮益治 | 岡本 茂  | 小川好吉     | 三〇〇 |
| 關東旅順第一中學校 | 藤井專隨  | 鶴田卯來雄 | 五段 藤田順一  | 三一五 |
| 大連第一中學校   | 西内精四郎 | 山本 力  | 四段 山根久福  | 三〇〇 |
| 大連商業學校    | 友木 徳  | 稻葉 晋  | 三段 伊藤芝信  | 二〇〇 |
| 青島中學校     | 小林隆助  | 八廣 定  | 四段 八廣 定  | 三二五 |

會を設くることとした。

大正十一年

講道館文化會々長 嘉納治五郎

宣言

- 本會は精力最善活用に依つて人生各般の目的を達成せんことを主義とす  
 本會はこの主義に基いて
- 一 各個人に對しては身體を強健にし智徳を鍊磨し社會に於いて有力なる要素たらしめんことを期す
  - 二 國家に就いては國體を尊び歴史を重んじ其の隆昌を圖らんが爲常に必要なる改善を怠らざらむことを期す
  - 三 社會に在つては個人團體各互に相助け相譲り徹底せる融和を實現せしめんとを期す
  - 四 世界全般に亘つては人種的偏見を去り文化の向上均霑に努め人類の共榮を圖

講道館文化會創設の趣旨

輓近世界の大勢を察するに國際關係は日に錯綜を加へ國々互に融和提携しなければ獨立を維持することが困難になつて來た。従つて吾人は今日の狀態に満足せず進んで廣く世界に友邦を得ることを努めなければ國家の隆昌を期することが出来ぬ。

願みて今日の國情はといへば國民に遠大の理想なく思想は混亂し上下奢侈に流れ遊惰に耽り地主は小作人と反目し資本主は勞働者と衝突し社會到る處に名利權力の争ひを見るのではないか。一刻も速にこの境涯より我が國を救ひ世界の趨勢に順應することの必要なるは識者の均しく感を同じうする所である。この時に臨んで我が同志は多年講道館柔道の研究によつて體得した精力最善活用の原理を應用して世に貢獻せんと決心し新に講道館文化

らんことを期す

綱 領

- 一 精力の最善活用は自己完成の要訣なり
- 二 自己完成は他の完成を助くることに依つて成就す
- 三 自己完成は人類共榮の基なり

規 則

第一條 本會ハ講道館文化會ト稱ス

第二條 本會ハ本會創設ノ趣旨ニ基ツキ其ノ宣言綱領ノ精神ヲ徹底セシムルヲ以テ目的トス

第三條 第二條ノ目的ヲ達センカ爲ニ左ノ事業ヲ行フ

- 一 雜誌及圖書ヲ發行スルコト
- 一 講演會及講習會ヲ開催スルコト

二

一 各地ニ視察員又ハ講師ヲ派遣スルコト

一 衣食住社交其ノ他國民ノ幸福ヲ増進スヘキ各種ノ問題ニツキ研究調査シ必要ナル施設ヲナスコト

一 國民ノ道德、體育、衛生ニ關スル研究調査ト必要ナル施設トヲナスコト

一 其ノ他必要ト認ムヘキ諸般ノ施設ヲナスコト

第四條

本部ヲ東京市小石川區大塚坂下町百十四番地ニ置キ支會支部支所又ハ分團ヲ内外各地ニ置ク

第五條

本會ハ會員及贊助員ヨリ成ル

第六條

本會ノ主義ニ賛成シ之ヲ實行スル志ヲ有シ原籍現住所姓名及職業ヲ

第十一條

所ノ規程ニ據リテ之ヲ頒ツ  
會員又ハ贊助員ニシテ本會發行ノ出版物ヲ購入セントスル者ニハ特價ヲ以テ之ヲ頒ツ  
維持會員ニハ本會發行ノ雜誌ヲ無代ニテ配布ス

第十二條

本會ノ爲特ニ功勞アル者ニハ別ニ定ムル所ノ規程ニ據リ功勞章又ハ功勞狀ヲ贈ルモノトス

第十三條

本會ノ會員又ハ贊助員ニシテ不都合ト認ムヘキ行爲アル時ハ常任評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ除名ス

第十四條

本會ニ會長一名、主事十五名以内、評議員若干名、委員若干名ヲ置ク

第十五條

會長ハ講道館師範之ニ當リ本會一切ノ事ヲ總理ス  
主事ハ會長之ヲ選任ス主事ハ會長

第七條

明記シテ其旨本會、支會、支部、支所又ハ分團ニ申込ミタル者ヲ會員トス  
會員中本會ノ事業ヲ維持スルノ目的ヲ以テ毎年一口以上ノ騰出ヲナスモノヲ維持會員ト稱ス、但一口ハ一ケ年金參圓トス

第八條

本會ノ趣旨ニ賛成シ左ノ二項ノ一ニ當ル者ヲ贊助員トス  
一 本會カ特ニ推薦シタル者  
一 本會ニ金拾圓以上ヲ寄附シタル者

第九條

本會會員及贊助員ハ講道館ニ於テ館友トシテ待遇ス

第十條

會員ニシテ會員證又ハ會員徽章ヲ贊助員ニシテ贊助員證又ハ贊助員徽章ヲ希望スル者ニハ別ニ定ムル

三

ノ指揮ヲ受ケ第十六條ノ事務ヲ分擔スル者トス  
 評議員ハ本會會員及贊助員中ヨリ會長之ヲ依囑ス評議員ハ重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮問ニ應シ意見ヲ述フルモノトス  
 會長ハ評議員中ヨリ二十五名以内ヲ常任評議員トシテ依囑ス常任評議員ハ會長ノ招集ニ應シ規則ノ改正、細則ノ編成其ノ他重要ナル會務ヲ審議スルモノトス  
 委員ハ必要ニ應シ會長之ヲ依囑ス委員ハ中央又ハ地方ニ於テ本會ノ事業ヲ援助シ又ハ諸般ノ事務ヲ擔當スルモノトス  
 第十六條 本會ノ事業ヲ遂行スル爲庶務、會計、編輯、視察、講演、講習及研究調査ノ七部ヲ置ク

第十七條 常任評議員會ハ會長其ノ議長トナリ出席員ノ過半數ヲ以テ議事ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ據ル  
 第十八條 主事及評議員ノ任期ハ三年トス但重任ヲ妨ケス  
 第十九條 會長事故アルトキハ會長ノ指定シタル評議員又ハ主事申ノ一人其ノ事務ヲ代理ス  
 第二十條 本會ノ事業年度ハ曆年ニ從フ  
 第二十一條 本會ハ經濟上講道館ト別個ノ團體トシ其ノ經費ハ維持會員ノ獻出金寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス  
 會計ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム  
 第二十二條 本會事業年度ノ經費ハ前年度末ニ

於テ會長豫算ヲ調製シ常任評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第廿三條 本會規則改正ノ必要生シタルトキハ會長改正案ヲ常任評議員會ニ提出シ其ノ議決ヲ經ヘキモノトス

支會、支部、支所規則

第一條 本會ハ必要ト認メタル内外各地ニ支會支部又ハ支所ヲ設ク

第二條 支會、支部及支所ハ其ノ所在ノ地名ヲ附シ講道館文化會何々支會(支部、支所)ト稱ス

第三條 支會、支部及支所ノ事務ヲ統轄スル爲、支會、支部又ハ支所長ヲ依囑ス但理事若クハ委員ニ其ノ事務ヲ依囑スルコトアルヘシ

第四條 支會、支部、支所會員又ハ贊助員

ハ必ス同時ニ本會會員又ハ贊助員タルヘキモノトス

第五條 支部ハ本會又ハ支會ニ屬シ支所ハ支會又ハ支部ニ屬ス

第六條 支會ハ本會ノ、支部ハ其ノ屬スル本會又ハ支會ノ、支所ハ其ノ屬スル支會又ハ支部ノ承認ヲ得テ別ニ各其ノ規則ヲ設クヘキモノトス

第七條 支會、支部及支所ノ經費ハ本會ヨリノ交附金及特ニ指定セラレタル寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ支辨スルモノトス

第八條 支會、支部及支所ハ毎年一月及七月ノ兩度ニ前月末ヲ以テ終ル前半期間ニ於ケル會員ノ動靜、事業ノ狀況及會計決算ヲ其ノ屬スル本會支會又ハ支部ニ報告スルモノトス



第九條 支會、支部又ハ支所ニ於テ講演會又ハ講習會ニツキ幫助ヲ希望スルトキハ本會ハ必要ニ應シ之ニ便宜ヲ與フルモノトス

分團規則

第一條 學校、會社、工場其ノ他集團ニ多數ノ會員ヲ有スル場合ハ分團ヲ置クコトヲ得

第二條 分團ハ本會、支會、支部又ハ支所ニ屬ス

第三條 分團ハ其ノ所在ノ團體名ヲ附シ講道館文化會何々分團又ハ講道館文化會何々支會(支部、支所)何々分團ト稱ス

第四條 分團ニハ團長一名、理事、委員、

各若干名ヲ置ク

第五條 團長ハ本會々長之ヲ依囑シ分團ノ事務ヲ統轄ス但團長ヲ置カサル場合ハ團長ノ事務ヲ理事又ハ委員ニ囑託スルコトアルヘシ

第六條 分團規則ハ其ノ屬スル本會支會支部又ハ支所ノ承認ヲ得テ本會支會支部又ハ支所規則ニ準據シ之ヲ設クヘキモノトス

講道館有段者名簿

一、この名簿は、昭和二年十月末日現在講道館有段者名簿に據りいろは別、昇段順に編纂したものです。  
 一、段及氏名は講道館の原簿に據り、住所、職業は、各地有段者會の報告その他調査の届いた丈を掲載したのですが、改姓名、死亡等について講道館に届出のなかつたものは、もとの儘になつて居ります。  
 一、この名簿は、毎年訂正増補して行くものですから、誤植や、住所、職業の異動等は是非編輯部へお知らせを願ひたいものです。  
 一、改姓名や死亡は、講道館の原簿に記入した上でないと手がつけられませんから、必ず講道館の方へお届になるやうお願ひ申します。  
 一、この名簿の編輯に就いて、各地有段者會より詳細なる御報告を下されたことを、深く感謝致します。

編輯係

# 講道館有段者名簿

昭和二年十月末日現在

## い之部

| 住所                | 段 | 氏名                       |
|-------------------|---|--------------------------|
| 京都市上京區吉田町中六路三二    | 八 | 磯貝 一                     |
| 講道館維持員武德會範士京大教師   |   |                          |
| 東京府下下濠谷豐澤一八八六至剛館主 | 八 | 飯塚 國三郎                   |
| 講道館維持員評議員慶大教師     |   |                          |
| 秋田縣仙北郡南檜岡村角館中學教師  | 六 | 伊藤 徳五郎                   |
| 臺北市明石町一ノ三         |   |                          |
| 臺北刑務所柔道教師         | 六 | 石田 信三                    |
| 下關市丸山町四三三         | 五 | 井上 <small>(舊名博通)</small> |
| 京都市松原高倉角尙徳館主      |   |                          |
| 府立第三中學教師          | 五 | 稻葉 太郎                    |
| 福岡市大字谷御馬屋後七〇〇     | 五 | 井上 舜一                    |
| 横須賀市坂本町九八 柔道整復師   | 五 | 磯ヶ谷宇太郎                   |
| 臺灣臺南州虎尾郡大日本製糖會社々宅 |   |                          |
| 臺灣有段者會副會長         | 五 | 入來 重彦                    |
| 東京府下大上七六八         | 五 | 石渡 泰五郎                   |
| 東京、赤坂、青山南町五ノ四五    | 五 | 飯塚 茂                     |
| 在佛蘭西巴里            | 五 | 石黒 敬七                    |
| 佐賀市與賀町西精佐賀高等學校教師  | 五 | 伊崎 貞之進                   |
| 大阪市東淀川區本庄町二〇二     | 五 | 磯島 卯之助                   |
| 東京、本郷、湯島同朋町七      |   |                          |
| 東京藥專、美術學校柔道教師     | 五 | 井上 健太郎                   |
| 横濱市大岡町字寺下         |   |                          |
| 加賀町警察柔道教師         | 五 | 五十嵐 忠吉                   |
| 大津市梅林             | 五 | 今井 達夫                    |
| 東京、麴町、丸の内三菱鐵業會社々員 | 五 | 岩原 清道                    |
| 札幌市北四條西三丁目講道館分場   |   |                          |
| 小樽高商柔道教師          | 五 | 岩崎 敏夫                    |
| 山形縣東田川郡山添村        | 五 | 五十嵐 九兵衛                  |
| 獨逸留學中             | 五 | 今井 壽夫                    |
| 三重縣神戸町本多町         |   |                          |
| 神戸中學柔道教師          | 五 | 伊藤 重明                    |
| 高松市天神前一三五         |   |                          |
| 香川縣師範教諭高松高商講師     | 五 | 伊藤 正良                    |

い・ぬ之部

一

い・わ 之部

東京府下淀橋町柏木一・二六  
警視廳教師、講道館幹事補 五 居藤 高季

東京、麴町、富士見町五ノ二一  
神奈川縣立湘南中學柔道教師 五 泉山 捨松  
東京、深川、佐賀町二ノ三三  
兵庫縣武庫郡鳴尾村西畑 五 岩崎 清一郎

九州帝國大學醫學部 藤田合名會社員 五 伊藤 鐵五郎  
學生 五 一宮 勝三郎  
長野縣上田縣立專門學校柔道教師  
長野縣有段者會副會長 五 岩崎 喜三郎

高岡市下關町  
富山縣有段者會副會長、縣會議員 五 今井 兼吉  
東京、小石川、戸崎町一二  
警視廳、體操學校柔道教師 五 伊藤 四男  
臺南市高砂町三ノ一 (死亡) 四 飯村 榮次

臺南州警務部臺南一中柔道教師 四 岩淵 信  
東京府下西大久保一六五早大學生課 四 伊藤 道機  
南洋ヤツプ支廳 官吏 四 生松 英夫  
東京、麻布、森元町一ノ二七ノ三 四 市川 潤  
東京帝大獨法學生 四 市川 潤

二

香川縣觀音寺町殿町 三疊中學校柔道教師 四 石井 鷹三郎

東京、深川、靈岸町一〇  
立正中學校柔道教師 四 井上 寛政

前橋市堀川町 上毛日々新聞社長  
武德會群馬支部、勢多農林學校  
柔道教師、群馬有段者會副會長 四 石橋 卓一

東京、下谷、二長町二七 洋服店 四 岩井 樹太郎  
在奈良 四 稻垣 重造

東京、麻布、富士見町一六 教師 四 伊藤 顯道  
滿洲安東縣中學校 小濱中學柔道教師 四 稻田 留五郎  
福井縣遠敷郡雲濱村西澤 請負業 四 五十嵐 喜三郎  
小樽市色内町四ノ一四 入管中 四 石田 真吉

大阪市東區備後町二丁目 野村合名會社員 四 岩崎 茂成  
東京府下瀧野川下田端一八七三 府立三中柔道教師 四 稻村 五十次  
豐橋市湊町 一心館柔道教師 四 石井 泰助  
四 井手 美代次

東京、商船學校大成丸乘組 四 伊藤 俊雄  
鹿兒島縣薩摩郡川内町平佐 川内中學教諭 四 今村 直禧  
鹿兒島縣出水郡出水町 出水中學教諭 四 伊藤 信夫  
京都市吉田神樂岡町八 京都帝大教授醫學博士 四 伊藤 弘  
東京府下上大崎二・三二 四 岩永 裕吉  
京都市園部町 四 伊室 治夫  
四 伊藤 邦雄

名古屋市中區南大津町一ノ三  
會社員 四 伊藤 靜  
四 伊藤 喜一  
官吏 四 稻垣 征夫  
農林省 醫師 四 伊藤 長二  
札幌市天主病院內 助教授 四 石山 福二郎  
九州帝國大學醫學部 四 井浦 亥三  
東京府下池袋本村三二四 柔道教師整復師 四 今泉 清  
佐世保市宮崎町 四 井上 清三郎  
東京、下谷、谷中警察署 四 伊藤 左武郎

警視廳 警部 四 石崎 武彦  
橫濱市鶴見湖田町二一九八修武館內 芝浦製作所動力課技師 四 飯田 憲二  
群馬縣伊勢崎町木町三丁目 武德會群馬支部名譽教師 四 板垣 藤平  
北海道幾春別奔別炭礦 北海須賀市逸見町一六三三 瀧兵團、水雷學校柔道教師 四 飯田 貞六  
四 泉 清次郎  
四 伊藤 定躬  
四 今井 保

中央大學 學生 四 飯田 甲子郎  
東京、深川、佐賀町二ノ三三 慶應大學生 四 岩崎 三郎  
東京府下王子町下十條一八四二 市役所庶務課長 四 石山 源助  
丸龜市本町 柔道教師 四 石川 金助  
群馬縣桐生中學校 千葉縣成田町八七〇 農業 四 井關 喜太郎  
鳥取縣東伯郡灘手村 松山市出淵町二丁目 愛媛師範柔道教師 四 岩本 惠

い・わ 之部

三

東京、牛込、市ヶ谷谷町二〇

四 岩田 吉雄  
四 稻葉 根

東京市役所地理課 四 居藤 六郎

國學院大學

學生 四 伊勢 武市

神戸市三井物産會社

社員 四 石刺 正

東京府南足立郡西新井村字本木一・二・七

京橋北紺屋町警察署柔道助手 四 稻野邊清太郎

明治大學

學生 四 入江 松次

横濱市大岡町字力者一・一七八

横濱生命保險株式會社契約課勤務 四 石波 常作

東京、小石川、水道町二八旗野方

富坂警察署書記 四 今井 鐵雄

日本體育會體操學校

學生 四 伊田 義廣

長野縣上諏訪富濱町成賀方

(死亡) 三 岩波 靜彌

朝鮮元山府ライジンクサン石油會社出張所長

(死亡) 三 磯貝 誠三

三 稻川 爲從

(死亡) 三 茨木 一

(死亡) 三 岩瀬 正義

三 石黒 英一

鹿兒島縣掛宿郡額任村

三 井上 知治

三 稻川 三郎

三 今村 宇市

三 石井 宗次

三 石田 友吉

三 入江 爲信

三 石井 光太郎

三 立田 七松

三 石橋 和一

三 熊本縣玉名中學校校長

三 池田 京治

三 池田 涼一郎

三 市川 仙二郎

三 岩田 熊之助

三 生田 喜代次

三 岩崎 源作

三 石川 憲一

三 伊東 正爲

三 糸數 昌功

三 板垣 磯治

三 熊本有段者會副會長

三 池田 涼一郎

三 市川 仙二郎

三 岩田 熊之助

三 生田 喜代次

三 岩崎 源作

三 石川 憲一

三 伊東 正爲

三 糸數 昌功

三 板垣 磯治

三 熊本縣多郡新里村武井

三 農業

三 在メキシコ

三 北海道炭坑汽船札幌賣炭所

三 所長

三 岩田 熊之助

三 生田 喜代次

三 岩崎 源作

三 石川 憲一

三 伊東 正爲

三 糸數 昌功

三 板垣 磯治

三 熊本縣立第二中學校

三 教諭

三 池田 竹彦

三 猪野 龜之丞

三 朝鮮平安北道浦浦鎮警察署

三 教師

三 猪野 龜之丞

三 山口縣下關中學校

三 教諭

三 今井 藤次郎

三 今井 宗吉

三 石渡 米作

三 一志 祐義

三 岩下 敬次

三 岩本 新

宇治山田市河崎町

酒商 三 井阪 二郎

高知縣土佐郡初月村

師範學校憲兵分隊柔道教師 三 井上 衛

福島縣北會津郡大戸村

農業 三 井上 勝衛

札幌市北一條東一丁目

商業 三 猪飼 雅也

廣島市稻荷町四

附屬中學講師整復術師 三 猪野 悌

宇部市東新川驛前通

宇部中學校柔道教師 三 今村 政一

臺北刑務所

官吏 三 入船 類治

福岡縣豐津中學校

教諭 三 岩見 兩市

東京、小石川、大門町三〇巡査合宿所内

三 猪原 虎熊

東京、芝、三田四丁目堀越方

三 井上 彌之助

東京、本郷、湯島同朋町七

三 飯田 勝澄

三 今井 役惠

三 井上 武雄

三 猪木 千十郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

三 今井 精三郎

い・わ之部

山口縣山口中學校 教諭、柔道教師 三 井原 實造

前橋市曲輪町 三 井上 竹次郎  
群馬師範學校柔道教師 三 磯貝 信太郎  
五十嵐 七郎  
岩井 眞之助  
岩崎 乾一

横濱市南吉田町一七一 本牧中學柔道教師 三 岩佐 音吉  
横濱市西戸部町八四二 鎌倉警察署勤務 三 市村 美貞  
伊藤 清  
伊藤 文二  
伊藤 哲郎  
伊藤 羊之助  
石橋 徳五郎  
石橋 徳五郎  
石垣 眞隆  
石波 孝三郎  
出田 延雄

福島縣會津工業學校 教諭 三 伊藤 文二  
三 伊藤 哲郎  
三 伊藤 羊之助  
三 石橋 徳五郎  
三 石橋 徳五郎  
三 石垣 眞隆  
三 石波 孝三郎  
三 出田 延雄

群馬縣群馬郡中川村小八木 農業 三 石波 孝三郎  
三 出田 延雄

東京農業大學 學生 三 飯山 與一  
東京、牛込、北町一五 明治大學 學生 三 伊東 治平  
帝國軍艦長門第十四分隊 三 伊藤 志馬三  
東京、本所、石原町一九 三 石出 鎰二郎  
東京、神田、錦町警察署 三 石川 善吉  
東京府下北千住中組三五三 會社員 三 今井 英六  
鹿兒島市加治屋町 大道館主 三 今村 貞治  
朝鮮平安北道新義州警察署 警察官 三 岩淵 清吾  
群馬縣多野郡八幡村本部 農業 三 飯島 丑五郎  
大連、滿鐵教育課 三 井上 信翁  
三 糸櫻 彌三郎  
大阪市港區三條通り四丁目四九ノ一 警察官 三 伊藤 田三郎  
三 池淵 祥次郎  
三 井上 敏夫  
三 伊藤 泰次郎  
三 伊藤 隆吉  
三 石川 治雄  
三 井上 憲政  
三 岩波 伯太

兵庫縣武庫郡西灘村河原六二二ノ二 三 岩川 繁義  
三 石原 政男  
三 井上 五郎吉  
三 石山 政五郎  
三 伊藤 敏三  
三 池田 淺次郎  
三 今野 谷五郎  
三 伊藤 定美  
三 池田 翁次郎  
三 石川 忠光  
三 石川 英輔  
三 石波 莊作  
三 今野 和助  
三 入江 鎌一  
三 岩山 宗次郎  
三 石丸 政次  
三 井上 軫治  
三 稻垣 一雄  
三 石母田 文彦  
三 池田 清之助  
三 稻葉 忠七

東京府下淀橋角筈十二社五二五 三 石原 政男  
東京府下王子町上十條 三 井上 五郎吉  
三 石山 政五郎  
三 伊藤 敏三  
三 池田 淺次郎  
三 今野 谷五郎  
三 伊藤 定美  
三 池田 翁次郎  
三 石川 忠光  
三 石川 英輔  
三 石波 莊作  
三 今野 和助  
三 入江 鎌一  
三 岩山 宗次郎  
三 石丸 政次  
三 井上 軫治  
三 稻垣 一雄  
三 石母田 文彦  
三 池田 清之助  
三 稻葉 忠七

旅順刑務所官舎 看守長 三 伊藤 定美  
豐橋市魚町 一心館幹事 三 池田 翁次郎  
早稲田大學 學生 三 石川 忠光  
三 石川 英輔  
三 石波 莊作  
三 今野 和助  
三 入江 鎌一  
三 岩山 宗次郎  
三 石丸 政次  
三 井上 軫治  
三 稻垣 一雄  
三 石母田 文彦  
三 池田 清之助  
三 稻葉 忠七

鹿兒島市加治屋町一四 三 石波 莊作  
東京、本所、横川町四一有田方 三 今野 和助  
仙臺市野砲兵第二聯隊 三 入江 鎌一  
東京、芝、愛宕町四ノ八小田方 三 岩山 宗次郎  
吳海兵團 三 石丸 政次  
富山縣伏木町中道 三 井上 軫治  
東京帝國大學 學生 三 稻垣 一雄  
三 石母田 文彦  
三 池田 清之助  
三 稻葉 忠七

東京、小石川、白山御殿町二〇 學生 三 池田 清之助  
三 稻葉 忠七  
北海道帝國大學 學生 三 稻葉 忠七

い・わ之部

東京、小石川、柳町二三 三 猪鼻 信太郎  
佐世保市福石町一五三 三 犬塚 赫夫  
別府市 正道館道場主 三 石川 米造  
大分市大分警察署 警察官 三 今成 主税  
大分市西大分王子町 警察官 三 入江 伊勢尾  
高岡市片原町 柔道教師 三 飯山 榮作  
中央大學 學生 三 石橋 利三郎  
東京農業大學 學生 三 池田 澄  
三 石井 直澄  
靜岡縣三島町廣小路 農學校教師 三 石田 信平  
大阪市北區堂島 大阪毎日記者 三 石黒 憲輔  
三重縣鳥羽町 商船學校教諭 三 池田 宗一  
東京帝國大學 學生 三 入江 稔  
東京帝國大學 學生 三 石川 武忠  
早稲田大學 學生 三 伊集院 兼一  
東京農業大學 學生 三 伊藤 三郎  
三 伊藤 三郎  
三 岩崎 安治  
三 今泉 八郎  
三 池田 安平  
三 飯盛 治平

東京、小石川、柳町二三 三 猪鼻 信太郎  
佐世保市福石町一五三 三 犬塚 赫夫  
別府市 正道館道場主 三 石川 米造  
大分市大分警察署 警察官 三 今成 主税  
大分市西大分王子町 警察官 三 入江 伊勢尾  
高岡市片原町 柔道教師 三 飯山 榮作  
中央大學 學生 三 石橋 利三郎  
東京農業大學 學生 三 池田 澄  
三 石井 直澄  
靜岡縣三島町廣小路 農學校教師 三 石田 信平  
大阪市北區堂島 大阪毎日記者 三 石黒 憲輔  
三重縣鳥羽町 商船學校教諭 三 池田 宗一  
東京帝國大學 學生 三 入江 稔  
東京帝國大學 學生 三 石川 武忠  
早稲田大學 學生 三 伊集院 兼一  
東京農業大學 學生 三 伊藤 三郎  
三 伊藤 三郎  
三 岩崎 安治  
三 今泉 八郎  
三 池田 安平  
三 飯盛 治平

近衛歩兵第一聯隊

沖繩縣知事

静岡市裏一番町

香港橫濱正金銀行支店社宅

大阪市東區高麗橋三井物産會社

東京府下目白上り屋敷三六一五

朝鮮總督府燃料選鑛研究所

平壤三菱大寶炭坑

社員

- 二 石光 憲次
- 二 井手 正幸
- 二 飯尾 藤次郎
- 二 岩津 祐將
- 二 池野 梅三
- 二 岩崎 尙武
- 二 市川 文夫
- 二 井出 欽彌
- 二 伊丹 三郎
- 二 石橋 源吉
- 二 居相 民吉
- 二 今野 保之助
- 二 生地 留太郎
- 二 井村 孝
- 二 市村 毅
- 二 伊藤 陽三
- 二 以後 平藏
- 二 石橋 弘毅
- 二 市來 政雄
- 二 井上 鐵四郎

(死亡)

井上 鐵四郎

支那廣東省海南島海口海關

熊本縣八代中學校

新潟縣小千谷町 小千谷中學校教師

天津日本租界浪花街新德里

福井縣足羽郡酒生村

甲府市錦町山梨有段者會副會長醫師  
大分市北町 大分中學校教諭

大阪市立市岡商業學校 柔道教師  
大阪市北區堂島 大阪毎日新聞記者  
大阪市北區若松町大阪地方裁判所

檢事

- 二 伊藤 祐雄
- 二 石貫 昌隆
- 二 石川 金之助
- 二 今村 清
- 二 石川 將彦
- 二 五十嵐 永記
- 二 石井 正俊
- 二 井浦 彌三
- 二 伊藤 親雄
- 二 伊藤 鐵藏
- 二 池田 汎
- 二 石神 彦二
- 二 稻葉 幸次郎
- 二 今村 長平
- 二 市川 吉六
- 二 伊藤 仙藏
- 二 池田 繁
- 二 石田 恒次郎
- 二 石原 傳
- 二 生島 敏治

朝鮮公沙高等普通學校

山梨縣西八代郡市川大門町

商業

神奈川縣鎌倉町小町四三六

山口縣防府中學校  
前橋市小柳町  
大阪醫科大學内科

柔道教師

繭糸商

- 二 飯岡 岩太郎
- 二 一瀬 亮一
- 二 石黒 金次郎
- 二 家永 浩
- 二 出石 於菟彦
- 二 稻垣 賢三郎
- 二 今野 專之助
- 二 市橋 敏雄
- 二 伊倉 健次
- 二 伊藤 昌作
- 二 池田 慶助
- 二 石川 文八
- 二 井上 剛
- 二 市川 博
- 二 伊藤 博文
- 二 磯邊 政藏
- 二 磯毛 宗治
- 二 市川 藤太郎
- 二 飯田 寛治
- 二 井上 龜吉
- 二 今村 貞秋

群馬縣勢多郡大胡町大谷

(死亡)

農業

宮城縣氣仙沼町二日町五三

教員

富山縣下新川郡三日市町

武育館主

旅順市明治町二二ノ二

山梨縣西八代郡宮原村

商業

和歌山縣新宮町

新宮中學校長

福島縣北會津郡東山村湯本

- 二 岩井 英一
- 二 今田 隆之進
- 二 伊藤 年松
- 二 伊丹 久太郎
- 二 石山 健士
- 二 石森 正一
- 二 稻葉 長次郎
- 二 稻賀 襄
- 二 五十嵐 悌吾
- 二 岩崎 保治
- 二 井上 久一
- 二 石川 眞一
- 二 伊佐 策郎
- 二 磯部 義一
- 二 岩本 茂一
- 二 伊藤 三郎
- 二 石田 恭平
- 二 石田 熊武
- 二 池田 與五郎
- 二 今村 文雄

大阪市北區堂島通三丁目

竹尾研究所醫師

池口 武夫

群馬縣群馬郡豐秋村

村會議員

石田 昇

群馬縣邑樂郡館林町

整復術師

磯貝 武彌

佐世保軍港檢乘組

海軍少尉

飯坂 作助

皇宮警手

磯貝 常二

宮城縣宮城郡多賀城村三一

伊藤 哲三

犬丸 愨

板橋 其太郎

板谷 佐久夏

岩瀬 將男

岩永 繁正

岩田 寅造

岩佐 純一

飯島 永一

市川 隼人

市川 義守

伊藤 茂

東京府下上目黒五〇四

東京、小石川、小日向臺町一ノ七〇荒井方

伊藤 茂

富山縣東礪波郡山田村繩藏新

岩瀬 將男

岩永 繁正

岩田 寅造

岩佐 純一

飯島 永一

市川 隼人

市川 義守

伊藤 茂

東京、淺草、松葉町一〇四

東電從業員

池田 初雄

池上四良三郎

池田 二郎

伊藤 春策

岩田 榮次

岩岡 光政

岩田 義雄

井澤 正一郎

井上 多一

井澤 幸三

井出 清

飯田 喜雄

今井 和三郎

市川 保雄

市川 秀一

稻光 榮一

入山 幹

愛媛縣西條農業學校

い・ぬ之部

宮城縣黒川郡吉田村

農業學校教師

伊藤 安矩

朝鮮大邱

商業學校教師

石川 辰雄

甲府市百石町

警部補

伊藤 彌一

臺灣新竹州桃園郡警察課

官吏

伊藤 時次郎

山口縣厚狹郡小野田北中川

伊藤 浪助

廣島市下柳町

伊藤 基介

群馬縣群馬郡金島村

伊藤 勝輔

福岡縣遠賀郡香日村

伊藤 壯爾

島根縣今市町

今本 義朝

下關市唐戸町貝島商業株式會社

社員

柔道教師、佐賀有段者會副會長

岩崎 鶴龜

小樽市湖見臺小學校

井田 靜一

高松市丸龜町

乾 利隆

臺北刑務所

石川 豐治

埼玉縣忍町

入江 滿

柔道教師

入江 滿

橫濱市眞砂町一ノ四

入江 滿

山梨縣中巨摩郡松島村

入江 滿

東京、深川、表靈岸町一二二

入江 滿

松本製材場

入江 滿

宮崎市和知河原町 大宮小學校訓導

入江 滿

拓殖大學

入江 滿

橫須賀海兵團

入江 滿

新潟縣高田中學校

入江 滿

駒場農科大學

入江 滿

岡山縣津山警察署

入江 滿

中央大學 學生 二 板垣 卯佐治

佐賀高等學校 學生 二 糸川 勇次郎

柔道教師、佐賀有段者會副會長 二 石雲 喜太郎

小樽市湖見臺小學校 訓導 二 池田 定雄

高松市丸龜町 酒商 二 五十嵐 信松

臺北刑務所 官吏 二 五十嵐 信松

埼玉縣忍町 柔道教師 二 岩橋 正雄

橫濱市眞砂町一ノ四 運輸業 二 石塚 善藏

山梨縣中巨摩郡松島村 銀行員 二 石川 武造

東京、深川、表靈岸町一二二 松本製材場 二 石川 登

宮崎市和知河原町 大宮小學校訓導 二 稻垣 利雄

拓殖大學 學生 二 糸山 重記

橫須賀海兵團 三等水兵 二 猪狩 胞吉

新潟縣高田中學校 教諭 二 池浦 滿廣門

駒場農科大學 學生 二 板井 龜吉

岡山縣津山警察署 巡查 二 五十嵐 直作

池田 尊臣治

池田 勇造

群馬縣群馬郡長尾村吹屋八一

二石原重吉

山形縣東村山郡成生小學校

二伊藤松次郎

岩手縣盛岡工業學校

二五十嵐敬吉

宮城縣石巻中學校

二石岡好之

橫須賀海軍砲術學校內神戶高等商船學校寄宿舎

二石田健二郎

東京、本郷、菊坂町二二

二泉重信

橫須賀海軍砲術學校內東京商船學校寄宿舎

二今井一二郎

栃木縣足尾銅山掛水役宅

二井上敬軌

東京府下王子町堀ノ内一三三

二石見平作

靜岡縣靜岡警察署

二伊藤文健

仙臺市南材木町一八

二今屋源一

東北學院專門部學生

二井上榮三郎

橫濱市中區野毛町一ノ三九

二犬塚左享

東京、本郷、根津宮永町三六時田方

二伊勢武

橫須賀市公卿町二四九〇

二井上一祥

廣島市中島新町

二飯田忠美

明治大學

二今村力

駒場農科大學

二岩井衛

大連警察署

二井上章一郎

北海道宗谷郡稚内小學校

二井上征五郎

愛媛縣宇摩郡三島警察署

二今北泰一郎

撫順炭坑工業課內

二伊東忠藏

東京、本所、北新町四四

二伊藤隆徳

大阪市西區立賣堀南通り五丁目

二池田隆徳

住友銀行支店員

二池田敬

東京府南葛飾郡本田村上木下川二二五

二池上魁

那覇市上ノ蔵町一ノ一二

二石橋多喜雄

鹿兒島縣指宿町十二町

二石飛喜代次郎

鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町

二石山喜三郎

鹿屋農學校教諭

二岩崎要藏

柔道教師

二伊差川士廣

都城市都城農學校

二伊知地重之

い・心之部

二猪瀬誠

池田吉

軍艦警手乗組

三機曹 二伊藤正三

東京府下千住中組八六一

二今村茂一

札幌師範學校內

二今島壽治

北海道帝國大學

二今井亮

北海道帝國大學

二伊藤泰二

仙臺市北五番町一六六

二伊藤義顯

東北學院專門部學生

二伊藤茂

今治市藏敷

二伊藤茂

大阪府住吉區阿部野町四六二

二一色清光

臺北市有明町三ノ一九

二一森三十四

明治大學

二糸賀憲

關東州金州警察署

二院田爲郷

大阪府南區島ノ内住友銀行出張所

二五十嵐七太郎

東京高等工業學校

二五十嵐七太郎

久留米市向山町二〇四

二院田爲郷

東京、小石川、八千代町三九村上方

二五十嵐七太郎

東京、四谷、新宿三ノ二鹽瀬方

二院田爲郷

千葉刑務所內

二五十嵐七太郎

大連警察署

二院田爲郷

福井市毛矢町富岡別莊地三六聯隊長

二五十嵐七太郎

下關市本町

二院田爲郷

第三驅逐隊

二五十嵐七太郎

靜岡高等學校

二院田爲郷

東京、淺草、馬道八一

二五十嵐七太郎

二機曹

二院田爲郷

學生

二伊佐壽

東京、淺草、馬道八一

二石山清之助

學生

二磯部秀夫

東京、淺草、馬道八一

二石山清之助

學生

二磯部秀夫

東京、淺草、馬道八一

二石山清之助

學生

二磯部秀夫

東京、淺草、馬道八一

二石山清之助

い・心之部



|                  |         |   |    |     |
|------------------|---------|---|----|-----|
| 東京、芝、三田四國町二ノ二    | 機械業     | 二 | 石川 | 猛雄  |
| 群馬縣群馬郡白郷井村       | 農業      | 二 | 石北 | 市松  |
| 東京高等師範學校         | 學生      | 二 | 石塚 | 文   |
| 三重縣志摩郡越賀村        | 水産學校教師  | 二 | 井上 | 春平  |
| 大阪市西區高砂町二丁目三七    |         | 二 | 稻山 | 竹一  |
| 東京府下淀橋警察署勤務      | 警部補     | 二 | 巖谷 | 英一  |
| 東京水産講習所          | 學生      | 二 | 池田 | 慶治郎 |
| 愛媛縣東宇和郡卯之町       |         | 二 | 岩田 | 勳   |
| 卯之警察、宇和農蠶學校教師    | 實業      | 二 | 井上 | 盛三  |
| 名古屋市中區四日置町       |         | 二 | 伊藤 | 昇一  |
| 東京、小石川、戸崎町一三     | 富坂警察署巡查 | 二 | 石橋 | 政一  |
| 大連市外老虎灘善光寺       |         | 二 | 石川 | 龍雄  |
| 東京、牛込、筆筒町二       |         | 二 | 伊木 | 貞雄  |
| 東京商船學校           | 學生      | 二 | 石村 | 要十郎 |
| 廣島高等師範學校         |         | 二 | 市島 | 治義  |
| 東京、四谷、新宿二ノ五四、三藤方 |         | 二 | 石井 | 正己  |
| 神奈川縣川浦町船越三六二     | 商業      | 二 | 伊藤 | 友好  |
|                  |         | 二 | 今岡 | 熊一  |
|                  |         | 二 | 伊部 | 農治  |

|                    |        |   |     |     |
|--------------------|--------|---|-----|-----|
| 早稻田大學              | 學生     | 二 | 石野  | 中   |
| 東京、京橋、越前堀一ノ四、本丸商店内 | 店員     | 二 | 岩崎  | 佐七郎 |
| 桐生市安樂土町二三七         |        | 二 | 岩瀬  | 幸太郎 |
| 北海道廳内              |        | 二 | 石原  | 義三  |
| 會津若松市榮町舊三ノ町四九六     |        | 二 | 池田  | 清助  |
| 若松商業教諭兼柔道教師        |        | 二 | 伊藤  | 洋一郎 |
| 東京府下荏原町下蛇窪四七四      |        | 二 | 今井  | 吉治  |
| 茨城縣龍ヶ崎町            | 龍ヶ崎中學生 | 二 | 猪野  | 淑   |
| 仙臺市本橋町二八           |        | 二 | 石田  | 克巳  |
| 東京、四谷、新宿三ノ九警視廳刑事部  | 實業     | 二 | 伊藤  | 次郎  |
| 高松市西新通町四三          |        | 二 | 石川  | 清藏  |
| 宮城縣宮城郡多賀城村八幡二三     | 農學校助手  | 二 | 伊藤  | 親一  |
| 朝鮮慶尙北道大邱公立普通學校官吏   | 官吏     | 二 | 一ノ瀬 | 義雄  |
| 仙臺市新傳馬町二六          | 商業     | 二 | 飯村  | 信   |
| 朝鮮京城東大門警察署         | 官吏     | 二 | 井上  | 藤一  |
| 香川縣立高松中學校          | 生徒     | 二 | 生駒  | 正直  |

|                    |         |   |    |     |
|--------------------|---------|---|----|-----|
| 門司市基町二丁目           | 柔道教師    | 二 | 石井 | 三郎  |
| 大分縣立國東中學校          |         | 二 | 今里 | 新吉  |
| 足利市三丁目             | 織物機械製造業 | 二 | 石井 | 勇吉  |
| 大阪市北區市岡町五五六ノ七大成館道場 | 會社員     | 二 | 石井 | 直次郎 |
| 横須賀海軍水雷學校          | 學生      | 二 | 今井 | 喜藏  |
| 陸軍士官學校             |         | 二 | 伊代 | 茂   |
| 樺太豊原町              | 消防小頭    | 二 | 岩岡 | 武雄  |
| 廣島市西警察署            | 巡查      | 二 | 鑄鍋 | 高雄  |
| 津市丸ノ内本町            |         | 二 | 伊藤 | 顯徳  |
| 三重有段者會副會長、醫師       | 實業      | 二 | 岩田 | 益吉  |
| 名古屋市中區養老町四         | 下士官     | 二 | 岩本 | 義一  |
| 吳軍港所屬              | 會社員     | 二 | 出浦 | 七郎  |
| 長野縣小縣郡長瀬村          | 整骨師     | 二 | 石田 | 高雄  |
| 愛知縣丹羽郡犬山町          | 職工      | 二 | 井上 | 治夫  |
| 横須賀市逸見町一二四         | 生徒      | 二 | 磯部 | 修二  |
| 埼玉縣浦和中學校           | 訓導      | 二 | 石垣 | 信雄  |
| 宮城縣遠田郡小里小學校        |         | 二 | 石川 | 守造  |
| 靜岡縣三島町             |         | 二 | 伊藤 | 巖   |
| 兵庫縣甲陽中學校           | 生徒      | 二 | 伊藤 | 巖   |

|                |         |   |    |     |
|----------------|---------|---|----|-----|
| 東京、麹町、富士見町五ノ三  | 三菱銀行員   | 二 | 飯島 | 秀   |
| 横須賀市公卿町七四一     | 電氣商     | 二 | 石波 | 喜三治 |
| 東京、日本橋、久松町九    |         | 二 | 石野 | 孝次郎 |
| 東京、四谷、愛住町四七市川方 | 立教大學生   | 二 | 石井 | 一男  |
| 廣島市水主町五三二ノ五    |         | 初 | 伊藤 | 陽首郎 |
| 東京府下世田ヶ谷池尻四一二  |         | 初 | 井出 | 熊吾  |
|                |         | 初 | 市川 | 虎之助 |
|                |         | 初 | 伊藤 | 獻橋  |
|                | 代議士     | 初 | 池田 | 泰親  |
|                | (戰死)    | 初 | 石井 | 忠晴  |
|                | (死亡)    | 初 | 井上 | 秀範  |
|                |         | 初 | 岩井 | 俊道  |
|                |         | 初 | 石井 | 正房  |
|                |         | 初 | 井上 | 尊法  |
| 神戸市中山手通七ノ三一ノ二  | 法學博士辯護士 | 初 | 今井 | 嘉幸  |
| 吳市本通一三九        |         | 初 | 稻葉 | 柳吉  |

佐賀縣松原官舎  
朝鮮京城高等商業學校

書記官 初 井野 次郎  
教授 初 石村 保三郎  
(死亡) 初 岩井 元吉  
初 入谷 銚之助

福岡縣八幡中學校教諭

福岡有段者會北九州支部副支部長 初 井上 庄三  
初 石谷 傳兵衛

上海四川路五三、大康紗廠

初 岩井 武雄  
初 石井 太郎  
初 石田 元正  
初 井上 日德  
初 井上 慶樹  
初 池 滋郎  
初 石橋 正一  
初 井原 純策

仙臺市花壇川前丁一ノ一六

高知市鷹匠町

上海、臺灣銀行支店社宅  
名古屋市中區矢揚町一之切二二醫師

初 今津 明  
初 岩尾 督  
初 伊賀 朝二  
初 岩根 喜六  
初 伊藤 吉之助

靜岡市下八幡町

縣廳土木課員

福岡市地行東町二〇五

會津若松市修大羅一五〇一

福岡縣甲良郡重武村羽根戸五三九

九州帝國大學

學生

初 伊藤 源太郎  
初 稻葉 一也  
初 石川 信一  
初 石原 橋次  
初 伊藤 長  
初 岩倉 具重  
初 伊藤 馨  
初 飯田 喜藏  
初 岩崎 勤一  
初 今泉 來藏  
初 池田 久雄  
初 飯島 滿次  
初 市原 源太郎  
初 井口 末吉  
初 五十嵐 惠  
初 井上 富吉  
初 市川 亥三雄  
初 市川 幸治  
初 市岡 義  
初 飯野 茂作  
初 伊藤 巖

東京、赤坂、青山南町六ノ四二 男爵

(死亡)

宮崎市清水町

宮崎師範教諭

初 石本 惠吉  
初 石井 庄作  
初 石坂 久平  
初 石切山 鈞  
初 石井 健三郎  
初 井關 隆吉  
初 井上 健彦  
初 井上 隆根  
初 井上 順一  
初 石澤 儀之助  
初 稻葉 茂  
初 石川 重一耶  
初 石井 慶治  
初 伊東 忠治  
初 井上 庫二  
初 石崎 昇  
初 飯田 弘  
初 井上 哲男  
初 池田 忠實  
初 池田 忠實  
初 猪瀬 謙一

江田島海軍兵學校 海軍大尉  
鹿兒島縣揖宿郡顯妊村御殿

朝鮮總督府職務課

兵庫縣武庫郡精道村西茶屋一〇九

(死亡)

福島縣双葉郡長塚村

東京、京橋、本八丁堀二ノ七

初 伊集院 松治  
初 井上 周一  
初 入江 藤作  
初 一ヶ瀬 清五郎  
初 板部 成雄  
初 石本 五雄  
初 伊藤 六郎  
初 伊藤 和雄  
初 伊藤 常三  
初 伊藤 良秋  
初 井關 二郎  
初 岩崎 彌一郎  
初 今城 英一  
初 市原 吉太郎  
初 石川 義孝  
初 伊藤 保次郎  
初 伊藤 健治郎  
初 今見 昇  
初 岩井 茂  
初 伊集院 竹二

長崎市三菱合資會社支店  
い・心之部

社員

宮崎縣東臼杵郡伊形村

- 初 伊藤 菊治
- 初 岩切 哲
- 初 石井 康
- 初 飯島 幸之助
- 初 今井 一以
- 初 一柳 清高
- 初 岩堀 耀三郎
- 初 今井 春吉
- 初 今井 徳藏
- 初 石川 清左衛門
- 初 伊東 三木松
- 初 池井 昌平
- 初 伊藤 祐榮
- 初 井口 重次
- 初 岩永 庸太郎
- 初 今井 秀一
- 初 岩谷 賢太郎
- 初 岩崎 功
- 初 伊藤 中
- 初 伊藤 龜雄
- 初 伊藤 義隆

(死亡)

朝鮮平安北道楚山公立普通學校

- 初 伊藤 義隆

長崎市浪平町三八  
宮崎市宮崎高等女學校

校長

- 初 伊藤 義隆

臺灣、臺中市榮町六丁目

東京、小石川、原町一ノ六九

朝鮮、慶尙北道大邱尋常高等小學校

- 初 井上 常吉
- 初 井上 虎藏
- 初 岩崎 清二郎
- 初 今松 二郎
- 初 今里 博
- 初 市川 誠吉
- 初 幾尾 文起
- 初 稻生 正巳
- 初 石渡 重男
- 初 石川 大作
- 初 石澤 淺治
- 初 池本 利美
- 初 伊藤 八郎
- 初 稻垣 敏郎
- 初 石郷岡 銚吾
- 初 伊藤 喜太郎
- 初 伊藤 盛一
- 初 岩元 國雄
- 初 飯田 子之吉

(死亡)

朝鮮忠清南道安眠島山林課出張所

- 初 飯田 子之吉

軍艦陸奥乗組

- 初 五十嵐 秀夫
- 初 石原 壯介
- 初 石塚 浪之助
- 初 石田 主計
- 初 池田 遠思
- 初 伊藤 隆治
- 初 伊地知 三郎
- 初 伊藤 嘉平
- 初 伊藤 三藏
- 初 猪口 敏平
- 初 岩田 良吉
- 初 岩崎 季雄
- 初 岩田 勝太郎
- 初 岩成 自助
- 初 飯田 清
- 初 今村 一二
- 初 磯野 得藏
- 初 石田 巖
- 初 泉 茂家
- 初 稻見 芳次郎

鳥取縣氣高郡露村一〇四四

農業

- 初 池浦 義夫
- 初 伊藤 健次
- 初 五十嵐 豐藏
- 初 五十嵐 昌之介
- 初 稻垣 信次
- 初 石橋 開藏
- 初 石川 勝夫
- 初 石塚 彌之助
- 初 石井 保善
- 初 池田 四郎
- 初 伊藤 慎三郎
- 初 井村 俊郎
- 初 井上 清一
- 初 岩井 長太郎
- 初 岩田 由武
- 初 岩田 健吾
- 初 岩見 金之助
- 初 今關 清
- 初 井上 龍三郎
- 初 稻野 榮喜
- 初 伊藤 秀一

靜岡縣三島町立商業學校

秋田縣大館町 講道館維持員 續業

大阪府九條警察署  
宮城縣佐沼町小金一ノ三〇

警察官

- 初市原久二
- 初岩波義忠
- 初井本誠一
- 初石井恒雄
- 初石田太郎
- 初石野基恒
- 初石田幸三郎
- 初今榮俊亮
- 初猪野忠
- 初一政千一
- 初石本太郎
- 初岩淵庚五
- 初池田徳松
- 初五十嵐俊藏
- 初入江嗣郎
- 初磯久研藏

札幌市江別町富士製紙工場

慶應義塾大學  
四日市市濱田町  
大阪市此花區西野田中江町二〇五、三木方

學生

- 初石井一藏
- 初池田重義
- 初伊吹静一
- 初伊勢久雄
- 初伊藤左衛門
- 初伊地知喜代治
- 初井上武三郎

宮崎縣延岡町字恒富町

訓導

- 初磯久研藏
- 初入江嗣郎
- 初五十嵐俊藏
- 初池田徳松
- 初岩淵庚五
- 初石本太郎
- 初一政千一

和歌山縣西牟婁郡栗栖川村  
東京府下千駄谷五四〇、原田方

北部小學校教師

- 初井上武三郎
- 初井上卓次
- 初井上太郎
- 初伊藤貞利
- 初石田兵藏
- 初石川堅太郎
- 初石橋鶴二郎
- 初今井兼雄
- 初池田保郎
- 初石井彦四郎
- 初伊坂誠之進
- 初伊藤文雄
- 初伊藤政雄
- 初伊藤修作
- 初飯田清一
- 初飯村清一
- 初岩野俊介
- 初岩橋一男
- 初岩野俊介
- 初飯田清勝
- 初今井忠太郎
- 初出雲益良
- 初石井三藏
- 初石堂萬代
- 初池見義雄

仙臺市共濟生命保險株式會社支店內

宮城縣氣仙沼町二日町五三  
三陸汽船株式會社員

三陸汽船株式會社員

大連市南山麓楓町一五二  
栃木縣下都賀郡絹村福良 柔道教師

- 初石森正明
- 初石關淳介
- 初石川吉次郎

栃木縣師範學校  
松江市白湯本町

教諭

- 初池本義憲
- 初池田萬常
- 初池田眞二
- 初伊藤春次
- 初伊藤修作
- 初伊藤文雄
- 初伊藤政雄
- 初伊藤修作
- 初飯田清一
- 初飯村清一
- 初岩野俊介
- 初岩橋一男
- 初岩野俊介
- 初飯田清勝
- 初今井忠太郎
- 初出雲益良
- 初石井三藏
- 初石堂萬代
- 初池見義雄

三重縣飯南郡黒部村 小學校訓導  
海軍省水路部内

秋田縣南秋田郡馬場ノ目村

大阪市港區市岡町二九三ノ一九八

官吏

南滿洲安東警察署  
東京、芝、田村町樋口病院  
神戸市山本通四ノ一二

足利市通三丁目

埼玉縣北足立郡平方村

- 初井阪俊一
- 初石森正吾
- 初石塚了本
- 初石井利信
- 初池田二郎
- 初池田一郎
- 初岩城信吉
- 初今村矩八
- 初一條高登
- 初鑄谷正輔
- 初石井正喜
- 初石川通正
- 初石井勇
- 初石原峯藏
- 初石田孝作
- 初池部宗黨
- 初市川長平
- 初今永一二
- 初飯田謙次郎
- 初飯田義一
- 初飯田研三
- 初井上清一

高知縣安藝郡赤野村

東京、京橋、南小田原町四ノ五

神戸高等商船學校官舎

神戸市山本通三丁目一ノ八

米澤高等工業學校  
宮城縣桃生郡中津山村二六

秋田縣北秋田郡眞中村

山梨縣南巨摩郡増穂村

慶應義塾大學

- 初池本義憲
- 初池田萬常
- 初池田眞二
- 初伊藤春次
- 初伊藤修作
- 初伊藤文雄
- 初伊藤政雄
- 初伊藤修作
- 初飯田清一
- 初飯村清一
- 初岩野俊介
- 初岩橋一男
- 初岩野俊介
- 初飯田清勝
- 初今井忠太郎
- 初出雲益良
- 初石井三藏
- 初石堂萬代
- 初池見義雄

|                  |        |         |                  |         |
|------------------|--------|---------|------------------|---------|
| 栃木縣上都賀郡粟野町       | 藥種商    | 初 石上伊一耶 | 臺灣臺中州南投郡警察課      | 初 池田幸甚  |
| 埼玉縣東村山村野口        |        | 初 伊瀨義雄  |                  | 初 伊東盤   |
| 大阪西淀川姫島町東亞ハイント會社 |        | 初 飯塚滿明  | 大分縣下毛郡中津町一三二一    | 初 伊藤正一  |
| 福島縣田村郡移村         | 農業     | 初 磯貝茂平  |                  | 初 井上清   |
|                  |        | 初 石井金孝  |                  | 初 井上政雄  |
|                  |        | 初 伊藤良八  |                  | 初 猪子加壽男 |
|                  |        | 初 伊藤周平  |                  | 初 猪尾式太郎 |
|                  |        | 初 伊藤喜太郎 | 海軍水雷學校准士官室       | 初 猪坂威   |
|                  |        | 初 伊藤清明  | 仙臺市光禪寺通三五 東北帝大技手 | 初 猪熊芳治郎 |
| 豐橋市新城町           | 麻真田製造業 | 初 岩瀬信一  |                  | 初 岩田善四郎 |
|                  |        | 初 稻垣龍人  |                  | 初 岩田茂   |
|                  |        | 初 五十嵐武男 |                  | 初 井内清次郎 |
|                  |        | 初 五十嵐力藏 | 弘前高等學校           | 初 今井說治  |
| 栃木縣下都賀郡桑村大字羽川    | 農業     | 初 板子太一郎 |                  | 初 今井文雄  |
|                  |        | 初 石川勸次郎 |                  | 初 稻垣季太郎 |
| 宮城縣女子師範學校        | 訓導     | 初 石川卯之吉 |                  | 初 一戸銀藏  |
|                  |        | 初 池澤忠男  |                  | 初 石津元治  |
|                  |        | 初 池田菊治  |                  | 初 石垣松吉  |
|                  |        |         |                  | 初 伊比源一  |

(死亡)

|                 |        |         |                 |          |
|-----------------|--------|---------|-----------------|----------|
| 静岡市榮町           | 宿屋業    | 初 伊藤直   | 神戸市西須磨下樋詰       | 初 生島至    |
| 静岡縣志太郡小川村       | 豐田銀行頭取 | 初 伊藤正三郎 | 大阪府立生野中學校       | 初 石原重次   |
| 東京、日本體育會體操學校    | 學生     | 初 五十嵐傳助 | 東京、芝、白金志田町五一    | 初 飯田武    |
| 青島恩縣路           |        | 初 一郡爲吉  | 高崎市塚澤村          | 初 井田賀輔   |
| 富山縣下新川郡魚津町      | 訓導     | 初 石坂清   | 秋田市靈兵分隊         | 初 石倉潤二   |
|                 |        | 初 池田稔   |                 | 初 石井貞治   |
|                 |        | 初 池上勝   |                 | 初 市川憲司   |
| 高知市南奉公人町一ノ七     |        | 初 伊藤和貴  |                 | 初 五十嵐昌之助 |
|                 |        | 初 井上和美  | 東京高師            | 初 五十嵐芳雄  |
|                 |        | 初 飯澤重一  | 早稻田大學           | 初 一林太藏   |
| 新潟縣南蒲原郡加茂町加茂三一九 |        | 初 市川誠一  |                 | 初 生稻吉輝   |
|                 |        | 初 石山石次郎 | 山口縣長府町安養寺、川内りん方 | 初 泉幸雄    |
|                 |        | 初 池田準治  |                 | 初 入川歎二   |
|                 |        | 初 今田恭一郎 | 大阪市浪花區鷗町三ノ一二一   | 初 板倉三郎   |
| 茨城縣筑波郡作岡村       |        | 初 飯塚勤   |                 | 初 板野政治   |
| 佐世保海兵團内         |        | 初 井上規矩  |                 | 初 磯野秀貴   |
|                 |        | 初 伊藤祐滿  |                 | 初 石川豊三郎  |
|                 |        | 初 石山謙一郎 |                 | 初 石井武    |
| 兵庫縣武庫郡西灘村岩屋     |        | 初 生島軍治  |                 | 初 石栗淡    |

神戸市磯邊通三ノ一四六 初石井義治  
 福島縣立双葉中學校 初石川明  
 熊本縣玉名郡玉水村田部光 初池田九州男  
 東京、牛込、榎町六〇 初池田晃  
 大阪市立工業學校 初伊藤美代治  
 島根縣能義郡宇賀莊村 初伊藤倉高  
 山梨縣東山梨郡松里村 初伊藤平八郎  
 神戸市東須磨方ヶ池一二池田方 初井尻四男也  
 大阪市北區大融寺町五八 初井筒義一  
 埼玉縣秩父町 初井筒巖  
 神戸市西須磨字上ませ垣一二 初井田留次  
 商業 初岩佐右京  
 初岩田彌市  
 初岩崎勝利  
 初岩本壽一  
 初今道安雄  
 初市村快哉  
 初石丸三郎  
 初石田松雄

新潟縣北蒲原郡黒川村 農業 初伊藤七雄  
 東京府下大森山谷一四七四林方 初井上正雄  
 和歌山市茶屋町小林方 初井上龍雄  
 前橋市市役所 商業 初今村太郎  
 愛知縣寶飯郡豊川町本野 初石本恒人  
 埼玉縣南埼玉郡越ヶ谷町 初出崎覺太郎  
 埼玉縣北葛飾郡靜村 初石野廣  
 山梨縣北巨摩郡朝神村小學校 初伊藤富治  
 東北刑務所 初井上忠二  
 山形縣大山町柳原 初飯島永彌  
 三重縣龜山町 初今井守次郎  
 初板橋丈三郎  
 初入野誠幸  
 初一條洋一  
 初家木幸之輔  
 初岩崎兵吉  
 初伊藤千代藏  
 初伊藤庄吉  
 初伊藤正也

門司市小森江六〇〇 初井上幹三  
 横濱市野毛町一ノ三二 運送業 初飯盛常則  
 四日市市濱田町 初石崎康彦  
 高松市鹽上町七四一 實業 初石原兼雄  
 上海赫司克而路三五 初伊藤正二  
 池邊雄一  
 初石井三郎  
 初岩城松世  
 初岩部茂  
 初岩崎銀太郎  
 初岩城大三郎  
 初井上之武  
 初石川之義  
 初石原力  
 初岩崎勝  
 初池本政美  
 初五十嵐一二  
 初石川喜一郎  
 初石川政藏  
 初石木進

宮城縣登米郡淺川村水越一八二 初岩堀芳幹  
 初岩淵一郎  
 初岩崎逸記  
 初岩本武雄  
 初幾島小一郎  
 初磯野春雄  
 初石本義英  
 初泉藤吉  
 初磯部泰助  
 初石田春政  
 初石木田徳造  
 初石橋保  
 初石野慶作  
 初池田安夫  
 初池田啓治郎  
 初池田勝海  
 初池田軍一  
 初伊藤駒吉  
 初伊藤三雄  
 初伊藤透  
 初伊藤喜夫

新瀉縣師範學校 鐵道員 初池田啓治郎  
 室蘭市機關庫内 初池田勝海  
 愛媛縣越智郡龜山村 初池田軍一  
 東京府下南千住町修武館内 初伊藤駒吉  
 東京帝國大學農學部 學生 初伊藤三雄  
 山梨縣北巨摩郡龍岡小學校 訓導 初伊藤喜夫

吳市本通一〇ノ七

初 伊名波喜一

金澤市玉川警察署

柔道助教

初 石波 正

初 伊藤 隆治

初 伊藤 隆治

初 井上 哲夫

初 井上 哲夫

初 猪狩 支一

初 飯塚 清一

初 今井 喜一郎

初 今村 正雄

初 市島 文治

初 石田 利邦

初 井澤 喜代藏

初 井部 啓三郎

初 井上 保

初 伊藤 鍊平

初 伊藤 善太郎

初 伊藤 吉則

初 居城 謙次

富山縣下新川郡飯野村芦崎

銀行員

九州帝國大學

學生

島根縣八束郡川津村

農業

大阪市此花區上福島大阪商業校教師

仙臺市連坊小路

青森縣南津輕郡大光寺字小和森

早稻田大學

學生

三重縣桑名郡在良村額田

小學校教師

三重縣津田沼鐵道聯隊

千葉縣津田沼鐵道聯隊

高知縣土佐郡朝倉村

吳鎮守府所屬軍艦神通乘組

靜岡縣熱海町

三島商業生徒

東京府下長崎町新井一七七四

高崎市片岡町石原

茨城縣久慈郡太田町

早稻田大學

長野縣長野中學校

佐賀縣東松浦郡相知村由頭

神奈川縣逗子開成中學校

宮城縣岩出山町四二

北海道石狩郡石狩町

日本體育會體操學校

岡山縣總社町四九一

大阪府立天王寺師範學校

東京府下目黒九四一高野道場内

香川縣木田郡屋島村

初 石田 勝巳

初 稻田 靜雄

初 稻葉 安雄

初 磯田 帝中

初 一迫 直衛

初 岩橋 學

初 岩城 繁

初 伊藤 是

初 今橋 魁之助

初 飯野 債二郎

初 猪野 和夫

初 井上 正一

初 伊藤 甚吉

初 伊藤 勉

初 伊原 三郎

初 伊月 順一

初 池上 春雄

初 伊藤 義雄

初 石井 貞吉

初 石川 久一

初 磯部 剛

學生 初 坂村 直人

學生 初 一藤木 勇三

學生 初 五十嵐 俊治

學生 初 市村 五郎

學生 初 五十嵐 龜八

學生 初 石田 誠

學生 初 井關 美峻

學生 初 稻川 秀隆

生徒 初 市川 親

生徒 初 市原 一雄

生徒 初 市丸 義男

生徒 初 市河 守一

生徒 初 今泉 勇次郎

生徒 初 今川 福雄

生徒 初 今泉 忠義

生徒 初 今枝 繁治

實業 初 飯沼 長太郎

實業 初 今井 義勝

實業 初 飯田 豊

實業 初 飯野 善二

豊橋市外小池 石鹼製造業

初 伊藤 留吉

東京美術學校

初 伊藤 隆二

尼ヶ崎市宮町天崎壽圓方

初 伊藤 柄次郎

大阪府下豊中町東洋紡織豊中寮

初 伊藤 武宗

東京高等工業學校

初 伊藤 嘉平治

朝鮮京城 朝鮮公論社長

初 伊藤 義郎

秋田縣師範學校

初 伊藤 健一

宮城縣名取郡千貫村南長谷 訓導

初 伊藤 甲辰

早稲田高等學院

初 伊勢 治

東京府下下落合六四早稻田實業生徒

初 伊藤 久彌

新潟縣加茂農林學校

初 伊勢 清左衛門

愛知縣岡崎中學校

初 池田 俊豐

初 伊勢 木政雄

名古屋市享榮商業學校内 陸軍大尉

初 池田 三郎

初 伊藤 藤真

名古屋市中村町一三農林學校助手

初 池田 誠祐

初 伊藤 武夫

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 池端 鐵二

初 伊藤 昇

東京府下高井戸村上高井戸正用

初 池田 謙三

初 伊藤 眞

香川縣三豐郡豊田村

初 石川 長太郎

初 伊藤 武夫

宮城縣名取郡四多賀村山田一三農林學校助手

初 石川 義澄

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石田 久作

初 伊藤 武夫

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石原 修德

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石山 亮三郎

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石井 謙吉

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石川 輝秋

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石島 圓藏

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 稻原 銀造

初 伊藤 眞

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 稻葉 角治

三重縣鈴鹿郡久間田村鹿岡

船員 初 磯部 久男

横濱市中村町一二六〇

初 今井 美房

早稲田高等學院

學生 初 乾 祐造

宮城縣名取郡四多賀村山田一三農林學校助手

初 伊藤 龍七

大阪府新町警察署

巡查 初 一ノ瀬 徳太郎

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 伊藤 芳雄

埼玉縣比企郡西吉見

初 岩崎 秀行

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 伊藤 惣吉

臺北市高等學校校寮内

初 岩崎 英博

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 伊藤 透一

慶應大學

學生 初 岩崎 彰一郎

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 伊藤 治郎

慶應大學

學生 初 岩崎 實

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 石毛 誠治

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 久二

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 池内 廣見

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 正夫

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 池田 武一

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 稲葉 捷巳

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 家入 榮喜

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 岩崎 喜代司

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 五十嵐 米藏

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 五十嵐 興吉

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 五十嵐 三作

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 泉岡 末一

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 池見 長次郎

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 福三

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實

東京府下大森谷戸龜島一八一四

初 岩崎 幸吉

宮城縣北蒲原郡菅谷村北中江 農業

初 今井 實



廣島高等師範學校 學生 初 井上 正二  
 高岡市下關町一三八九早稻田大學 學生 初 井上 知行  
 海軍兵學校 初 井上 今吉  
 初 井口 清  
 初 猪野 巖  
 初 伊藤 養吉  
 初 伊藤 治郎  
 初 伊澤源右衛門  
 初 伊藤 政次  
 初 伊藤 孝藏

明治大學 學生 初 池田 節治  
 愛媛縣北宇和郡喜佐方小學校 學生 初 池田 節治  
 軍艦川内 訓練 初 池田 節治  
 初 庵下 榮  
 初 糸久 直司  
 初 引頭 成幸  
 初 岩田 甲辰

福島高等商業學校 學生 初 伊藤 龍男  
 東京、日本橋、通油町日本アルミニウム會社 社員 初 伊藤 龍男  
 初 伊藤 長吉

浦和高校學生 學生 初 岩館吉右衛門  
 東京、小石川、音羽町六ノ二 學生 初 五十嵐 光夫  
 中央大學 學生 初 出浦 公正  
 東京藥學專門學校 學生 初 入江 武三  
 沼津市宮町 會社員 初 磯野 兼松  
 神奈川縣逗子開成中學校 生徒 初 石原 正市郎  
 初 生駒 數義  
 初 岩下 政吉  
 初 石森 萬次  
 初 市原 種藏  
 初 市原 定七  
 初 市川 幸得

仙臺市北七番丁三栗野方 初 今野 靜夫  
 東京麴町富士見町一ノ二七法大學生 初 今井 澄雄  
 東京府下下澁谷一八八六至剛館内 初 今井 捨雄  
 埼玉縣北足立郡神根村根岸 初 飯塚 甚藏  
 明治藥學專門學校 學生 初 飯田 勝二郎  
 立教大學 學生 初 伊藤 信彦  
 福島縣郡山檢車所内 鐵道員 初 伊藤 秋夫  
 東京府下下目黒九四一高野道場學生 初 井上 進  
 東京、淺草、角町一下倉方 初 井草 勤香  
 初 泉水 涉  
 初 伊藤 春吉  
 初 井口 亘  
 初 伊藤 米藏  
 初 石山 誠香  
 初 伊東 祐之助  
 初 伊野 長三郎  
 初 石村 晴雄  
 初 石川 滿治  
 初 石川 源造  
 初 石川 源造  
 初 市丸 定治

東京、本郷、丸山福山町藤田方 初 石田 輝衛  
 東京府下下目黒六六二 初 板橋 勇次郎  
 上海東亞同文書院 初 岩山 職  
 靜岡縣富士郡大宮町 初 岩永 直喜  
 宮崎縣小林中學校 初 岩城 克男  
 靜岡縣立掛川中學校 初 五十君 四郎  
 初 石川 佐重  
 初 飯尾 登三男  
 初 岩瀨 芳照  
 初 石川 喜男  
 初 池上 治  
 初 井上 正則  
 初 飯田 一郎  
 初 石橋 德次  
 初 稻吉 季美  
 初 池田 勝榮  
 初 市村 七郎  
 初 石川 清信  
 初 岩戸 萬吉  
 初 石田 直義  
 初 今中 太一

第六高等學校 學生 初 伊東 祐之助  
 東京、本所、横川町四一有田道場内 學生 初 伊野 長三郎  
 第四高等學校 學生 初 石村 晴雄  
 埼玉縣大里郡太田村 整復術師 初 石川 滿治  
 山梨縣中巨摩郡大井村 訓練 初 石川 源造  
 東京日本橋留聲 初 市丸 定治

東京水産講習所 學生 初 池田 勝榮  
 靜岡縣濱松師範學校 生徒 初 市村 七郎  
 靜岡師範專攻科 生徒 初 石川 清信  
 軍艦陸奥乘組 生徒 初 岩戸 萬吉  
 東京府下三河島二〇六〇 生徒 初 石田 直義  
 初 今中 太一

宮崎縣高千穂警察署

巡查

初 伊東 清律

東京府下三河島木本二九一

學生

初 井口 茂雄

東京、京橋、佃島三〇

學生

初 飯田 勇之助

愛知縣寶飯郡大塚村

學生

初 岩井 喜五郎

慶應大學

學生

初 猪股 千代志

東京府下日暮里谷中本一二九村田方

鐵道員

初 池田 早苗

松江高等學校

學生

初 伊東 清三郎

埼玉縣川越中學校

生徒

初 石橋 利三郎

大連市乃木町三ノ一五三

學生

初 石原 兼吉

名古屋市南區豐田町圖書一五九

學生

初 石井 勇三郎

東京、小石川、表町一〇九

八高學生

初 石井 小太郎

名古屋第八高等學校

學生

初 井上 吉次郎

横濱高等商業學校

學生

初 井上 米吉

東京、小石川、表町一〇九

八高學生

初 井上 益之進

宮崎縣高千穂警察署

巡查

初 伊藤 英香

東京府下三河島木本二九一

學生

初 入澤 忠二

東京、京橋、佃島三〇

學生

初 石橋 喜代治

愛知縣寶飯郡大塚村

學生

初 石山 文作

慶應大學

學生

初 石井 重春

東京府下日暮里谷中本一二九村田方

鐵道員

初 飯田 雄次郎

松江高等學校

學生

初 井上 京一

埼玉縣川越中學校

生徒

初 泉 忠保

大連市乃木町三ノ一五三

學生

初 井上 茂樹

名古屋市南區豐田町圖書一五九

學生

初 岩永 靜雄

東京、小石川、表町一〇九

八高學生

初 井村 繁次郎

名古屋第八高等學校

學生

初 猪浦 政一

横濱高等商業學校

學生

初 伊藤 富平

東京、小石川、表町一〇九

八高學生

初 一井 榮吉

山形工業學校

生徒

初 伊藤 忠作

富山縣西礪波郡醍醐村油屋

實業

初 今井 由太郎

東京鐵道局建設事務所

鐵道員

初 今野 作藏

金澤憲兵分隊

憲兵伍長

初 石渡 春男

福島縣河沼郡金上村新開津一八五二

農業

初 石森 松太郎

石川縣河北郡大場小學校

訓導

初 石田 功

富山縣師範學校

生徒

初 伊藤 峰藏

香川縣高松師範學校

生徒

初 伊勢 勝藏

京城官立高等工業學校

學生

初 石上 新吾

巡查

初 和泉 英三

山口縣久賀警察署

生徒

初 尹 昇善

高田市高田師範學校

生徒

初 岩崎 治

山口縣山口驛前フォード自動車商會

學生

初 岩尾 敏夫

ハルピン日露協會學校

學生

初 伊東 長雄

大分市西町

商業

初 岩田 敏夫

大分縣速見郡大神村

商業

初 岩尾 敏夫

大分縣速見郡大神村

工業

初 石橋 正

佐世保市金比良町

商業

初 今澤 半十郎

大分縣下毛郡中津町片端

商業

初 今澤 半十郎

い・ぬ之部

和歌山縣西牟婁郡栗栖川村北部小學校 訓導 初 井住慶三郎  
 東京、芝、愛宕町下四ノ八小田方 訓導 初 飯尾秀雄  
 埼玉縣大里郡明戸村小學校 訓導 初 飯塚忠美  
 福島縣師範學校 生徒 初 飯野秀夫  
 東京高等工業學校 學生 初 井出市藏  
 樺太大泊町 郵便局員 初 井上新治  
 天津日本租界旭街天津銀行 初 井上義夫  
 初 井田喜助  
 初 井出製茶平  
 初 井出製茶平  
 初 井村竹市  
 初 井手方次郎  
 初 井上一郎  
 初 伊藤鶴太郎  
 初 伊藤平作  
 初 伊藤孝仁  
 初 伊勢明好  
 初 伊藤定義  
 初 伊藤文義  
 名古屋市中區松元町四丁目一七實業 商業 初 井上一郎  
 茨城縣那珂郡湊町明神前 商業 初 伊藤鶴太郎  
 東京、淺草、松葉町二九中川方 署員 初 伊藤孝仁  
 支那北京日本公使館警察署 生徒 初 伊勢明好  
 宮城縣仙臺第一中學校 生徒 初 伊藤定義  
 三重縣三重郡富洲原町 勵精中學校生徒 初 伊藤文義  
 三重縣安濃郡安東村北向路

三四

靜岡縣立富士中學校 生徒 初 石井猪作  
 埼玉縣柏壁町 初 石塚彦一  
 埼玉縣川口町 初 石垣古二  
 初 石川總英  
 初 石波正雄  
 初 石山靜二郎  
 初 石井輔基  
 初 石井由太郎  
 初 石橋良造  
 初 石津繁基  
 初 磯野秀夫  
 初 石津岩雄  
 初 石垣喜代三  
 初 稻垣武長  
 初 池田喜代次  
 初 池田德平  
 初 板川憲次  
 初 一色學  
 初 岩田嘉幸  
 初 岩木豐  
 初 五十嵐義雄  
 初 飯塚鷲光  
 佐世保市濱田町七一 海軍柔道教師佐世保有段者會副會長 五 服部峯太郎  
 宇都宮市一條町 柔道教師 四 針金浩太  
 福島縣師範學校 岡山縣御津郡野谷村柏谷 柔道教師 四 橋本十一  
 臺南市綠町一三 臺南中學、臺南警察部柔道教師 四 春山國武  
 茨城縣眞壁郡長讀村 柔道教師 四 八田宗俊  
 鹿兒島市商業學校 柔道教師 四 林岩三  
 香川縣善通寺町 柔道教師 四 長谷部壽美  
 富山市千石町 富山高等學校教師 四 萩野啓之助  
 富山市古手傳町 上市農學校教師 四 早川昇  
 大坂市港區三條通リ二ノ二六 府立四條噺中學柔道教師 四 浪野正平  
 群馬縣師範學校 教諭 四 原樽市  
 佐賀縣師範學校 柔道教師 四 橋本靜夫  
 京都同志社大學 學生 四 早川勝  
 富山市古手傳町四九 學生 四 羽田泰文  
 四 萩原準

は之部

山口縣山口町栗本小路 山口高商柔道教師 六 半田義廣  
 東京府下高田町雜司ヶ谷龜原二三 東京高師助教 六 橋本正次郎  
 久留米市花畑町一三〇五 中學明善校柔道教師 五 原廣  
 福岡有段者會久留米支部副支部長 滿鐵社員 五 濱田有一  
 佐賀市赤松町鬼丸東小路八一 佐賀高等學校柔道教師 五 馬場壽吉  
 東京、下谷、坂本町二ノ二一 國學院、早稻田高等學院柔道教師 五 花桐清二郎  
 東京府下駒澤村馬引澤 眞道館主 五 早川章次郎  
 東京、下谷、四町三 眞道館主 五 萩原七郎  
 宇治山田市新町 山田商業柔道教師 五 羽鳥光四郎  
 東京府下代々木南山山谷二〇八 滿鐵社員 五 原鴻太郎  
 滿鐵埠頭事務所 滿鐵社員 五 塙孝一  
 福島縣安積中學校 教師 五 濱崎五郎  
 東京、赤坂、青山北町五ノ四八 教師 五 箱田達磨

三五

佐世保市濱田町七一 海軍柔道教師佐世保有段者會副會長 五 服部峯太郎  
 宇都宮市一條町 柔道教師 四 針金浩太  
 福島縣師範學校 岡山縣御津郡野谷村柏谷 柔道教師 四 橋本十一  
 臺南市綠町一三 臺南中學、臺南警察部柔道教師 四 春山國武  
 茨城縣眞壁郡長讀村 柔道教師 四 八田宗俊  
 鹿兒島市商業學校 柔道教師 四 林岩三  
 香川縣善通寺町 柔道教師 四 長谷部壽美  
 富山市千石町 富山高等學校教師 四 萩野啓之助  
 富山市古手傳町 上市農學校教師 四 早川昇  
 大坂市港區三條通リ二ノ二六 府立四條噺中學柔道教師 四 浪野正平  
 群馬縣師範學校 教諭 四 原樽市  
 佐賀縣師範學校 柔道教師 四 橋本靜夫  
 京都同志社大學 學生 四 早川勝  
 富山市古手傳町四九 學生 四 羽田泰文  
 四 萩原準

名古屋市中區千種町字大久手 愛知一中教師 四 波多野全玉  
 下關市丸山町 下關中學校柔道教師 四 蓮尾壽藏  
 朝鮮平壤中學校 柔道教師 四 萩原正敬  
 大阪市湊區船町大日本航空株式會社 四 坂東舜一  
 福島縣平町七軒町二八 四 橋本芳太郎  
 磐城中學教諭磐城有段者會副會長 四 波來谷乘勝  
 朝鮮詳山本願寺 四  
 東京、小石川、大塚坂下町 東京電燈會社社員 四 早川莊一郎  
 東京府下杉並町高圓寺三五 四 橋本猛生  
 高知市旭町 高知師範學校教諭 四 針生五郎  
 埼玉縣大里郡寄居町 整復師 四 橋本寬重  
 東京府下杉並町馬場二〇六 四 長谷川吉重  
 埼玉縣杉戸町 眞道館主 四 林 猶龍  
 福島縣伊達郡大木江村大木戸 眞道館主 四 濱田清治  
 米澤高等工業學校 學生 四 牛澤股保  
 學生 四 針金政綱

東京、小石川、水道町六警視廳教養係 四 廣野吉太郎  
 東京、麻布、材木町四一 大藏省官吏 四 羽田精一  
 岐阜縣羽島郡上中島沖 四 林 廣  
 埼玉縣大宮町三七四九警察柔道教師 四 蓮見武夫  
 栃木縣眞岡町 眞岡中學校柔道教師 四 原田卯三郎  
 川崎市扇町三井物產埠頭工事清水組出張所 四 早川太郎  
 東京、芝、三田警察署 署長 四 早川元  
 東京、日本橋、三代町八 柔道教師 四 濱田助三郎  
 足利市外借宿八七 織物拔染加工業 四 初山長太郎  
 東京、小石川、小日向臺町三ノ七七 四 長谷川秀治  
 (死亡) 四 花房壽一  
 (死亡) 三 馬場七五郎  
 (死亡) 三 八谷 護  
 三 萩尾通杜  
 三 濱崎市五郎  
 三 長谷川宗三郎  
 三 春田 光治  
 三 花田 重起  
 三 早川安次郎

東京府下巢鴨宮仲二七七九英武館主 三 原 庸吉  
 高知縣師範學校 三 林 重信  
 神奈川縣藤澤町二〇一七 藤澤中學校教師 三 長谷川信定  
 天津法界五號路四十號 泰信洋行員 三 長谷部義範  
 函館市銀治町一六小島方 三 林 信雄  
 橫須賀市逸見町五六六 三 原田 肇  
 大阪府高津警察署 警察官 三 林 吉之助  
 千葉市西院內一三五一 三 原 門助  
 埼玉縣浦和町二七一五 三 原山伸雄  
 橫濱市賑町二ノ七 料理店 三 芳賀藤次郎  
 豐橋市下町 豐橋警察署柔道教師 三 濱野春男  
 小倉師範學校 柔道教師 三 原 源藏  
 青森市外大野村青森有段者會副會長 三 長谷川兼吉  
 東京、本所、太平町二ノ六七 機械業 三 原田 實  
 朝鮮慶尙南道鎮海警察署 教師 三 原子武慶  
 廣島市廣島東警察署 柔道教師 三 濱松政治郎  
 三 長谷川良一  
 三 林 宗治  
 三 林 勝三郎

茨城縣東茨城郡磯濱町警察署 三 林 福藏  
 德島縣撫養町大桑島 吳服商 三 番場 貞三  
 東京府下池袋町九八七 工藝家 三 橋本昇三郎  
 仙臺市南村木町 三 端山 三郎  
 東京、小石川、關口町一九〇大道社內 三 針生 和吉  
 大阪市此花區龜甲町一ノ五〇 三 萩原 嘉一  
 早稻田大學 學生 三 張田良之助  
 埼玉縣比企郡明覺村別所 三 林 英智  
 三重縣河藝郡栗真村中山 三 馬場 富夫  
 眞宗勸學院柔道教師 三 秦 驥一  
 東京、牛込、東五軒町四七 警部補 三 林 純道  
 東京、日本銀行內 三 濱口 雄彦  
 神戶市湊川警察署關西學院柔道教師 三 橋本清次郎  
 新潟縣加茂農林學校 教諭 三 林 重吉  
 津市下部田町 眞宗勸學院柔道教師 三 服部 越  
 兵庫縣明石郡大久保村 三 萩原 末松  
 東京府下戸塚町四五〇白井方 三 橋本 一雄  
 朝鮮慶尙北道金泉邑城內町小野旅館 三 濱田 重民  
 官吏 三 畑野 巖

廣島市廣島東警察署 柔道教師 三 林 勝三郎

朝鮮慶尙南道廳土木課 官吏  
 栃木縣下都賀郡穗積村大行寺 官吏  
 北海道日高國佐瑠太  
 東京、神田、北神保町一三  
 軍艦橋名乘組  
 大連市淡路町 大連有段者會副會長  
 臺灣基隆稅關  
 大正大學 學生  
 吳市古江町一四ノ一〇 學生  
 慶應大學 學生  
 尼ヶ崎市別所一〇〇五 學生  
 福島縣石城郡四倉町 會社員  
 東京府下大森新井宿九九九 會社員  
 仙臺市名掛丁一 學生  
 山口高等商業學校 學生  
 福島市五丁目 福島高商學生

廣島縣崇徳中學校 柔道教師 三 萩野富士五郎  
 早稻田大學 學生 三 花本 務  
 東京小石川講道館本部内拓殖大學生 三 坂内 源師  
 三 早川 專一  
 三 濱 金次郎  
 三 早瀬 藤造  
 三 濱 田 良平  
 三 原 常 治  
 三 八 田 一 郎  
 三 濱 田 次 箕  
 三 濱 真 男  
 名古屋市中區館屋町 實業 三 濱 田 良平  
 那覇市垣花町五 造船業 三 濱 田 良平  
 早稻田大學 學生 三 八 田 一 郎  
 早稻田高等學院 學生 三 濱 田 次 箕  
 日本體育會體操學校 學生 三 濱 田 次 箕  
 神奈川縣片瀨二四八九 軍艦長良乘組機關長 二 原 田 道 成  
 東京府下大崎町上大崎二九一 水難救濟會副會長、貴族院議員子爵 講道館維持員評議員 二 花 房 太 郎  
 二 萩原 鎮太郎  
 二 箱 島 保 五 郎  
 二 馬 場 卷 三 郎  
 二 林 濱 太 郎  
 二 羽 島 甲 斐 雄

東京、本郷、向陽齋生町三三ノ一三 東京帝國大學司書 二 高 山 源 藏  
 宮崎縣延岡町柳澤町 實業 二 橋 口 良 吉  
 (死亡)  
 二 原 繁 治  
 二 原 川 五 郎  
 二 伴 茂  
 二 服 部 謙  
 二 馬 場 義 雄  
 二 長 谷 川 彌 馬 太  
 新潟縣三島郡塚山村塚野山  
 横濱市中區西戸部山王山六五五 神奈川縣立第一中學校教諭 二 袴 田 集 義  
 東京府下下落合五四九 エル・イー・パトラー  
 二 長 谷 川 清  
 福岡縣遠賀郡中門町 二 波 多 野 滿  
 今治市城山通五〇 今治中學校教諭 二 林 獅 子 三  
 岩手縣下閉伊郡宮古町釜崎下町三九 二 半 田 一 雄  
 第一水雷戰隊第十三驅逐隊四號驅逐艦 二 早 野 凌 一  
 北海道廳内務部農務課 官吏 二 林 雄 二  
 二 畑 長 松  
 二 林 永 之

足利市外今福 材木商 二 萩原多賀次郎  
 二 林 廣 吉  
 二 濱 田 米 吉  
 二 橋 本 博  
 二 林 學  
 二 針 金 忠 一 郎  
 二 馬 場 忠 俊  
 二 萩原 吉 雄  
 二 イー・ジエー・ハリソン  
 二 速 水 保 太 郎  
 二 林 良 三  
 二 長 谷 川 清 也  
 群馬縣勢多郡新里村武井 整復師 二 濱 田 一 平  
 二 原 田 龍 寬  
 二 長 谷 孝 之  
 二 原 田 務  
 二 濱 崎 諒  
 二 花 田 孫 平  
 二 橋 本 長 市 郎  
 二 畑 山 善 次 郎  
 三重縣度會郡吉澤村字河内乙 訓導 二 橋 本 長 市 郎  
 學生 二 畑 山 善 次 郎  
 三九

は 之 部

近衛歩兵第三聯隊第五中隊  
桐生市桐生警察署  
巡査  
二 林 正行  
二 馬場 重三郎  
二 鉢 鐵 清香  
二 萩原 皆一  
二 服部 寅雄  
二 長谷川 茂  
二 板東 茂  
二 秦 元春  
二 原田 清一  
二 原田 英一  
二 製菓業  
二 原田 英一  
二 原田 清一  
二 花島 辰五郎  
二 林 義雄  
二 林 義雄  
二 萩原 正巳  
二 長谷川 勝次  
二 原口 多一  
二 長谷川 隆  
二 旗野 陸郎  
二 橋本 雅夫  
二 橋本 雅夫

立教大學  
學生 二 長谷川 重郎  
二 萩原 廣雄  
二 林 熊太郎  
二 林 八百吉  
二 畑野 久  
二 畑田 政雄  
二 畑 梅吉  
二 橋本 仁市  
二 島山 健治  
二 畑 幸生  
二 畑 正一  
二 服部 貞明  
二 羽賀 一郎  
二 芳賀 豐次郎  
二 林 謙輔  
二 長谷川 信藏  
二 峰谷 輝雄  
二 長谷川 忠治  
二 早川 亘

四〇

兵庫縣武庫郡魚崎町海岸  
東京高等師範學校  
愛知醫科大學  
東京帝國大學  
早稻田大學  
廣島市小網町  
東京、深川、西平町一五巡查、合宿所  
洲崎警察署  
兵庫縣御影師範學校  
中央大學  
中央大學  
橫濱市藤田町字九一  
東京、牛込、加賀町二ノ五岩田方  
朝鮮京城本町警察署  
香川縣多度津町  
熊本縣八代郡野津村  
大分市立商業學校  
大分縣大分警察署  
警察官  
二 林 英夫  
二 芳賀 國男  
二 長谷川 安郎  
二 早川 亨  
二 羽田 和久治  
二 早川 新一郎  
二 長谷川 敏  
二 倍川 光藏  
二 林 大治郎  
二 畑山 泰治  
二 春 徹  
二 坂東 潔  
二 服部 英一  
二 服部 直吉  
二 葉山 三郎  
二 原井 健二  
二 坂東 大助  
二 橋本 清  
二 原田 稔  
二 萩川 一郎

岩手縣九戸郡久慈町  
字治山田市浦口町  
三重縣有段者會々長縣會議員  
東京陸軍戸山學校内  
埼玉縣深谷町  
福島高等商業學校  
關西大學  
東京府下大井町森下四〇二三高橋方  
東京、下谷、二長町五二野呂一良方  
宮崎縣北諸縣郡五十市村大字五十町嶽ノ下  
著述業  
初 濱田 助二  
初 濱田 精藏  
初 島山 義起  
初 濱田 隆一  
初 針金 又三郎  
初 萩原 長吉  
初 島山 稔雄  
初 早崎 次郎  
二 晴山 福一郎  
二 濱地 文平  
二 花井 充三  
二 原田 新一  
二 原 算一郎  
二 濱野 文男  
二 原 三信  
二 濱崎 正雄  
二 波多野 金造  
二 濱村 辰次郎  
初 素 晴影  
初 濱田 助二  
初 濱田 精藏  
初 島山 義起  
初 濱田 隆一  
初 針金 又三郎  
初 萩原 長吉  
初 島山 稔雄  
初 早崎 次郎

四一

は 之 部

字都宮市大寛町二一八七

初原口榮之助  
初橋本經治  
初原田越夫  
初原田七二三

東京府下大井町庚塚四七六八

鐵道省技師

初原恭造  
初阪野儀一郎  
初萩原次郎作

福岡縣戸畑町明治鑛業株式會社

初花井俊治郎  
初早川重雄  
初原田寅良

朝鮮慶南晉州警察署

官吏

初原重孝  
初橋本廉平  
初服部佐重郎

東京府下下邊谷一三七  
日本郵船會社在勤

初服部佐重郎  
初林田善藏  
初原長二

東京府下大森町三四六四

初波左問幸輔  
初早川倉治  
初秦知行

東京高等師範學校

學生

初原田悅治

初島山彌榮藏  
初芳賀丈夫

山口縣小郡町山口縣有段者會副會長  
朝鮮鏡城高等普通學校

初林市五郎  
初林義章  
初原義臣  
初服部義三郎

東京、本所、若宮町四九野口方

初長谷川修也  
初林正直

鹿兒島縣鹿奧町中谷七一九九

長野縣上田蠶糸專門學校長

初針塚長太郎  
初芳賀文三

朝鮮總督府專賣局京城西大門官舎  
島根縣簸川郡平田町平田病院

初原芳家  
初原田昌種  
初萩原長谷雄

初萩原友雄  
初濱嶋謙吉  
初橋本清德

初早川要顯  
初幡谷廣  
初林幸一郎

初林晴秀  
初芳賀丈夫

神奈川縣足柄下郡上京中村永塚二五六

初熊持亨

宮崎縣都城商業學校

校長

初林隆之  
初長谷川丑松  
初原田和英

大阪市東區城東

初林喜良  
初橋本彦七  
初原田健四郎

大連滿鐵興業部庶務課

初橋口蝦夷男  
初原田邦雄  
初原豐次

大分縣魚川町長生閣ホテル

初林孝一郎  
初林勇三郎  
初萩原四郎

大連市滿鐵庶務部調査課

初萩原四郎  
初針生德太郎  
初馬場宏

仙臺市野砲兵第二聯隊第五中隊

初橋村謙二

栃木縣芳賀郡市羽村市場

初橋本茂

煙草專賣局員

初橋本義雄

群馬縣邑樂郡長柄村赤堀九五

初早川政吉

農

初濱野元一

新潟市醫學町

初羽生忠男

酒小賣商

初花田幸一

臺灣澎湖島馬公警備口號六二潛水艇

初花田英太郎

茨城縣行方郡麻生町宮岡

初服部仁十郎

東京、麴町、準町七

初濱口鶴松

大阪市東區仁右衛門町五一〇澤種方

初橋本利政

初 治田 久雄  
初 葉梨 秀四郎  
初 林 牛一 郎  
初 原 榮三 郎  
初 林 初見 盈五郎  
初 林 宗太 郎  
初 原 正一 郎  
初 濱 金次 郎  
初 長谷川 小屋  
初 春山 秀一  
初 牛田 金植  
初 袴田 豐次 郎  
初 羽田野 義夫  
初 萩原 勘一  
初 長谷川 英雄  
初 波多野 市郎  
初 橋本 義久

初 花房 砲丸 郎  
初 長谷川 純三  
初 林 秀一  
初 濱村 量平  
初 羽石 重雄  
初 八田 恭平  
初 花輪 大藏  
初 濱崎 鶴吉  
初 槁 福壽  
初 秦 寅吉  
初 牛澤 龍藏  
初 林 本達之助  
初 林 繁夫  
初 原 田 宣  
初 原 研介  
初 長谷川 三郎  
初 花輪 宮吉  
初 長谷川 善一

初 林 恒次  
初 林 弘  
初 林 勇治  
初 原田 源藏  
初 原口 四郎  
初 萩原 芳雄  
初 萩原 忠治  
初 長谷川 富太郎  
初 濱田 一郎  
初 橋寺 三郎  
初 橋本 廣  
初 原田 富雄  
初 幡野 清  
初 萩原 政助  
初 服部 啓次  
初 花岡 兼愛  
初 花岡 元吉  
初 花山 智光  
初 羽根 芳一  
初 羽入 俊次

初 花房 砲丸 郎  
初 長谷川 純三  
初 林 秀一  
初 濱村 量平  
初 羽石 重雄  
初 八田 恭平  
初 花輪 大藏  
初 濱崎 鶴吉  
初 槁 福壽  
初 秦 寅吉  
初 牛澤 龍藏  
初 林 本達之助  
初 林 繁夫  
初 原 田 宣  
初 原 研介  
初 長谷川 三郎  
初 花輪 宮吉  
初 長谷川 善一

(死亡)

千葉市西院内一三八五  
朝鮮成鏡北道鏡城公立普通學校官吏  
滿鐵伏見臺苗圃  
長崎市下西山町二〇  
大連滿鐵庶務部庶務課  
群馬縣群馬郡桃井村新井  
群馬縣群馬郡澁川町  
豐橋市松葉三盤町 加奈太館主  
東京府下杉並町高圓寺一〇〇  
理化學研究所員  
三重縣多氣郡大濱村大字大淀  
富山市清水町 滑川高等女學校教諭  
新潟縣佐渡郡河崎村

函館市外龜田村千代ヶ岱佐藤エン方  
佐世保市福石町  
佐世保防備隊練習部  
長岡市本町一ノ二二〇  
廣島市西向島町五三  
靜岡縣沼津中學校  
奈良縣南葛城郡掖上村柏原一六〇四南方  
名古屋東區車道東町一六〇  
縣立第一中學柔道教師

初 波多野 市郎  
初 橋本 義久  
初 長谷川 英雄  
初 萩原 勘一  
初 羽田野 義夫  
初 袴田 豐次 郎  
初 牛田 金植  
初 春山 秀一  
初 長谷川 小屋  
初 濱 金次 郎  
初 原 正一 郎  
初 林 宗太 郎  
初 林 初見 盈五郎  
初 林 武

神戶市下山手通り二ノ三二  
福岡縣鞍手郡下院村  
長野縣立松本中學校  
山梨縣中巨摩郡玉幡村  
茨城縣立下妻中學校  
福島市榮町  
愛知縣西加茂郡學母町  
岡山縣々鹿高等課  
足利市通三丁目二六四八  
栃木縣西部有段者會副會長  
東京府下龜戶町六ノ一二一  
柔道教師

初 花房 砲丸 郎  
初 長谷川 純三  
初 林 秀一  
初 濱村 量平  
初 羽石 重雄  
初 八田 恭平  
初 花輪 大藏  
初 濱崎 鶴吉  
初 槁 福壽  
初 秦 寅吉  
初 牛澤 龍藏  
初 林 本達之助  
初 林 繁夫  
初 原 田 宣  
初 原 研介  
初 長谷川 三郎  
初 花輪 宮吉  
初 長谷川 善一

警視廳巡查

東京、深川、平井町一五巡查合宿所

初 濱田 廷喜

初 橋爪 義郎

初 萩原 順良

初 春山 嘉一

初 春木 信一

初 林 大學

初 長谷川 泰一

初 林 雷三

初 林 安邦

初 原 正平

初 橋野 明

初 濱野 浩

初 秦野 楠雄

初 林 忠次

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三

初 林 忠三



|                 |        |     |                   |                 |       |      |      |
|-----------------|--------|-----|-------------------|-----------------|-------|------|------|
| 埼玉縣北足立郡大砂土村     | 農業     | 初   | 瀨見勝               | 三重縣志摩郡片田村       | 初     | 瀨野金雄 |      |
| 富山縣西礪波郡水島村水島    | 小學教員   | 初   | 長谷川富次             | 神戶税關            | 官吏    | 初    | 八田知治 |
| 臺灣花蓮港廳警務課       | 官吏     | 初   | 萩原正夫              | 名古屋市東區武平町三ノ五松尾方 | 巡查    | 初    | 原田利吉 |
| 臺北州基隆郡警察部       | 官吏     | 初   | 花輪重太郎             | 廣島市廣島東警察署       | 初     | 林出貞三 |      |
| 岡山縣小田郡金浦町       | 金浦郵便局長 | 初   | 原卓衛               | 靜岡縣富士郡元吉原村      | 初     | 袴田源一 |      |
| 長崎縣佐世保海兵團       | 初      | 橋本清 | 靜岡縣志太郡和田村田尻北八一三ノ一 | 初               | 橋本登巳治 |      |      |
| 拓殖大學            | 學生     | 初   | 濱治國人              | 初               | 長谷川正孝 |      |      |
| 鳥取縣倉吉町諏訪町二ノ二八六九 | 商業     | 初   | 波田野幸治             | 初               | 長谷川一人 |      |      |
| 名古屋市中區姪子町一一五    | 醫師     | 初   | 服部金三              | 初               | 春田政吉  |      |      |
| 門司市新町           | 醫師     | 初   | 林宗一               | 初               | 蓮子休次郎 |      |      |
| 富山縣立商船學校內       | 學生     | 初   | 林彌衛               | 初               | 林準二   |      |      |
| 慶應大學            | 學生     | 初   | 林太郎               | 初               | 林田松平  |      |      |
| 富山縣上新川郡新庄町      | 實業     | 初   | 島山久三              | 初               | 橋本一男  |      |      |
| 兵庫縣水上郡春日村多田     | 初      | 萩野勇 | 熊本市出京町            | 初               | 橋本卯六  |      |      |
|                 |        | 初   | 橋本治雄              | 臺灣臺東廳里壠支廳       |       |      |      |

|                  |        |      |             |                   |       |       |        |
|------------------|--------|------|-------------|-------------------|-------|-------|--------|
| 前橋市片貝町二七         | 農      | 初    | 萩原濱平        | 大阪市港區八幡屋町一〇四人見道場  | 學生    | 初     | 瀨野虎松   |
| 東京府下中野町谷戸二四七一清海方 | 初      | 坂東惠雄 | 金澤醫科大學      | 初                 | 馬場健太郎 |       |        |
| 橫須賀市公郷町田戸二二二二    | 初      | 林鷹次  | 新潟縣三嶋郡日吉村鳥越 | 初                 | 長谷川哲平 |       |        |
| 千葉縣市川町四二三        | 初      | 橋本義行 | 宮城縣桃生郡橋浦小學校 | 初                 | 早坂廣介  |       |        |
| 三重縣三重郡朝日村柿       | 初      | 濱田實  | 高田市長門町四     | 初                 | 早川勝太郎 |       |        |
| 熊本第五高等學校         | 學生     | 初    | 服部愛三        | 富山縣上新川郡大庄村        | 實業    | 初     | 萩野節郎   |
|                  |        | 初    | 林田進         | 石川縣羽咋郡高濱町         | 小學校教員 | 初     | 羽間政信   |
|                  |        | 初    | 原田晴彦        | 山梨縣南都留郡福地村        | 訓導    | 初     | 針ヶ谷要之助 |
|                  |        | 初    | 花田又雄        | 大阪府警察練習所          | 警察官   | 初     | 幡野豐    |
|                  |        | 初    | 八田丈夫        | 千葉市千葉一一三五         | 初     | 春名勇治郎 |        |
|                  |        | 初    | 馬場秀吉        | 東京、日本橋、大傳馬町一田端屋商店 | 初     | 原田要一  |        |
|                  |        | 初    | 濱田長利        | 神奈川縣小田原町萬年町四ノ五六二  | 初     | 原田源一郎 |        |
|                  |        | 初    | 林勝衛         | 秋田縣平鹿郡益田町八三       | 初     | 原田源之助 |        |
|                  |        | 初    | 橋本岩雄        |                   | 初     | 林永一   |        |
|                  |        | 初    | 萩原義人        |                   | 初     | 華岡力   |        |
|                  |        | 初    | 濱田武夫        |                   |       |       |        |
|                  |        | 初    | 早川甚三        |                   |       |       |        |
|                  |        | 初    | 萩野昇         |                   |       |       |        |
| 前橋市紅雲町           | 前橋中學教諭 | 初    | 萩野昇         |                   |       |       |        |

江之部

石川縣羽咋郡高濱町 整復師 初 蓮本 嘉市  
 長谷川 友好  
 長野縣上水内郡戸穰村 初 羽山 榮次郎  
 原山 清治郎  
 臺南市西門町三ノ七二 初 伴 八郎  
 橋本 權藏  
 東京府下南千住通新町九四 初 橋本 權藏  
 橋本 春之助  
 埼玉縣熊谷町 商 初 濱 勇治  
 波多野 辰雄  
 初 早川 正男  
 初 早川 菊夫  
 橫濱市南太田町一四四三 丹羽商會 初 畑田 銀次郎  
 初 初見 辰雄  
 東京府下吉祥寺五九〇釣木道場 初 橋本 太郎  
 初 波多野 乙丙  
 長野縣東筑摩郡新村三八四 初 濱 橋 光明  
 日本體育會體操學校 初 橋本 吉次  
 臺灣臺北州基隆郡基隆田寮港 初 馬場 正彦  
 福島縣大沼郡旭村寺入一四三 初 長谷川 公

四八

大阪市西區薩摩堀北通五七岡本方 初 長谷部 澤次  
 花形 貞次  
 東京、芝、愛宕下町四ノ八小田道場 初 花木 勝二  
 新潟縣中蒲原郡粟本村 初 波多野 晋二  
 初 早瀬 亨  
 松本市松本高等學校 初 萩野 延次郎  
 初 原川 碩治  
 靜岡縣志太郡土宮村清所 初 阪野 定身  
 愛知縣渥美郡泉村八王子 僧侶 初 芳賀 重一  
 大阪府東區北濱五丁目 初 林 定一  
 住友生命保險會社員 初 林 武夫  
 東京、小石川、林町八五 初 林 弘  
 北海道空知郡音江村 農業 初 林 鐵雄  
 富山縣射水郡伏木町矢田小學校教員 初 林 與作  
 群馬縣利根郡糸五瀨村貝ノ瀨 農 初 林 義雄  
 東京高等商船學校 學生 初 林 仙二  
 初 林 正雄  
 初 原田 嘉平  
 足利市外山邊村田中 初 早川 賢治

福岡高等學校

秋田市保戸野金砂町

秋田工業學校柔道部長

學生 初 腹丸 勝見  
初 馬場 勇

石川縣石川郡松任町

藥劑師

東京府下南葛飾郡香堀請地四六八

官吏

初 服部 千代作  
初 服部 邦男  
初 服部 義司

東京、麻布、森元町一ノ一九

初 服部 義司  
初 林 義章  
初 林 竹治  
初 林 信光  
初 林 仙三  
初 林 廣作  
初 原 壽夫  
初 原 清

海軍經理學校內

兵庫縣姫路師範學校  
東京府下池袋四四八  
兵庫縣御影師範學校

生徒 初 原 伊四郎  
生徒 初 速水 能晴  
生徒 初 森 深

東京、麻布、四ノ橋 御園白粉研究部 初 針塚 卯八  
初 島山 儀助  
初 濱田 美枝  
初 林 仁助

東京、神田、關口町五津田方 錦町警察署巡査 初 羽々生 德治  
初 秦 一則  
初 羽原 桂次郎  
初 早澤 國雄  
初 橋本 猛  
初 服部 實  
初 波多江 深

東京、芝、芝公園二ノ八新開方 巡査 初 早瀬 國雄  
初 橋本 猛  
初 服部 實

東京府下、澁谷光永道場 巡査 初 波多江 深  
初 原 口 俊一  
初 原 慈一

大阪府天王寺區上本町八丁目 大阪外國語學校學生 初 林 弘一

大阪府天王寺區上本町八丁目 大阪外國語學校學生 初 林 利喜雄  
初 林 敏雄  
初 林 原 伸隆

江之部

四九



秋田市長野下新町  
 秋田縣師範、秋田工業柔道教師 五 西宮伊三郎  
 東京、京橋、徵兵保險會社 五 西原連三  
 東京、半込、余丁町七〇 四 西久保良行  
 大阪市東區住友銀行船場支店銀行員 四 丹羽季鷹  
 兵庫縣明石郡鹽屋 四 西口庄一  
 德島市會所町二五〇 德島師範教師 四 二木藤平  
 鹿兒島縣立加治木中學校 柔道教師 四 西島孝一  
 靜岡縣立見付中學校 柔道教師 四 西文靜  
 朝鮮大田中學校 教師 四 西田邦吉  
 慶應義塾大學 學生 四 龜木敏男  
 東京、小石川、久堅町三一 四 西澤傳次郎  
 橫須賀市若松町八二 海軍商業 四 西俣盛辰  
 長野縣立松本中學校 柔道教師 四 西川幸次郎  
 高田步兵第三十聯隊第二中隊入營中 四 二瓶喜元  
 東京、本郷、本富士警察署內 四 西谷才次郎  
 德島縣撫養町大桑島 撫養中學教諭 四 新田福松  
 東京府下西巢鴨庚申塚一七四 四 二戶政吉  
 東京、日本橋、北鞘町金原銀行銀行員 四 西井新重  
 支那天津日界壽街 山東督辦署顧問 四 丹生純  
 山口縣岩國町帝國人絹會社 社員 三 西郡等  
 東京府下代々幡町笹塚一〇五三 三 西村正雄  
 廣島縣竹原町 三 西村勝夫  
 神奈川縣中郡香妻村山西一四七林業 三 西村英三  
 兵庫縣姫路師範學校 三 西村銳夫  
 早稻田高等學院 學生 三 西村八郎  
 東京帝國大學 學生 三 西川純一  
 學生 三 西岡正遠  
 學生 三 西澤義雄  
 學生 三 新名恒則  
 學生 三 西壯太郎  
 學生 三 丹羽氏正  
 學生 三 西田兼太郎  
 學生 三 西村眞  
 學生 三 西澤久一郎  
 學生 三 仁木秀男  
 學生 三 西澤猪三吉  
 學生 三 西尾義行

東京府下瀧野川御代野臺 三 西澤雅佳  
 臺北市第一高等女學校 三 西村寬司  
 早稻田大學 學生 三 二瓶旺智  
 山形縣東置賜郡置賜驛前製糸工場主 三 西川祐一  
 朝鮮忠清北道警察部 教師 三 西野操  
 東京日本橋萬町四大阪野村銀行支店 三 仁科正二  
 鳥取縣立鳥取第二中學校 柔道教師 三 西村直元  
 石川縣鳳至郡輪島中學校 柔道教師 三 西川源五郎  
 鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町被川字井ノ上 三 西木場助之進  
 軍艦鳳翔 一等兵曹 三 西村文八  
 東京、牛込、橫寺町九 三 西與七  
 東京府下世田谷中學校 柔道教師 三 西田安一  
 神奈川縣平塚町六九九 整復術師 三 丹生忠雄  
 大阪市東區北濱五丁目 住友銀行員 三 西野常雄  
 東京府下杉並警察署 三 西村政之助  
 都城市小松原町 都城中學校教諭 三 西岡寅之助  
 滋賀縣栗太郡草津町草津 柔道教師 三 西田兼太郎  
 東京、小石川、大塚仲町四一〇ノ七 理化學研究所員 三 西田乘太郎  
 福島縣双葉郡長塚村小學校 訓導 三 西田武俊  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西松嘉廣  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西村長平  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西村良榮  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 新垣良榮  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 新倉龜吉  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 新原清人  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西川實吾  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西原龍尾  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西本安衛  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西澤宥  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西垣郁樓  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西面秋次  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西村眞幸  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西村眞幸  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西田專五郎  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西野定市  
 臺灣新竹州竹南郡官舎 二 西善太郎

仁之部

|                     |         |    |    |         |                 |    |    |     |    |
|---------------------|---------|----|----|---------|-----------------|----|----|-----|----|
| 那霸市西崎町二ノ三七          | 米穀商     | 二  | 新里 | 康保      | 臺灣高雄郡警察課        | 二  | 西岡 | 參三  |    |
| 臺灣花蓮港玉里支廳           | 二       | 二宮 | 祐義 | 北海道帝國大學 | 學生              | 二  | 西瀨 | 高一  |    |
| 埼玉縣北足立郡安行村          | 訓導      | 二  | 西山 | 浩       | 東京府南葛飾郡松江村船堀小學校 | 教師 | 二  | 錦見  | 信一 |
| 福島縣平町紺屋町            | 二       | 二  | 四田 | 祐馬      | 岡山縣津山町美濃澤町一六    | 二  | 四野 | 久一  |    |
| 尼ヶ崎市尼ヶ崎町風呂辻一〇二      | 二       | 二  | 四村 | 治作      | 大阪市東淀川區本庄町六六三   | 二  | 四山 | 廣三  |    |
| 富山縣伏木町古國府六四         | 二       | 二  | 西川 | 謙次郎     | 岡山縣都窪郡妹尾町       | 二  | 四林 | 鴻介  |    |
| 伏木商業學校柔道教師          | (附註西川内) | 二  | 新野 | 正義      | 東京府下雜司ヶ谷水原六六八   | 二  | 四野 | 寅之助 |    |
| 大阪市此花區江成町八〇 柔道教師    | 二       | 二  | 四村 | 文雄      | 東京帝國大學農學部       | 二  | 四村 | 喜佐治 |    |
| 東京府下大井町日本體育會體操學校    | 二       | 二  | 西山 | 榮之助     | 山口高等商業學校        | 二  | 四田 | 安次  |    |
| 東京府下尾久町上尾久二六四八橫田道場内 | 二       | 二  | 二木 | 清四      | 東京、水産講習所        | 二  | 四川 | 久直  |    |
| 東京帝國大學農學部           | 學生      | 二  | 新田 | 勳       | 東京西神田警察署        | 二  | 新山 | 牛治郎 |    |
| 鹿兒島高等農林學校           | 學生      | 二  | 丹羽 | 良彦      | 朝鮮總督府鐵道局        | 二  | 新原 | 宗路  |    |
| 廣島市鐵砲町              | 訓導      | 二  | 仁國 | 久一      | 下關市入江町九三        | 二  | 新保 | 閣四郎 |    |
| 山形縣                 | 二       | 二  | 西山 | 壽一      | 下關市中町上ノ山        | 二  | 四見 | 武   |    |
|                     | 二       | 二  | 四田 | 等       | 廣島縣吳軍港所屬軍艦      | 二  | 四木 | 忠   |    |
|                     | 二       | 二  | 西尾 | 義男      | 明治專門學校          | 二  | 四川 | 由松  |    |
|                     | 二       | 二  | 西廣 | 忠雄      |                 | 二  | 四岡 | 悅治  |    |
|                     | 二       | 二  | 西廣 | 忠雄      |                 | 二  | 四村 | 幸男  |    |

仁之部

|                   |   |     |     |               |    |    |     |     |
|-------------------|---|-----|-----|---------------|----|----|-----|-----|
| 漢口海軍陸戰隊第二中隊       | 二 | 新田  | 美淑  | 山口縣山口町今市      | 農業 | 初  | 新野  | 荒太郎 |
| 京都府南桑田郡曾我戸村字寺     | 初 | 二階堂 | 光尙  | 日本郵船會社調度部神戸支店 | 初  | 二瓶 | 新五郎 |     |
| 愛知縣岡崎高等女學校        | 初 | 初   | 西村  | 開             | 初  | 二宮 | 金一  |     |
| 宇都宮市曲師町中山病院       | 初 | 初   | 西村  | 七三郎           | 初  | 西岡 | 左運  |     |
| 千葉縣市川町市川三一四七      | 初 | 初   | 新田  | 庄吉            | 初  | 西岡 | 誠二  |     |
| 千葉縣夷隅郡上野村         | 初 | 初   | 西川  | 於菟六           | 初  | 丹生 | 谷俊  |     |
| 東京、深川、靈岸町七三 正金銀行員 | 初 | 初   | 西川  | 友德            | 初  | 西村 | 貞助  |     |
| 長春朝鮮銀行支店          | 初 | 初   | 西川  | 總一            | 初  | 西田 | 親美  |     |
| 福岡縣甲良郡樋井川村田島七二一九  | 初 | 初   | 西川  | 一也            | 初  | 仁科 | 竹雄  |     |
| 東京府下日暮里谷中本一〇五二    | 初 | 初   | 西岡  | 弘幸            | 初  | 丹羽 | 六太郎 |     |
| 鐵道官吏              | 初 | 初   | 二階堂 | 保道            | 初  | 西海 | 圭一  |     |
| 東京青山師範學校          | 初 | 初   | 二宮  | 聰             | 初  | 西川 | 萬壽雄 |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 俊雄            | 初  | 西部 | 正夫  |     |
|                   | 初 | 初   | 西尾  | 不二彦           | 初  | 丹羽 | 修二  |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 與市            | 初  | 西村 | 富隆  |     |
|                   | 初 | 初   | 西尾  | 龍藏            | 初  | 西田 | 善之助 |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 與市            | 初  | 西長 | 兼藏  |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 與市            | 初  | 西山 | 久太郎 |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 與市            | 初  | 西元 | 幸之進 |     |
|                   | 初 | 初   | 西嶋  | 與市            | 初  | 西山 | 廉   |     |

|                  |    |       |       |      |       |       |
|------------------|----|-------|-------|------|-------|-------|
| 和歌山市菊屋町小林方       | 商業 | 初     | 丹羽文雄  | 初    | 西澤幸雄  |       |
| 山梨縣中巨摩郡落合村       | 訓導 | 初     | 二宮信直  | 初    | 西澤源次郎 |       |
| 京城元町公立尋常高等小學校    | 官吏 | 初     | 西久保嘉藏 | 初    | 西澤好三  |       |
| 岡山市門田屋敷 岡山日々新聞社長 | 官吏 | 初     | 西澤茂   | 初    | 西澤勲三郎 |       |
| 長野縣上高井郡井上村四八四    | 初  | 仁藤仁之助 | 初     | 西村一  | 初     | 西武雄   |
| 神戸高等商船學校         | 學生 | 初     | 新津功平  | 初    | 新田義雄  |       |
| 神戸高等商船學校         | 學生 | 初     | 西館孝天  | 初    | 西野勝丸  |       |
| 富山縣上市町五五         | 初  | 西島羽寅治 | 初     | 西野新作 | 初     | 西尾正   |
| 東京府下南足立郡江北村小臺六四一 | 初  | 西崎佐吉  | 初     | 西川定一 | 初     | 西村捷海  |
| 岡山市石關町三二岡山醫科大學教授 | 初  | 西尾德定  | 初     | 西田弘逸 | 初     | 西田吉民  |
|                  | 初  | 西岡從一  | 初     | 西田義夫 | 初     | 西島龜次郎 |
|                  | 初  | 庭山保養  | 初     | 二宮憲英 | 初     | 西野保   |
|                  | 初  | 西野貫   | 初     | 西島   | 初     | 西文夫   |
|                  | 初  | 西田千次郎 | 初     | 西下正己 | 初     |       |
|                  | 初  | 新島義夫  | 初     |      | 初     |       |
|                  | 初  | 新山榮   | 初     |      | 初     |       |
|                  | 初  | 新田重藏  | 初     |      | 初     |       |
|                  | 初  | 西川浩一  | 初     |      | 初     |       |
|                  | 初  | 西下正己  | 初     |      | 初     |       |

|                  |    |       |      |
|------------------|----|-------|------|
| 東京府下巢鴨町宮下一八六二鈴木方 | 初  | 西原源次郎 |      |
| 臺灣臺北州基隆稅關        | 初  | 西澤好三  |      |
| 大阪市西區新町通四ノ四七     | 初  | 西澤勲三郎 |      |
| 香川縣小豆郡三都小學校      | 訓導 | 初     | 西村一  |
| 大阪市東成區鶴橋町東小橋町高橋方 | 初  | 西武雄   |      |
| 札幌市北八條東二丁目       | 初  | 西野勝丸  |      |
| 甲府憲兵分隊           | 憲兵 | 初     | 西野新作 |
| 山梨縣東山梨郡日川村       | 軍人 | 初     | 西川定一 |
| 宮崎縣都城商業學校        | 初  | 西村捷海  |      |

兵庫縣武庫郡魚崎町一四九 學生 初二宮 顯  
 滿洲安東二番通リ 學生 初 西村 俊夫  
 東京帝國大學工學部 學生 初 西村 太郎  
 大阪府三島郡吹田町松ヶ鼻一〇六〇ノ二 初 西野 幸太郎

埼玉縣秩父郡尾田町小學校 訓導 初二宮 順作  
 德島市寺島町五三五 三重合同電氣株式會社社員 初 仁尾 松藏  
 熊本市花園町七六〇 巡査 初 西 虎雄  
 熊本縣巡查教習所 巡査 初 西 忠雄  
 新潟縣三島郡臨野町村大野 農業 初 西田 安次  
 島根縣簸川郡大津村大石三六六八 初 西村 次郎  
 宮城縣師範學校寄宿舎内 初 西塚 凱歌郎  
 松本市西堀町五八八 初 西田 季男  
 大阪市此花區龜甲町二丁目六二 初 西口 文八郎  
 石川縣鳳至郡輪島町 會社員 初 西垣 隆一  
 仙臺市東四番丁二八 學生 初 西田 正夫  
 初 西尾 英美  
 初 新名 仲次  
 初 新妻 二郎  
 初 新妻 正男  
 初 西村 長太郎

|                  |    |        |       |
|------------------|----|--------|-------|
| 北海道岩内町鷹臺町五五      | 初  | 西尾 清一  |       |
| 南米ブラジル、サンパウロ     | 初  | 西岡 繁樹  |       |
| 北海道上川郡名寄町四四ノ南四   | 初  | 西村 政次郎 |       |
| 高知縣長岡郡五臺山村       | 初  | 西木 彰男  |       |
| 高松市兵庫町           | 商業 | 初      | 西村 其義 |
| 朝鮮黃海道海州北本町一五一    | 初  | 西村 伊勢松 |       |
| 朝鮮京畿道靈島公立尋常高等小學校 | 官吏 | 初      | 西村 明夫 |
| 官吏               | 初  | 西住 昌俊  |       |
| 實業               | 初  | 西村 久太郎 |       |
| 宮山縣福光町           | 初  | 西村 良雄  |       |

大阪市辨天橋筋六丁目文武館道場 初 西村喜佐次  
 東京藥學專門學校 學生 初 西山恒夫  
 神奈川縣藤澤中學校 教師 初 西川忠一  
 奈良步兵第三十八聯隊九中隊 初 西川美夫  
 栃木縣足尾 足尾有段者會副會長 初 西川繁一  
 山梨高等工業學校寄宿會 學生 初 西尾啓造  
 埼玉縣大宮町 初 新倉邦武  
 新潟縣長岡商業學校 生徒 初 新熊睦美  
 新潟縣卷中學校生徒 生徒 初 西尾和吉  
 宮崎縣延岡中學校 生徒 初 西野庄松  
 山形高等學校 學生 初 西倉彌猛  
 日本體育會體操學校 學生 初 西村文夫  
 神戶市下山手通八ノ二九五 生徒 初 宇兵衛  
 福島縣立石川中學校 生徒 初 仁村光隆  
 初 西川俊三  
 初 西川實平  
 初 西川亮徳

宇和島市武德會支所 會社員 初 西田耕之助  
 福島縣石城郡草野村原高野 初 西田智  
 岐阜縣立商業學校 教諭 初 西尾光  
 初 新妻恭孝  
 初 西田惣七  
 初 西尾伊勢彦  
 初 二宮達  
 初 西川政之  
 初 西尾星明  
 初 西田藤武  
 初 西村榮三  
 初 新濱健次  
 初 新原勇  
 初 新穗幹雄  
 初 西野次三  
 初 西原與三郎  
 初 西野誠治  
 初 西村精一郎  
 初 西川四郎  
 初 西田弘之  
 初 西田一人

ほ之部

廣島縣崇徳中學校 生徒 初 西浦哲郎  
 長野縣上田蠶絲專門學校 初 西尾賢  
 第一高等學校 學生 初 西田勇三郎  
 埼玉縣大里郡大幡村 農業 初 西田邑雄  
 金澤市玉川警察署詰 警部補 初 西村友吉  
 福岡縣三池中學校 生徒 初 西田淺吉

住所  
 東京、牛込、市ヶ谷藥王寺町七四 段 氏 名  
 講道館幹事維持員評議員 六 本田 存  
 山形市旅籠町二三九 山形師範學校柔道教師 五 細川 善盛  
 静岡縣立榛原中學校 柔道教師 五 堀内貞治郎  
 五 星崎 治名  
 岡山縣邑久郡邑久村 岡山縣立第二中學柔道教師 四 堀野 正夫  
 大阪府港區九條通リ二丁目練武館 四 堀 理吉  
 香川縣綾歌郡西分村九九 柔道教師 四 細 谷 廣  
 福岡中學校 柔道教師 四 本 多 護

在上海  
 北海道俱知安町 柔道教師 四 星子 廉義  
 四 堀場 定藏  
 四 本間 與松  
 四 本田 讓二  
 四 穗積 大城  
 四 本庄 義人  
 陸軍參謀本部陸軍少佐 四 本郷 義夫  
 東京、小石川、大塚上町二六 四 本郷 英才  
 (死亡) 三 本田 増次郎  
 東京、牛込、市ヶ谷仲之町二六 講道館幹事長維持員評議員海軍少將 三 本田 親民  
 東京、日本橋、三越販賣部 三 本田 誠之  
 東京、牛込、市ヶ谷田町二ノ五 衆議院議員 三 堀切 善兵衛  
 新潟縣高田中學校 教師 三 本間 淳治  
 東京府下王子町宮江町一三四 三 堀江 長松  
 東京、本郷、森川町一新生館方 三 本 田 等  
 拓殖大學 學生 三 本 田 軍治郎  
 朝鮮全羅北道郡山警察署 柔道教師 三 堀淵 發三  
 豐橋市中八町 明治大學學生 三 堀 端 要





岡山市上西川町二〇〇

朝鮮京城、東京殖産銀行支店 銀行員

大連星ヶ浦水明莊三 滿洲工專教授

東京、神田、錦町三ノ九 警視廳巡查

和歌山縣海草郡直川村

秋田縣河邊郡仁井田村

千葉縣夷隅郡大多喜小學校 訓導

大連山城町七

東京府荏原郡馬込村堂寺

愛媛縣南宇和郡東外見村久良

群馬縣群馬郡倉賀野町

東京、本所、錦糸町一九三

愛知縣渥美郡泉村八王子

東京、神田、仲猿樂町一〇旭館

茨城縣多賀郡松岡村上手綱

山梨縣中巨摩郡三惠村

埼玉縣大宮町

新潟縣西頸城郡今井村中太田

東京府下西巢鴨町向原三二七二

千葉鐵道第一聯隊第四中隊

足利市外八幡

大阪府立堺中學校

埼玉縣秩父郡尾田藤村

初 堀 貞松

初 堀 眞一

初 堀 正一

初 堀 守彦

初 堀 田 讓

初 堀 本 篤

初 堀 義 衛

初 堀 江 義一

初 堀 本 定治

初 堀 法 月

初 堀 内 瀧平

初 堀 坊 俊賢

初 堀 川 右内

初 堀 井 禮治

初 堀 見 正可

初 堀 内 三郎

初 堀 内 保

初 堀 城 俊智

初 堀 保 甚一

初 堀 井 義衛

東京、淺草、北清島町七七

東京府下大井町三五八三

小樽市色内町北條商店

甲府市錦町若尾銀行

東京美術學校

東京府下澁谷四〇三

新潟縣西蒲原郡燕町

山梨縣東山梨郡大藤村

高知市中島町

三重縣龜山町野村八〇三

茨城縣新治郡九重村妻木八四

香川縣三豐郡笠田村笠岡三五四

長野縣上田蠶絲專門學校

仙臺市北三番丁一〇〇

大阪府住吉區南田邊町

初 堀 米藤三郎

初 堀 野 長吉

初 堀 田 甚次郎

初 堀 北條 義算

初 堀 田 繁四郎

初 堀 保坂 良平

初 堀 本 多 博

初 堀 本 多 倉一

初 堀 星 野 涼

初 堀 星 野 祐作

初 堀 細 木 兵太郎

初 堀 保崎 市太

初 堀 堀 江 隆介

初 堀 本 田 確一

初 堀 堀 喜 郎

初 堀 細 田 數馬

初 堀 堀 隆 太郎

初 堀 堀 忠 太郎

初 堀 堀 口 茂

初 堀 星 野 豐

沼津市市場町

東京慈惠會醫科大學

愛知縣西春日井郡師勝村六師普文寺

靜岡縣三島町商業學校

石川縣石川郡松任町八ッ矢町

金澤市茶畑

新潟縣村上中學校

富山縣師範學校

東京、芝、松本町二一一

仙臺第二高等學校

廣島縣加茂郡廣村

廣島縣甲奴郡下

宮城縣亙理郡坂元村坂元瀨四

高松市市田町

東京商科大學

埼玉縣北足立郡川田谷村

市會議員

學生

學生

訓導

教諭

教員

教員

教員

教員

教員

教員

教員

教員

教員

教員

教員

注之部

札幌市中央創成小學校 訓導 初星井熊吉  
 德島縣勝浦郡澁野村 農 初本多庫一  
 群馬縣群馬郡清里村 農 初本間博  
 新潟縣佐渡郡高千村石名 農 初本間清次郎  
 新潟縣村上町着町 巡査 初星野茂一  
 新潟縣村上町着町 巡査 初星野敬雄  
 東京、日本橋、通油町一〇、湯淺方 初細川文五郎  
 東京、日本橋、通油町一〇、湯淺方 初細川文五郎  
 福井市東上町三五 醫師 初堀江久一  
 水戸高等學校 學生 初堀江清  
 東京高等師範學校 學生 初星野金吾  
 東京、本所、中之郷壑町一一 學生 初細川憲三

六四

名古屋市南區八熊町下銀一五三 東邦電力會社員 初細川雅光  
 東京、淺草、玉姬町二一 初堀内堅二  
 福岡市博多舊柳町六七、中牟田方 初堀川芳雄  
 仙臺第二高等學校 學生 初堀江眞澄  
 新潟縣新發田町上鐵砲町、川瀬方 初星野茂一  
 宮城縣伊具郡藤尾村 初本名源右衛門  
 宮城縣伊具郡藤尾村 初本多教雄  
 新潟縣立商業學校 初堀田良一  
 東京府下荏原町小山一一 初堀家金一  
 山梨縣南都留郡瑞穂村 初堀井三千雄  
 初星島幸一  
 初本間幸之助  
 初本間勝男  
 初星野音郎  
 初堀内肇  
 初堀金義

福島市八畝 教員 初堀清八  
 桐生市桐生一六五 桐生高工履 初堀房治  
 桐生市桐生一六五 初堀田章三  
 初堀江貫一  
 初堀江秀治  
 初堀田九一  
 初星野修治  
 初堀口哲夫  
 初堀本定雄  
 初堀野豐一  
 初堀井鏡男  
 初細田光藏  
 初本田親三  
 初本多清明  
 初堀良元  
 初本田楠夫  
 初星野數夫  
 初細山田滿二  
 初堀市太郎  
 初堀内嘉幸  
 初細川貞松

へ之部

廣島縣立誠之館中學校 生徒 初星野貞夫  
 旅順警察署 官吏 初本田法雄  
 高知市西鷹匠町一五三 巡査 初本田健松  
 東京、京橋、北紺屋町二横本道場 初本間利夫

段氏名

名古屋市中區御器所町、愛知縣工業學校柔道教師 三兵衛瀧三郎  
 宮城縣遠田郡不動堂村一 二別府浩廣  
 二邊見幸左衛門  
 初別府豐彦  
 初別府滋次  
 初戶次雄次郎  
 初別府房治  
 初別府時文  
 初兵頭進  
 初兵藤延一  
 初邊見亨  
 初別宮譽  
 初邊見清

之部

六五

長野商業學校 生徒 初細川貞松

京城府西大門、公立尋常高等小學校 初別府房治  
 群馬縣勢多郡數島村長井小川田農業 初兵藤延一  
 宮城縣桃生郡大鹽村鹽入 初邊見亨  
 大阪市戎警察署 初邊見清

之部

宮城縣桃生郡大鹽村鹽入

初卞 市 耶  
初邊見 安治

と之部

住 所

段 氏 名

東京、麹町、永田町二ノ七二、

講道館維持員評議員  
東京體育俱樂部主幹

六 富田 常次郎

大阪市北區牛丸町四〇

大阪高等工業學校柔道教師

六 戶 張瀧三郎

東京府下、小松川町二ノ七一

農科大學柔道教師 研道館主

六 德 三 寶

三重縣松阪町西町松阪商業柔道教師

東京府下杉並町阿佐ヶ谷八一〇

五 德久 祐太郎

皇宮警察柔道教師

福井市寶永町官舎 福井縣內務部長

四 堂本 清一

佐賀市與賀町西精小路一三五九

三養基中學校柔道教師

四 戶田 爲四郎

靜岡縣見付町田端 中泉農學校教諭

四 戶田 順吉

六六

東京、芝、白金三光町二七三

長崎縣師範學校教諭

柔道教師 四 德永 秀夫

秋田縣仙北郡角館町

三重縣師範學校

四 富田 庄之助

廣島市西新町

東京、牛込、北山伏町二二(在米)

四 富木 謙治

群馬縣元惣社村石念 前橋商業教師

大分縣宇佐郡豐川村

四 友田 長藏

大分日々主幹大分有段者會副會長

小樽市綠町四ノ八

四 富澤 傳八

小樽高商教授、小樽有段者會長

宇都宮市戶祭町

四 土居 靜男

宮崎市南旭通

茨城縣助川日立製作所內

四 苦米地 英俊

東京、牛込、辨天町四三

埼玉縣柏壁中學校 柔道教師整復師

四 戶田 義夫

之部

宮城縣桃生郡大鹽村鹽入

初卞 市 耶  
初邊見 安治

と之部

住 所

段 氏 名

東京、麹町、永田町二ノ七二、

講道館維持員評議員  
東京體育俱樂部主幹

六 富田 常次郎

大阪市北區牛丸町四〇

大阪高等工業學校柔道教師

六 戶 張瀧三郎

東京府下、小松川町二ノ七一

農科大學柔道教師 研道館主

六 德 三 寶

三重縣松阪町西町松阪商業柔道教師

東京府下杉並町阿佐ヶ谷八一〇

五 德久 祐太郎

皇宮警察柔道教師

福井市寶永町官舎 福井縣內務部長

四 堂本 清一

佐賀市與賀町西精小路一三五九

三養基中學校柔道教師

四 戶田 爲四郎

靜岡縣見付町田端 中泉農學校教諭

四 戶田 順吉

六六

東京、芝、白金三光町二七三

長崎縣師範學校教諭

柔道教師 四 德永 秀夫

秋田縣仙北郡角館町

三重縣師範學校

四 富田 庄之助

廣島市西新町

東京、牛込、北山伏町二二(在米)

四 富木 謙治

群馬縣元惣社村石念 前橋商業教師

大分縣宇佐郡豐川村

四 友田 長藏

大分日々主幹大分有段者會副會長

小樽市綠町四ノ八

四 富澤 傳八

小樽高商教授、小樽有段者會長

宇都宮市戶祭町

四 土居 靜男

宮崎市南旭通

茨城縣助川日立製作所內

四 苦米地 英俊

東京、牛込、辨天町四三

埼玉縣柏壁中學校 柔道教師整復師

四 戶田 義夫

之部

宮城縣桃生郡大鹽村鹽入

初卞 市 耶  
初邊見 安治

と之部

住 所

段 氏 名

東京、麹町、永田町二ノ七二、

講道館維持員評議員  
東京體育俱樂部主幹

六 富田 常次郎

大阪市北區牛丸町四〇

大阪高等工業學校柔道教師

六 戶 張瀧三郎

東京府下、小松川町二ノ七一

農科大學柔道教師 研道館主

六 德 三 寶

三重縣松阪町西町松阪商業柔道教師

東京府下杉並町阿佐ヶ谷八一〇

五 德久 祐太郎

皇宮警察柔道教師

福井市寶永町官舎 福井縣內務部長

四 堂本 清一

佐賀市與賀町西精小路一三五九

三養基中學校柔道教師

四 戶田 爲四郎

靜岡縣見付町田端 中泉農學校教諭

四 戶田 順吉

六七

熊本市寺原町大工町一一

京都府立宮津中學校

柔道教師 三 德永 茂八郎

愛媛縣上浮穴郡明神村東明神

臺灣花蓮港警察署

三 鳥越 壽

東京府下和田堀町字方南七一

橫濱市伊勢町縣廳官舎

三 棟田 基政

早稻田大學高等學院

早稻田大學

三 東 郷 得

東京商科大學

臺灣臺北交通局遞信部

三 富田 健治

山口縣長府町

東京、麻布、本村町一一〇

三 富木 堅三郎

山口縣立長府中學校

茨城縣助川日立鑛山工場

三 鳥海 善郎

廣島高等師範學校

東京、京橋、北紺屋町一一橫本道場

三 泊 義 人

教授 三 戶田 清

柔道教師 三 友近 道利

柔道教師 三 德永 俊太郎

柔道教師 三 戶澤 富壽

柔道教師 三 時任 義晴

柔道教師 三 東海 進藏

柔道教師 三 戶田 清

柔道教師 三 富所 寬一

柔道教師 三 鳥山 義武

柔道教師 三 富永 健次郎

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

柔道教師 三 友成 久敏

之部

六七

